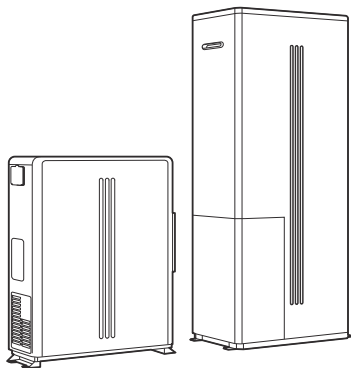
大阪ガス

燃料電池発電ユニット
排熱利用給湯暖房ユニット
取扱説明書 保証書付

機器本体操作説明編

燃料電池発電ユニット
191-TB04型
型式名 TM1-AE-NF（都市ガス13A）
TM1-AE-LF（LPガス）

191-TB05型
型式名 TM1-AE-NB（都市ガス13A）
TM1-AE-LB（LPガス）

排熱利用給湯暖房ユニット
136-CF04型
型式名 FCG-203-D

このたびは、固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●この説明書は燃料電池発電ユニット本体と排熱利用給湯暖房ユニット本体操作に関する内容を記載しています。リモコンについては、別冊のリモコン操作説明編の取扱説明書を参照してください。
●保証登録カードは販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
●取扱説明書を紛失された場合は、担当のメンテナンス会社またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

こんなときは？

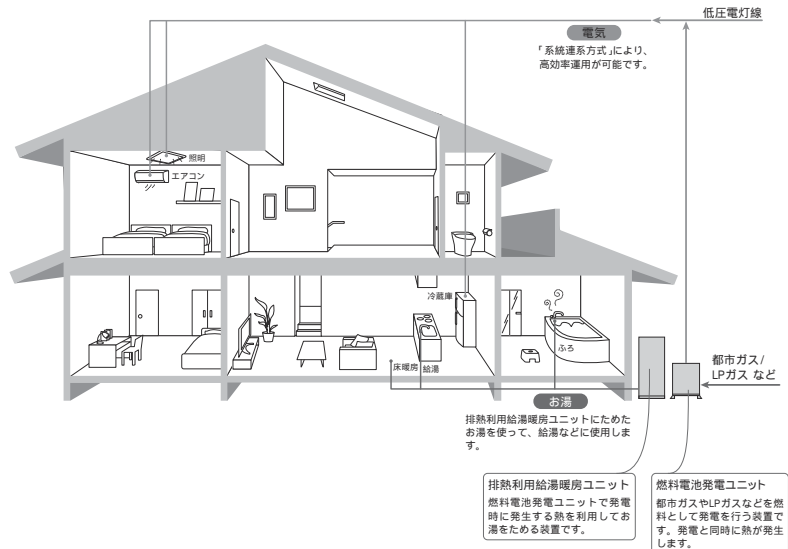
地震や火災が起きた!
運転を停止する。
➡ 異常時の処置方法 23ページ
貯湯タンクのお湯を取出す。
➡ 災害時などに貯湯タンクからお湯を取出す 20・21ページ

凍結を予防したい
機器内の配管やふろ配管を保温する。
➡ 凍結予防装置による方法 17ページ
機器内の水を抜く。
➡ 排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法 18・19ページ

長期間不在にする
凍結のおそれがない場合、48時間以上使用しないときは不在停止を行う。
➡ 不在停止
「リモコン操作説明編」の「運転しないようにする」参照
凍結のおそれがある場合、1ヵ月以上使用しないときは機器内の水を抜く。
➡ 排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法 18・19ページ

調子が悪い、故障かな？
修理を依頼する前に確認する。
➡ 故障かな？と思ったら 22・23ページ
または、「リモコン操作説明編」の「故障かな？と思ったら」参照

特　長

●燃料電池発電ユニットで発電したお得な電気が使用できます。
●燃料電池発電ユニットで発電したときに発生する排熱を利用して、貯湯タンクにためた水を沸かし、給湯に利用します。
●家庭内の電気の利用状況に応じて、自動的に燃料電池発電ユニットで発電を行います。<省エネ運転>
●リモコンの表示と音声で電気と熱の利用状況をお知らせします。<エネルック機能>
●お湯が足りないときは補助熱源機でお湯を沸かすことができます。
●断水時や地震など万一の災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。20・21ページ

エネファーム(家庭用燃料電池システム)とは

発電のしくみ

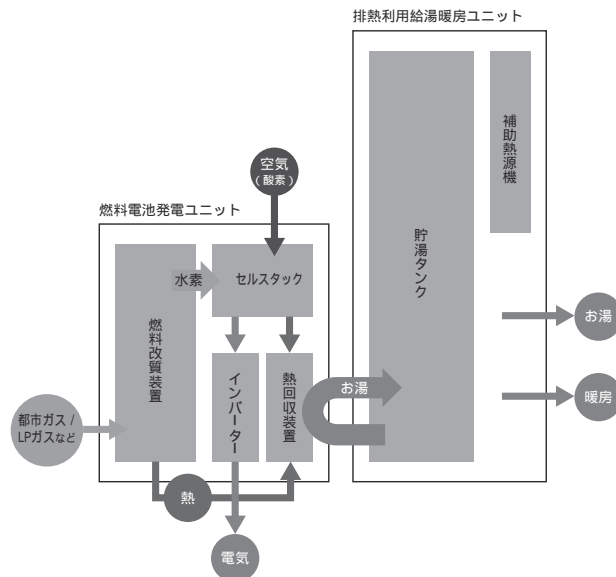
都市ガスやLPガスから水素を取出し、酸素と反応させて発電します。同時に発生する熱でお湯も沸かして給湯できるので効率的です。

電気化学反応のイメージ

●セルスタックの中で水素と空気中の酸素を反応させて、直流電気を発生します。

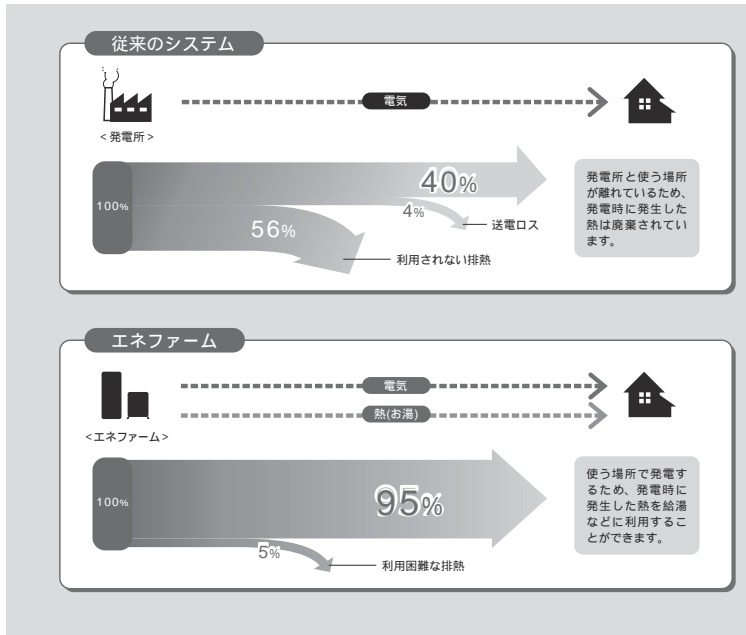
$2H_2 + O_2$ → 電気　熱 → $2H_2O$

システムの構成

作り出した電気と熱をご家庭の電気機器や給湯などに利用することができます。

❶燃料改質装置
都市ガス/LPガスなどから水素を取出します。
❷セルスタック
水素と空気中の酸素を使って直流電気を発生させます。
❸インバーター
発生した直流電気を交流に変換します。
❹熱回収装置
セルスタックや燃料改質装置から熱を回収し、お湯を作ります。
❺貯湯タンク
回収したお湯をためておき、給湯需要があるときに供給します。
❻補助熱源機
貯湯タンク内のお湯で足りない場合、ガスでお湯を沸かします。

エネファーム(家庭用燃料電池システム)とは

エネルギーの利用効率

●電気を使う場所で発電するので、送電ロスがありません。また、従来の発電方式では捨てていた発電の際に発生する熱もお湯として利用できるので、エネルギーを効率よく使えます。
●同じ量の電気と熱を使う場合、これまでよりCO_2の排出が少なくなります。

安全に正しく使用していただくために

●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

区分	内容
⚠危険	人が死亡、重傷を負う危険、火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
⚠警告	人が死亡、重傷を負う可能性、火災の可能性が想定される内容です。
⚠注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

図記号	内容
(禁止記号)	禁止 「してはいけない」内容です。
(注意記号)	注意 「注意しなければならない」内容です。
(実行記号)	実行 「しなければならない」内容です。

⚠危険

ガス漏れに注意する
(引火による火災や爆発の原因)

●ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用を中止して次の処置を行う。
1.ガス栓を閉める。
2.販売店またはもよりの大阪ガスに連絡する。

●絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差しはしない。

屋内や浴室内に設置しない

不完全燃焼を起こし一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠警告

ガスの種類・電源を確認する
(火災・不完全燃焼・爆発着火・故障の原因)

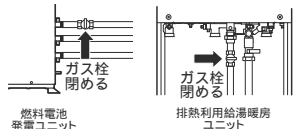
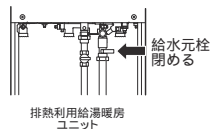
必ず機器の銘板に表示してあるガスの種類(ガス種・ガスグループの区分)で使用してください。

安全に正しく使用していただくために

⚠警告

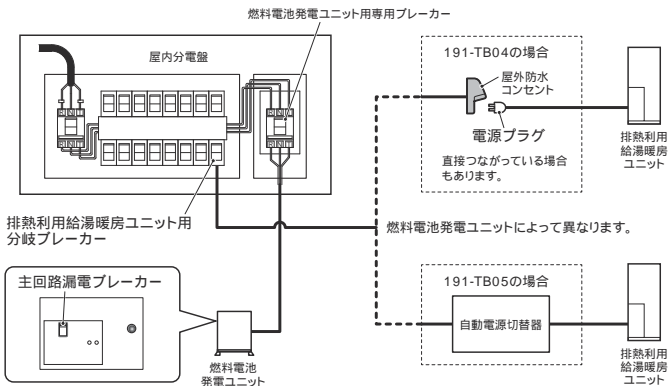
異常時の処置（火災や感電の原因）

運転中に異常を感じたり、地震や火災などの緊急の場合は次の処置を行ってください。
この処置を行った場合は使用できません。
ガス漏れの場合は、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差し、電気器具の「入・切」はしないでください。

1 ガス栓を閉める

2 燃料電池発電ユニットの主回路漏電ブレーカーと排熱利用給湯暖房ユニット用分岐ブレーカーを「切」にする

緊急の場合以外は台所リモコンの表示がすべて消灯してから行ってください。
排熱利用給湯暖房ユニットの電源を屋外防水コンセントから取っている場合は、電源プラグを抜いてください。

3 給水元栓を閉める

4 担当のメンテナンス会社に連絡する

機器の廃棄に関する注意（事故の原因）

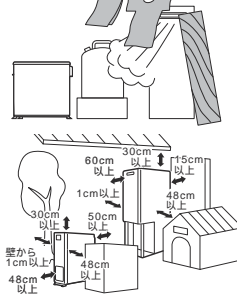
担当のメンテナンス会社またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

太陽熱温水器とは接続しない

ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどのおそれがあります。

⚠警告

可燃物に注意する（火災の原因）

●機器や排気部の周囲に紙や木材など燃えやすい物を置かない。
可燃物がある場合は図の離隔距離を守ってください。

※はメンテナンススペースとして必要な距離です。
なお、設置形態によってはメンテナンススペースを小さくできる場合があります。

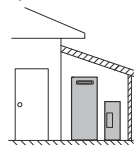
引火のおそれがあるものに注意（火災の原因）

●機器や排気部の周囲にガソリンやベンジンなどの引火のおそれがあるものを置いたり、使用したりしない。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを置かない

●機器や排気部の周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベを置くと、スプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

囲い禁止

●設置後、増改築などにより屋内状態にしない。
機器や排気部を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

やけどに注意する

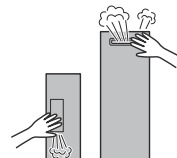
●シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめる。

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しない。

●沸き上げ中や沸き上げ直後は循環アダプターから熱いお湯が出るので注意する。

●浴そうのお湯を洗面器などで充分にかき混ぜてから手でお湯の温度を確かめる。

●床暖房の上に長時間座ったり寝そべったりしない。
低温やけどを起こすおそれがあります。
特に次のようなかたが使用する場合はまわりのかたが注意してください。
・乳幼児や自分の意志で体を動かせないかた
・疲労の激しいかた
・お酒や睡眠薬を飲まれたかた
・皮膚や皮膚感覚の弱いかた

●使用中や消火直後の機器の排気部には手を触れない。
高温になっています。

排熱利用給湯暖房ユニット内のお湯を排水するときはやけどに注意する

高温水が排水されることがありますので必ず冷めてから排水してください。

安全に正しく使用していただくために

⚠警告

入浴時はふろ循環アダプターに注意する

●子どもを浴そうで遊ばせたり、子どもだけで入浴させたりしない。
（事故やけがの原因）

●おふろにもぐらない。
（事故の原因）
髪の毛などが吸い込まれることがあります。
特に小さなお子様には注意してください。

●ふろ自動・追いだき・たし湯中は循環アダプターに近づかない。
熱いお湯が出ますのでやけどのおそれがあります。

●循環アダプターのフィルターをはずして使用しない。
（故障の原因）

電源コードや電源プラグ(※)に関する注意

●電源コードに無理な力を加えたり、ものを載せたりしない。
束ねたまま使用しない。
（火災・感電・発熱の原因）

●絶対に電源コードを切断して延長しない。
（火災や感電の原因）
電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。

●電源プラグを濡れた手で触らない。
雨が降っているときに電源プラグを抜かないでください。感電するおそれがあり、危険です。

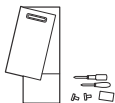
●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、たこ足配線はしない。
（発熱による火災の原因）

●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しない。
（火災の原因）

●定期的に電源プラグを抜き、ほこりを除去する。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

※屋外防水コンセントから通電している場合

お客様ご自身で設置・移設・分解・修理をしない（火災・感電・事故の原因）

この機器のガス配管はねじ接続です。ガス配管の接続工事には専門の資格、技術が必要です。
ユニットの設置・移設・付帯工事・修理をする場合は必ず担当のメンテナンス会社に依頼してください。
分解や改造を行わないでください。

移設など	必要な電力会社への手続き
増改築による移設の場合 （電気の使用場所に変更のない場合）	変更手続き
引越しによる移設 （電気の使用場所に変更のある場合）	引越し前：連系廃止手続き 引越し後：連系申請手続き
引越しなどによる廃止	連系廃止手続き

電源線を傷めない

電源線に無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。火災や感電の原因になります。

ガス管や機器に無理な力を加えない

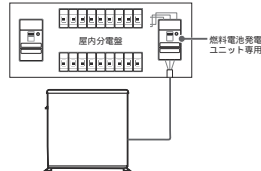
ガス管や機器の上に乗ったり、植木鉢などを置いたりしないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

定期点検を実施する（設備の安全確保）

定期点検は、担当のメンテナンス会社またはもよりの大阪ガスにご依頼ください。

⚠警告

燃料電池発電ユニット専用のブレーカーが設けられていることを確認する
（事故の防止）

屋内分電盤に「発電設備専用」と、表示されていることを確認してください。

排気部などの開口部に金屑類や燃えやすいものなどを入れない（火災や感電の原因）

給気部や排気部をふさがない
（火災や不完全燃焼の原因）

積雪時には、給気部や排気部がふさがれていないことを確認してください。

機器の排気に顔を近づけたりしない
（一酸化炭素中毒の原因）

⚠注意

不凍液に注意する

不凍液を万一飲んだ場合はすぐに吐かせ、すみやかに医師の診断を受けてください。

アースを確認する（感電の防止）

アースが不完全な場合は、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

用途に注意する

一般家庭の給湯・シャワー・追いだき・暖房以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

指定の機器と接続する

指定の燃料電池発電ユニットと排熱利用給湯暖房ユニット以外の機器と接続しないでください。
故障ややけどの原因になります。

固定状態を確認する（事故の防止）

機器がアンカーで固定されていることを確認してください。転倒すると危険です。

機器取替え時の注意

旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。

子どもを機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故やけがの原因になります。

保護具を着用する（けがの原因）

点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。

パネルヒーターに注意する（やけどの原因）

●パネルヒーターの表面は高温になるので触らない。
特に小さなお子様のいる家庭では注意してください。

床暖房の使用について

●床暖房の上に電気カーペットを敷かない。
床材の割れ・そり・隙間の原因になります。

●カーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない。
温水パイプが破損します。

安全に正しく使用していただくために

⚠注意

電源コードを引張って電源プラグ(※)を抜かない（火災や感電の原因）

※屋外防水コンセントから通電している場合

配管カバーをはずした際の注意

取付け作業終了後には、化粧ねじがしっかりと締まっていることを確認してください。
思わぬ事故の原因になります。

お願い

入浴するとき

●ふろの空だきをしない。
（故障の原因）
追いだきをするときには循環アダプター上部から約5cm以上の水位を保ってください。

●入浴剤や洗剤に注意する。
イオウ・酸・アルカリ・油分を含んだ入浴剤や洗剤は、ふろポンプの故障や熱交換器の腐食の原因になりますので使用しないでください。
入浴剤や洗剤の注意文をよく読んでから使用してください。

●浴そう内で石けんやボディーシャンプーを使用しない。
次回使用時に泡が出たり、故障の原因になります。

●浴そうの循環アダプターを手・足・タオルなどでふさがない。
（故障の原因）

●浴そうにミカンやレモンなどを浮かべて使用しない。
ポプリなどをご使用の場合は、袋などに入れて使用してください。フィルターがつまり、故障の原因や循環不良になりご希望の温度にならないおそれがあります。

機器内のお湯（水）について

●機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は飲用したり調理に使用しない。
雑用水として使用してください。

●飲用したり調理に使用する場合は必ず沸騰させてから使用する。
・必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
・固形物・変色・濁り・異臭があった場合は飲用しないですぐに、担当のメンテナンス会社や販売店、またはもよりの大阪ガスへ点検を依頼してください。

地下水・井戸水・温泉水の使用禁止

●給水は必ず水道水を使用する。
地下水・井戸水・温泉水を使用すると機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

機器周辺

●植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは置かない。

●増改築するときは、排気ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどにあたらないようにする。
（変色・破損・腐食の原因）

●除雪を行う。
積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気部がふさがれないように点検や除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気部や排気部をふさぐおそれがある場所に設置している場合は、給排気に影響がないように防雪の処置を行ってください。

●家庭用以外に使用しない。
（事故や故障の原因）
この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用に使用して事故や故障が発生した場合は、保証の対象外になります。

●給気口の近くで薬剤散布や塗装作業をしない。
（故障の原因）

長期間使用しない場合の処置

48時間以上連続で使用しない場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止（不在停止）」を行ってください。（「リモコン操作説明編」の「運転しないようにする」参照）
長期間（1ケ月以上）使用しない場合、または電源を切る場合は必ず水抜きを行ってください。18・19ページ

断水した場合の処置

●給湯栓を閉め、リモコンのON/OFFスイッチを押して「OFF」（標準リモコンの場合は給湯スイッチを押して「切」）にする。
リモコンに「260」を表示している場合は「故障表示一覧表」に従ってください。
（「リモコン操作説明編」の「故障表示一覧表」参照）

●追いだきをしない。
浴そうのお湯（水）が循環アダプター上部から約5cm以上あっても追いだきはしないでください。

●使い始めのお湯は調理に使用したり飲んだりしない。
飲用や調理に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

お願い

混合水栓について

混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用すると最大湯量は増えます。
節水タイプを使うと最大湯量は減りますが、体感はよくなります。
水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。
やけど防止のためサーモスタット付混合水栓（通水抵抗の少ないもの）の使用をおすすめします。リモコンの給湯温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より少し（約5℃）高めにして使用すると、混合水栓でご希望の温度にしやすくなります。

電源について

●緊急の場合以外はブレーカーを「切」にしない。
凍結予防運転のために電気を使用しています。

指定された別売部品以外は使用しない

（故障の原因）
必ず指定された別売部品を使用してください。

落雷のおそれがあるときの処置（故障の原因）

雷が発生したときは、運転を停止し、すみやかに燃料電池発電ユニットの主回路ブレーカーと排熱利用給湯暖房ユニット用分岐ブレーカーを「切」にしてください。23ページ
一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだ後は、通電させてください。

浴そうや洗面台をこまめに掃除する

銅配管から溶出したわずかな銅イオンと石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して洗面用具などが青くなることがあります。

ON/OFF(給湯)スイッチが「OFF(切)」のときはお湯側から水を出さない

お湯を出すときはON/OFF（給湯）スイッチが「ON（入）」になっていることを確認してください。「OFF（切）」のときにお湯側から長時間水を出すと機器内が結露し、電気部品の損傷の原因になることがあります。
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

点火・着火・消火を確認する

リモコンの補助熱源機燃焼表示で点火・着火・消火を確認してください。

停電時の注意

●すべての運転が停止しますので、停電復帰後は必要に応じて運転を再開してください。

●約24時間以上停電した場合は、暗証番号の入力、現在時刻の設定を行ってください。
（「リモコン操作説明編」の「時刻を設定する」の「日時設定」参照）［標準リモコンの場合は「現在時刻」参照］

●冬期の場合は凍結予防のため水抜きを行ってください。
18・19ページ

安全装置が作動したときは 22ページ

（火災や事故の原因）
安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。

凍結予防について

冬期には急な寒波のため排熱利用給湯暖房ユニットや配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。17〜19ページ

ドレン配管のつまりに注意する（故障の原因）

ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などでつまらせないでください。

配管バルブを閉めない

メンテナンス作業時以外は、配管バルブを閉めないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。

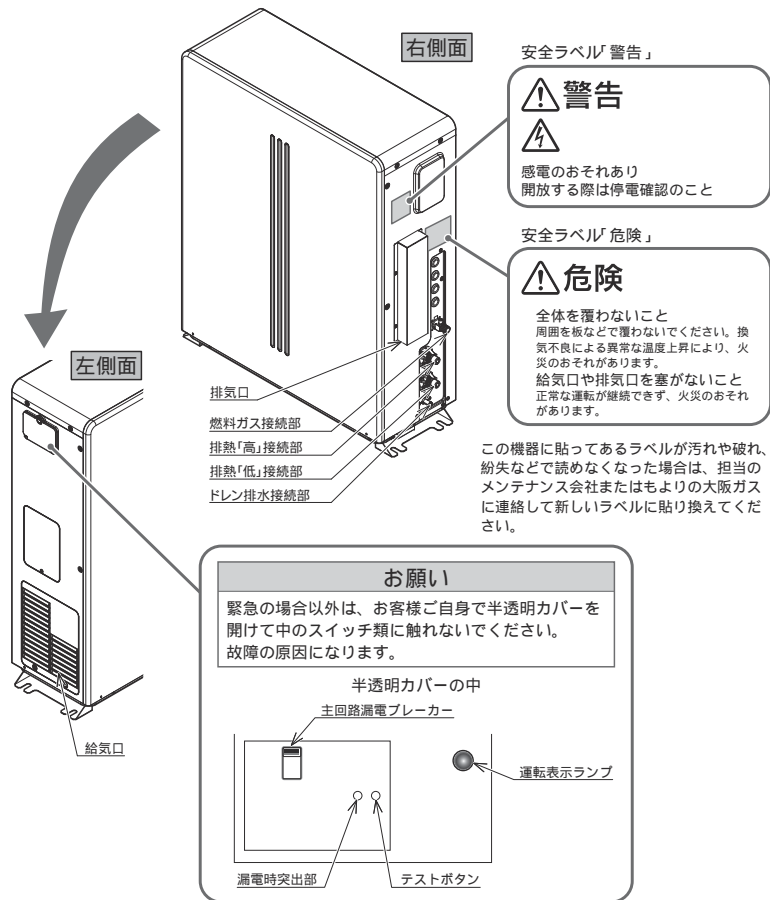
各部の名称

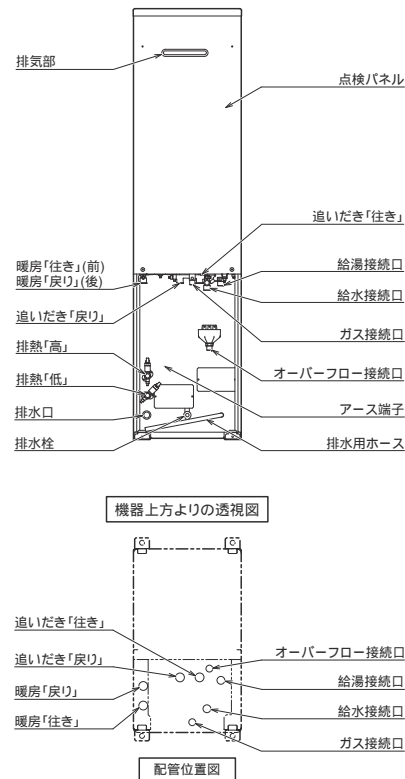
燃料電池発電ユニット

●給気口は左側面にあります。内部の換気と発電に必要な空気はここから取入れます。
●排気口は右側面にあります。排気は下方向に排出されます。
●本体ブレーカー(電源：主回路漏電ブレーカー)は、左側面の半透明カバーの中にあります。
●発電しているときは、半透明カバーの中の運転表示ランプが緑色に点灯します。
●起動中や停止中は、運転表示ランプが点滅します。

●この機器に貼ってあるラベルが汚れや破れ、紛失などで読めなくなった場合は、担当のメンテナンス会社またはもよりの大阪ガスに連絡して新しいラベルに貼り換えてください。

お願い

緊急の場合以外は、お客様ご自身で半透明カバーを開けて中のスイッチ類に触れないでください。
故障の原因になります。

排熱利用給湯暖房ユニット

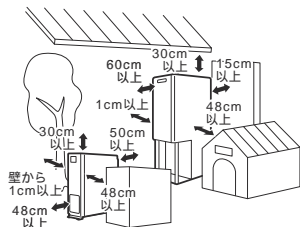
●配管カバーをはずしたイラストです。

設置状態の確認

1 設置場所

機器の設置場所は次のことを満たしていることを確認してください。

- ●水平な場所
- ●給気部や排気部の周囲に冷暖房装置や換気扇などの吹出口や吸込口がない場所
- ●給気や排気が充分できる場所(波板などで囲まないでください。)
- ●棚の下など落下物の危険がない場所
- ●周囲に可燃物や引火性のものがない場所
- ●樹脂製の照明器具などに熱があたらない場所
- ●給気部や排気部に強い風が吹き込まない場所
- ●足場などを組まなくてもメンテナンスができる場所
- ●排気部からの吹き出し音や運転音が隣家の迷惑にならない場所
- ●階段や避難口から離れた場所
- ●排気部から吹き出される排気ガスが建物の外壁や窓にあたらない場所
- ●腐食性ガスが発生しない場所
- ●積雪や屋根から落ちた雪で給気部・排気部が閉塞しない場所

2 周囲の防火処置

火災予防のため、図を参考に周囲の可燃物から防火上有効な距離をとってください。
(※はメンテナンススペースとして必要な距離です。
なお、設置形態によってはメンテナンススペースを小さくできる場合があります。)

3 排気部の周囲

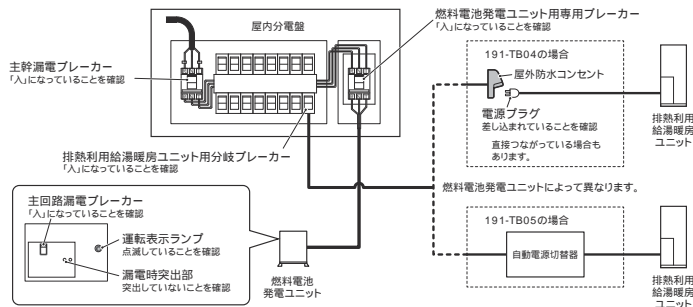
排気部から吹き出される排気ガスによって、加熱されると危険なものを機器の近くに置かないでください。(ガソリン・ベンジン・灯油・スプレー缶など)
また窓などの建物開口部が近くにない場所に設置してください。
植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気部の周囲には置かないでください。
また増改築するときは、排気ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどにあたらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因となります。

ご使用前の準備と確認

1 機器および周辺の確認

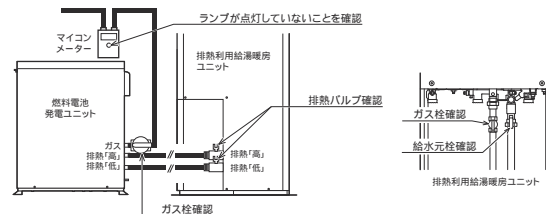
給気部や排気部がふさがれていないことを確認してください。
機器の近くにガソリン・ベンジンなど引火性のものや燃えやすいものを置かないでください。

2 電気の確認

- ●屋内分電盤の主幹漏電ブレーカーと燃料電池発電ユニット用専用ブレーカーが「入」になっていることを確認してください。また、燃料電池発電ユニット本体のブレーカー(電源：主回路漏電ブレーカー)が「入」になっていること、漏電時突出部が出ていないことを確認してください。
- ●燃料電池発電ユニットの運転表示ランプが点滅していることを確認してください。
- ●屋内分電盤の排熱利用給湯暖房ユニット用分岐ブレーカーが「入」になっていることを確認してください。
(屋外防水コンセントから電源を取っている場合は、電源プラグが抜けていないことを確認してください。)

3 ガス・水道の確認

- ●排熱利用給湯暖房ユニットの給水元栓①が開いていることを確認してください。
- ●排熱バルブ②が開いていることを確認してください。
- ●ガス栓③④が開いていることを確認してください。
- ●ガスの臭いやマイコンメーター指針の異常回転など、ガス漏れのおそれがないことを確認してください。
- ●ガスのマイコンメーターのランプ⑤が点灯していないことを確認してください。
- ●機器および周囲の配管から水漏れなどの異常がないことを確認してください。

リモコンに「260」を表示した場合は、「凍結のおそれがあるとき」の「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って水張りを行ってください。20ページ

memo

凍結のおそれがあるとき

凍結予防

●冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。

■燃料電池発電ユニット

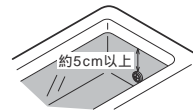
●燃料電池発電ユニットの本体ブレーカー(電源：主回路漏電ブレーカー)を切らないでください。
ブレーカーの位置は「各部の名称」を参照してください。12ページ
●発電設備専用と表示されたブレーカーや、上位の基幹ブレーカーを切らないでください。
ブレーカーの位置などは「ご使用前の準備と確認」を参照してください。15ページ

■排熱利用給湯暖房ユニット

●停電や電源プラグを抜くなど通電していない場合は、「排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」を行ってください。18・19ページ

凍結予防装置による方法(自動)

●この方法は外気温が下がると自動的に排熱利用給湯暖房ユニット内の給水経路を保温する凍結予防ヒーターに通電し、浴そう内の水を循環させて配管の凍結を予防します。

おふろのお湯(水)が循環アダプター上部から約5cm以上あること

少ない場合は給水してください。

お知らせ

●凍結した場合は絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
凍結がなくなり再使用時はすべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開けて水が出ることや、排熱利用給湯暖房ユニットや配管から水漏れがないことを確認してください。

凍結のおそれがあるとき

排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法

●停電や電源プラグを抜くなどで通電していない場合は、水抜きを行ってください。
●再使用時は「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従ってください。20ページ
●水抜きは配管カバーをはずして行い、終了後は取付けてください。24ページ

⚠警告

●やけど防止や配管保護のために必ず冷めてから排水してください。
給湯や暖房運転後、停電時などでも高温水が排水される場合があります。

●停電している場合は5～7の操作を行った後、排水栓[3]を「排水」の位置にし、過圧逃し弁[4]・水フィルター[5]・すべての水抜き栓[6]～[14]を緩めてください。この作業だけでは排熱利用給湯暖房ユニットすべての水は抜けません。凍結による破損を緩和させるための処置です。
●水抜き中は他の運転操作をしないでください。

1. 給湯温度を40℃に設定します。
2. 台所リモコンの貯湯量表示が点灯している場合は、すべての給湯栓を開けてお湯を出します。
   台所リモコンの貯湯量表示が消灯し、補助熱源機燃焼表示が点灯することを確認してから3以降を行ってください。
3. すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を閉めます。
4. 発電を停止します。(「リモコン操作説明編」の「発電する」参照)
   カラー液晶リモコンの場合
   (1)台所リモコンのMENUスイッチを押す。
   (2)設定スイッチで「発電」を選択し、SETスイッチを押す。
   (3)設定スイッチで「発電モード」を選択し、SETスイッチを押す。
   (4)設定スイッチで「停止」を選択し、SETスイッチを2回押す。
   標準リモコンの場合
   台所リモコンの発電モードスイッチを約5秒間押します。
   自動ランプと手動ランプが消灯します。

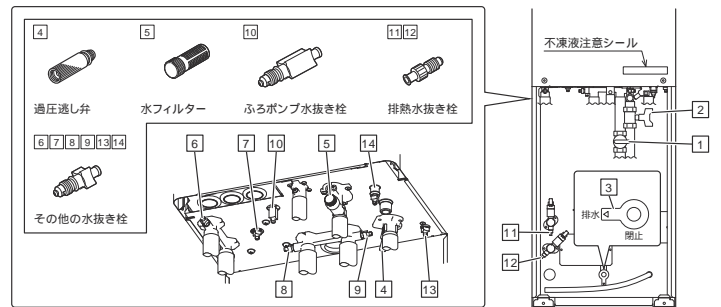
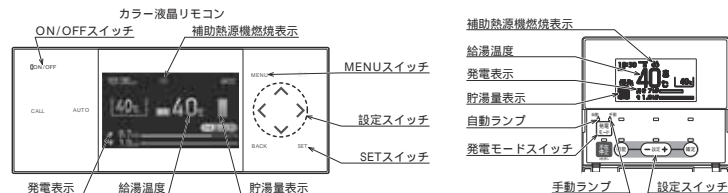
   音声で「変更されました」とお知らせします。
   発電していた場合は発電表示がしばらく点滅してから消灯します。
   発電表示が消灯していることを確認してから5以降を行ってください。
5. 浴そうのお湯を排水します。
6. ガス栓[1]・給水元栓[2]を閉めます。
7. ON/OFFスイッチを「OFF」(標準リモコンの場合は給湯スイッチを「切」)にしてから、すべての給湯栓(シャワーなど含む)を開け、排水栓[3]を「排水」の位置にする。
   このとき台所リモコンに「260」を表示します。
8. 貯湯タンクの水を抜きます。
   カラー液晶リモコンの場合
   (1)台所リモコンのMENUスイッチを押す。
   (2)設定スイッチを押して「設定」を選択し、SETスイッチを押す。
   (3)設定スイッチを押して「時刻・その他設定」を選択し、SETスイッチを押す。
   (4)設定スイッチを押して「タンク水抜き」を選択し、SETスイッチを押す。
   (5)「開始/停止」を表示したら、SETスイッチを押す。
   標準リモコンの場合
   台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「ー」を約3秒間押します。

   リモコンに「00d」と「タンク排水中」を表示します。
   1～7の操作を行わずにこの操作を行っても受け付けません。音声で「受付できません 確認してください」とお知らせします。
   この操作を行うと水抜きが終了するまで他のスイッチは受け付けません。
9. 過圧逃し弁[4]・水フィルター[5]をはずします。
   ※過圧逃し弁と水フィルターはエアチャージ栓を兼ねています。
10. 暖房水抜き栓[6]・暖房ポンプ水抜き栓[7]を緩めます。
   暖房回路に不凍液を使用している場合はこの作業は不要です。緩めないでください。
   (不凍液を使用している場合は不凍液注意シール「不凍液が入っています」が点検パネルの右側に貼られています。)
11. 追いだき「戻り」水抜き栓[8]・追いだき「往き」水抜き栓[9]・ふろポンプ水抜き栓[10]を緩めます。
12. 排熱水抜き栓[11] [12]・循環回路水抜き栓[13]を緩めます。
13. 中和器水抜き栓[14]をはずします。
14. 過圧逃し弁[4]・水フィルター[5]・水抜き栓[6]～[14]から水が出なくなる、または約1時間後に「00d」が「260」に変わると水抜きは完了です。
15. すべての水抜き栓を元通りに閉め、給湯栓(シャワーなどを含む)と排水栓を「閉止」の位置にする。
16. 屋内分電盤の排熱利用給湯暖房ユニット用分岐ブレーカーを「切」にします。15ページ
   屋外防水コンセントから電源を取っている場合は、電源プラグを抜きます。
   (排熱利用給湯暖房ユニットの電源が切れます。)

標準リモコン

カラー液晶リモコン

お知らせ

●給水元栓を閉めないと水抜きはできません。

再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)

●水張り時には浴そうの循環アダプターから水が出ますので、浴そうの排水栓をはずしてください。
●「排熱利用給湯暖房ユニットの水抜き」を行っていない場合にリモコンに「260」を表示した場合は、原因(給水元栓が閉まっている・断水など)が直った後に5・6の操作を行ってください。
●水張り時間は約20分間かかります。
●水張り中は他の運転操作をしないでください。
●排水栓と水抜き栓の位置などは「排熱利用給湯暖房ユニットの水抜き」のイラストを参照してください。19ページ

1. 配管カバーをはずして排水栓3が「閉止」の位置になっている、過圧逃し弁4・水フィルター5・すべての水抜き栓6〜14・すべての給湯栓(シャワーなどを含む)が閉まっていることを確認してください。19ページ
2. 屋内分電盤の排熱利用給湯暖房ユニット用分岐ブレーカーを「入」にします。15ページ
   屋外防水コンセントから電源を取っている場合は、電源プラグを差し込みます。
   (排熱利用給湯暖房ユニットの電源が入ります。)
3. リモコンに「260」を表示します。
4. 給水元栓2を開けます。
5. 貯湯タンクに水を張ります。
   カラー液晶リモコンの場合
   (1)台所リモコンのMENUスイッチを押す。
   (2)設定スイッチを押して「設定」を選択し、SETスイッチを押す。
   (3)設定スイッチを押して「時刻・その他設定」を選択し、SETスイッチを押す。
   (4)設定スイッチを押して「タンク水張り」を選択し、SETスイッチを押す。
   (5)「開始/停止」を表示したら、SETスイッチを押す。
   標準リモコンの場合
   台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「+」を約3秒間押します。

   リモコンに「00P」と「タンク水張り中」を表示します。
   給水元栓2が充分開いていないと「00P」は表示しません。
   ON/OFFスイッチが「ON」(標準リモコンの場合は給湯スイッチが「入」)、台所リモコンに「暖房」が表示中もこの操作は受け付けません。
   すべての暖房端末機の運転を停止してください。
   この操作を行うと水張りが終了するまで暖房端末機のスイッチ以外は受け付けません。
   また、スイッチを受け付けても水張りが終了するまで運転は行いません。
6. 「00P」が消灯し「ピーピーピーピー」と音がすると終了です。
7. 給湯栓を開け、水が出てくることを確認した後、給湯栓を閉めます。
8. ガス栓1を開けます。
9. 配管カバーを元通りに取付けます。
10. 発電については、発電運転の設定を確認してください。(「リモコン操作説明編」の「発電する」参照)

災害時などに貯湯タンクからお湯を取出す

⚠警告

●排水用ホースから熱湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

●断水時や地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
●停電している場合は、停電前の運転状態により以降の操作を行ってもお湯(水)の出が悪い、または出ないことがあります。

1 台所リモコンで暖房端末機の運転停止・予約解除をする

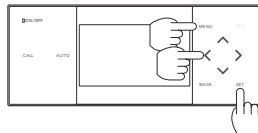
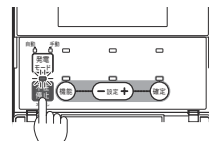
(「リモコン操作説明編」の「暖房する」参照)

台所リモコンで操作できない暖房端末機は暖房端末機の取扱説明書に従って運転停止と予約解除を行ってください。

2 ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)を行う

(「リモコン操作説明編」の「運転しないようにする」参照)

発電表示が点滅し発電はすぐに停止しますが、燃料電池発電ユニットはしばらく停止移行運転を続けます。
停止移行運転が完了すると、発電表示が消灯します。
緊急の場合はすぐに「3」以降を行ってください。
停電時はこの操作を行う必要はありません。

●カラー液晶リモコンの場合
1.台所リモコンのMENUスイッチを押す。
2.設定スイッチで「発電」を選択し、SETスイッチを押す。
3.設定スイッチで「不在停止」を選択し、SETスイッチを押す。
4.設定スイッチで「ON」を選択し、SETスイッチを2回押す。

●標準リモコンの場合
台所リモコンの不在停止スイッチを約3秒間押す。
不在停止ランプが点灯します。

3 屋内分電盤の排熱利用給湯暖房ユニット用分岐ブレーカーを「切」にする 23ページ

ただし、緊急の場合はすぐに行ってください。
排熱利用給湯暖房ユニットの電源を屋外防水コンセントから取っている場合は、電源プラグを抜いてください。

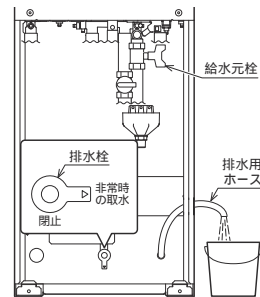
4 配管カバーをはずす 24ページ

5 給水元栓を閉める

6 排水用ホースの先をバケツなどで受ける

7 排水栓を「非常時の取水」の位置にする

始めに湯あかなどが出ることがありますので、少し捨ててから使用してください。

8 取水が終わったら排水栓を「閉止」の位置にし、排水用ホースを元に戻す

お知らせ

●排水用ホースから水の出が悪い場合は、循環回路水抜き栓13をゆるめてください。
(位置は「凍結のおそれがあるとき」の「排熱利用給湯暖房ユニットの水抜き」のイラストを参照してください。19ページ)
●再度使用するときは
・「凍結のおそれがあるとき」の「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って水張りを行ってください。20ページ
・通電していない状態が24時間以上続いた場合は、現在時刻の設定を行ってください。
(「リモコン操作説明編」の「時刻を設定する」の「日時設定」参照) [標準リモコンの場合は「現在時刻」]
・暗証番号を入力する画面を表示した場合は暗証番号を入力してください。その後は通常通りに使用できます。
(「リモコン操作説明編」の「発電する」の「暗証番号」参照)

故障かな？と思ったら

●「リモコン操作説明編」の「故障かな？と思ったら」も参照してください。

安全装置

安全装置	はたらき
立消え安全装置	●使用中にバーナーの炎が消えた場合に自動的にガスの供給を停止します。
残火安全装置	●空だきなどにより熱交換器内の温度が異常に上昇した場合に自動的にガスの供給を停止します。
空だき防止装置	●給湯回路に一定量の水が流れないと補助熱源機が燃焼しません。 ふろの循環を検知しないと追いだきしません。 ●暖房水タンクに一定量の水または不凍液が入っていないと暖房運転しません。
停電安全装置	●使用中に停電した場合に自動的にガスの供給を停止します。 再通電後は自動的には点火しません。
補助熱源機過熱防止装置（温度ヒューズ）	●排熱利用給湯暖房ユニット内の温度が異常に上昇した場合に自動的にガスの供給を運転を停止します。
過電流防止装置	●万一内部や送風機の配線のショートなどで過電流が流れたときにヒューズが切れて運転を停止します。
過圧防止安全装置	●熱交換器や貯湯タンク内の圧力が上昇した場合に圧力を逃がします。
ファン回転検出装置	●送風機の回転数が一定数以外の場合に補助熱源機を停止します。
漏電安全装置	●万一漏電したときに作動して自動的に運転を停止します。
沸騰防止装置	●高温のお湯が排熱利用給湯暖房ユニットに給水された場合に補助熱源機を燃焼しないようにします。
負圧防止安全装置	●断水したときに自動的に運転を停止します。 ●貯湯タンクが負圧になることを防ぎます。
凍結予防装置	●ポンプが排熱利用給湯暖房ユニット内の水を循環させ、給湯・ふろ・暖房回路および配管の凍結を予防します。

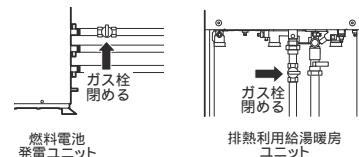
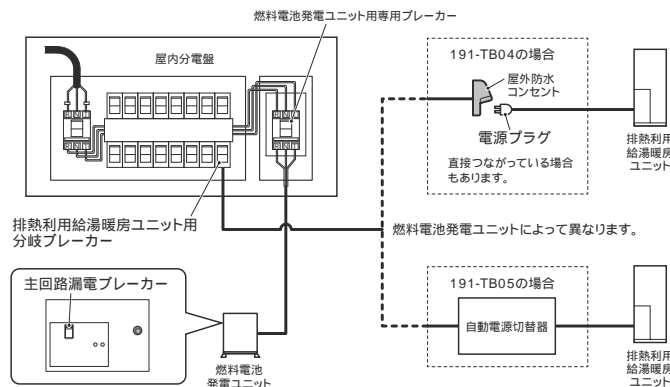
運転中に誤動作したときは

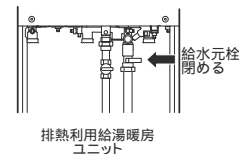
●万一運転中に雷や自動車無線などで誤動作したり、動かなくなったりしたときは次のいずれかの処置を行い、再度運転して異常がある場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

屋内分電盤の排熱利用給湯暖房湯ユニット用分岐ブレーカーを「切」にし、約30秒後に再度「入」にする。または、電源プラグを抜き、約30秒後に再度差し込む。

異常時の処置方法

運転中に異常を感じたり、地震や火災などの緊急の場合は次の処置を行ってください。
この処置を行った場合は使用できません。
ガス漏れの場合は、絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差し、電気器具の「入・切」はしないでください。

1 ガス栓を閉める

2 燃料電池発電ユニットの主回路漏電ブレーカーと排熱利用給湯暖房ユニット用分岐ブレーカーを「切」にする

排熱利用給湯暖房ユニットの電源を屋外防水コンセントから取っている場合は、電源プラグを抜いてください。

3 給水元栓を閉める

4 担当のメンテナンス会社に連絡する

長期間使用しない場合

●48時間以上連続で使用しない場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってください。
(「リモコン操作説明編」の「運転しないようにする」参照)

■燃料電池発電ユニットの水抜きについて

●長期間にわたって燃料電池発電ユニットを使用しない場合は、水抜きが必要です。
水抜きが必要なときは、担当のメンテナンス会社またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
●再使用時は担当のメンテナンス会社またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

■排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法

●長期間にわたって排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない場合やブレーカーを切る場合は、「凍結のおそれがあるとき」の「排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。18・19ページ
●再使用時は「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従ってください。20ページ
●水抜きは配管カバーをはずして行い、終了後は取付けてください。

日常の点検・手入れのしかた

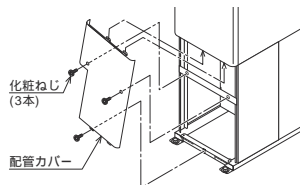
点検・手入れの際のご注意

⚠注意

●点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。けがの原因になることがあります。
●金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
●部品の分解・調整は絶対にしないでください。
●異常がある場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

点検・手入れの準備 (排熱利用給湯暖房ユニット)

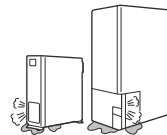
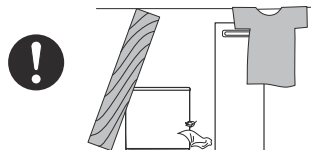
配管カバーのはずしかた

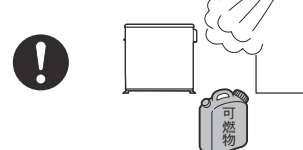
イラストは配管カバーを右側に取付ける場合です。

配管カバーの化粧ねじ(3本)をはずして配管カバーを取りはずします。
点検・手入れが終わったら元通りに取付けてください。

点検

(日常)

ガス漏れ・水漏れ

燃料電池発電ユニット・排熱利用給湯暖房ユニット・配管などからガス漏れや水漏れしていないことを確認してください。ガスが漏れていれば異臭がします。

給気部や排気部およびその周囲

給気部や排気部がふさがれていないことを確認してください。

周囲の可燃物

燃料電池発電ユニットや排熱利用給湯暖房ユニットおよび排気部の周囲に可燃物や危険物がないことを確認してください。

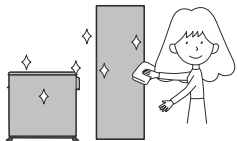
(1年に2〜3回以上)

配管の点検

配管の水漏れ、保温材の破損がないことを確認してください。

手入れ

(適時に)

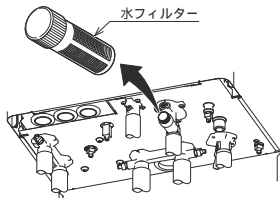
ほこり

燃料電池発電ユニットや排熱利用給湯暖房ユニット外面にほこりがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。

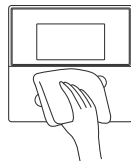
フィルターの掃除

浴そうを掃除するときは、必ず循環アダプターもはずして歯ブラシなどでフィルターの汚れを掃除してください。ご使用時には必ず取付けてください。

水フィルターの掃除

1. ON/OFFスイッチを押して「OFF」(標準リモコンの場合は給湯スイッチを押して「切」)にします。
2. 配管カバーをはずします。24ページ
3. 給水元栓を閉めます。
4. 水フィルターをはずして掃除をしてください。
5. 元通りに水フィルターを取付け、給水元栓を開け、配管カバーを取付けます。

リモコンに「260」が表示されている場合は、「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」の5・6の操作を行ってください。20ページ

底から見たイラストです。

リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因となります。

(1年に2〜3回程度)

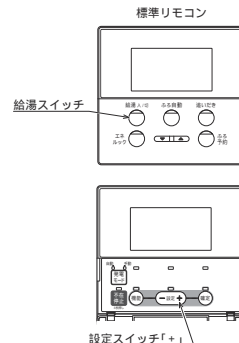
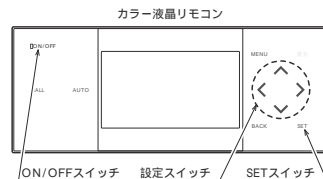
排熱利用給湯暖房ユニットのお手入れ(給湯回路の洗浄)

貯湯タンクの水張りを行うことで給湯回路の洗浄が行えます。
貯湯量表示が点灯していないときに行ってください。

1. 浴そうの排水栓をはずします。
2. 循環アダプターのフィルターをはずします。
3. 台所リモコンのON/OFFスイッチを押して「OFF」(標準リモコンの場合は給湯スイッチを押して「切」)にします。
4. 貯湯タンクに水を張ります。
   カラー液晶リモコンの場合
   (1)台所リモコンのMENUスイッチを押す。
   (2)設定スイッチを押して「設定」を選択し、SETスイッチを押す。
   (3)設定スイッチを押して「時刻・その他設定」を選択し、SETスイッチを押す。
   (4)設定スイッチを押して「タンク水張り」を選択し、SETスイッチを押す。
   (5)「開始/停止」を表示したら、SETスイッチを押す。
   標準リモコンの場合
   台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「+」を約3秒間押します。

   リモコンに「00P」と「タンク水張り中」を表示します。
   ON/OFFスイッチが「OFF」(標準リモコンの場合は給湯スイッチが「切」)でないと受け付けません。
   また、台所リモコンの「暖房」表示中も受け付けません。
   すべての暖房端末機の運転を停止してください。
   この操作を行うと水張りが終了するまで暖房端末機のスイッチ以外は受け付けません。
   また、スイッチを受け付けても水張りが終了するまで運転は行いません。
5. 「00P」と「タンク水張り中」の表示が消灯し「ピーピーピーピー」と音がすると終了です。
   循環アダプターのフィルターを元通りに取付けます。

標準リモコン

カラー液晶リモコン

(1年に1回程度)

排熱利用給湯暖房ユニットのお手入れ(貯湯タンクの洗浄)

●貯湯タンクの水抜き
貯湯量表示が点灯していないときに行ってください。
1.「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」に従って運転を停止してください。
(「リモコン操作説明編」の「運転しないようにする」参照)
2.「排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。18・19ページ

●貯湯タンクの水張り
1.「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って水張りを行ってください。20ページ
2.「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」に従って運転を再開してください。
(「リモコン操作説明編」の「運転しないようにする」参照)

定期点検について

●学習制御機能で自動的に最適な発電運転を行いますので、不在停止以外の操作はしないでください。
また、頻繁な起動や停止操作は機器の寿命を低下させる原因になりますので行わないでください。
●燃料電池発電ユニットの性能を維持し、安全にご使用いただくためにはフィルター交換などの定期点検(3.5年ごと)が必要です。
●定期点検はお客さま自身で行わないでください。担当のメンテナンス会社に連絡してください。

定期点検項目

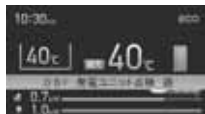
項　目	周期
パッケージ換気フィルターの交換	3.5年
空気フィルターエレメントの交換	3.5年
イオン交換樹脂ボトルの交換	3.5年

●燃料電池発電ユニットは点検時期を超過すると発電を停止します。
排熱利用給湯暖房ユニットのリモコンに「発電ユニット点検」を表示したときは、担当のメンテナンス会社に連絡してください。

・「発電ユニット点検 近」が点滅
もうすぐ点検時期であることのお知らせです。

カラー液晶リモコン　　標準リモコン

・「発電ユニット点検 要」が点滅
点検時期になったお知らせです。

・「05F 発電ユニット点検 過」が点滅
点検時期を超過したことのお知らせです。
燃料電池発電ユニットは運転しません。

●定期点検のおすすめ(有料)
給水用具(逆流防止装置)については、(社)日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

部品交換について

●故障したままで使用しないでください。爆発・ガス漏れ・不完全燃焼の原因になります。
●故障して修理や部品交換が必要なときは、担当のメンテナンス会社に依頼してください。

仕　様

■燃料電池発電ユニット

項　目	記入内容	
品名	191-TB04　または　191-TB05〔燃料電池発電ユニット〕	
型式名	TM1-AE-NF TM1-AE-NB	TM1-AE-LF TM1-AE-LB
設置方式	屋外式据置形・壁面近接設置形	
ガス	都市ガス　13A	LPガス
電気	単相三線式 AC 100V/200V 60Hz	
外形寸法	高さ1,000mm　幅780mm　奥行き300mm(高さは脚を含む)	
重量	94kg(満水時100kg)	
消費電力(最大)	1.1kW(起動時)　0.25kW(待機時凍結予防運転時)	
ガス消費量(最大)	2.0kW(定格運転時)	2.2kW(定格運転時)
定格出力	700W	
最低出力	250W	
発電効率(定格)	39%(※1)	38%(※1)
総合効率(定格)	95%(※1)	94%(※1)
騒音	37dB (A) 以下(無響室内、全面1m)	
起動時間	約50分(発電まで)	
運転モード	全自動	
系統電力との関係	逆潮なし系統連系ガイドライン準拠(無償逆潮なし)	

接続排熱利用給湯暖房ユニット品名	136-CF04

※1 低位発熱量基準(LHV)による。

仕　様

■排熱利用給湯暖房ユニット

項目			記入内容
名称		品名	136-CF04〔排熱利用給湯暖房ユニット〕
		型式名	FCG-203-D
		設置方式	屋外式据置形・壁面近接設置形
		給排気方式	強制排気式
		外形寸法	高さ1,760mm　幅750mm　奥行き440mm
		重量	92kg(満水時約295kg)
	接続	ガス	R1/2(15A)
		給水	R3/4(20A)
		給湯	R3/4(20A)
		ふろ(往・戻)	CCHM(QF16)ジョイント
		暖房(往・戻)	CCHM(QF16)ジョイント
		排熱(高・低)	R1/2(15A)
		排水	R1/2(15A)
		オーバーフロー	R1/2(15A)
		電源	AC100V　60Hz
		信号線	2芯
	消費電力	最大時	239W(給湯+ふろ+暖房)
		凍結予防ヒーター	125W
		待機時(台所・浴室リモコン取付時)	カラー液晶リモコンの場合 ON/OFFスイッチ「ON」:5W ON/OFFスイッチ「OFF」:7W 標準リモコンの場合 給湯スイッチ「切」:3W 給湯スイッチ「入」:5W
運転制御仕様		点火方式	連続スパーク点火式
	給湯・お湯はり	能力	システム給湯能力:1.22~41.9kW(0.7~24号) 補助熱源機能力:4.36~41.9kW(2.5~24号)
		給湯時最大出湯量	24L/min(貯湯タンク含む)
		最低作動流量	ON:2.7L/min　　OFF:1.5L/min
		最低作動水圧	9.8kPa(0.1kgf/cm^2)
		減圧弁圧力	370kPa(3.78kgf/cm^2)
	追いだき	能力	12.0kW(10,300kcal/h)
		方式	強制循環式
	暖房	能力	17.4kW(15,000kcal/h)〔75℃時〕
安全装置			立消え安全装置・残火安全装置・空だき防止装置・停電安全装置 補助熱源機過熱防止装置(温度ヒューズ)・過電流防止装置・過圧防止安全装置 ファン回転検出装置・漏電安全装置・沸騰防止装置・負圧防止安全装置・凍結予防装置
付属部品			取扱説明書・工事説明書・コネクタ(コード)一式・大阪ガスのお問い合わせ先

接続燃料電池発電ユニット品名	191-TB04　または　191-TB05

使用ガス	ガス消費量(※1)	
	最大	最小(参考値)
都市ガス(13A)	44.1kW(37,900kcal/h)	4.5kW(3,900kcal/h)
LPガス	44.1kW(3.15kg/h)	4.5kW(0.32kg/h)

※1 ガス消費量は補助熱源機の消費量です。

アフターサービス

修理を依頼するとき

修理を依頼する前にこの説明書(22・23ページ)と「リモコン操作説明編」の「故障かな?と思ったら」の項を見て、もう一度確認してください。不具合があるときはお客様ご自身で修理せず、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

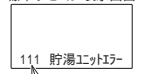
●アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品　　名…………191-TB04型(燃料電池発電ユニット)
   191-TB05型(燃料電池発電ユニット)
   136-CF04型(排熱利用給湯暖房ユニット)
2. 型　式　名…………TM1-AE-NF(燃料電池発電ユニット)
   TM1-AE-LF(燃料電池発電ユニット)
   TM1-AE-NB(燃料電池発電ユニット)
   TM1-AE-LB(燃料電池発電ユニット)
   FCG-203-D(排熱利用給湯暖房ユニット)
3. ガス　種…………都市ガス13A・LPガス
4. お買い上げ年月日
5. 故障の状況…………できるだけ詳しく(故障表示など)
6. ご住所、お名前、電話番号
7. 訪問ご希望日

カラー液晶リモコン表示画面

故障表示

標準リモコン表示画面

111　貯湯ユニットエラー

故障表示

保証について

●この機器には保証書がついています。
必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などが記入されていることを確認してください。
●保証書の内容をよくお読みになった後は大切に保管してください。
●無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

転居または機器を移設・廃棄するとき

●転居する場合は販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
●移設はお客様ご自身で行わず、移設先のガス会社、販売店に依頼してください。
●移設先のガス種によっては使用できない場合があります。
●廃棄はお客様ご自身で行わず、販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

補修用性能部品ついて

補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です

●性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

⚠警告

ガスくさいときは、ガス栓を閉め
窓を全開にして(火気に注意して)
大阪ガスにご連絡ください。

お問い合わせ先

別添「大阪ガスのお問い合わせ先」
をご参照願います。

エネファーム　フルメンテナンスサポート制度に関するご案内

この度設置いただきました大阪ガス製エネファームにつきましては、機器の保証期間(保証開始日から2年が経過した日)経過後、８年間(保証開始日から１０年が満了となる日)におきましては、以下の内容により、フルメンテサポート業務(以下、保守業務)を実施いたします。(但し、エネファームの品質、性能を保証するものではありません)

１．保証開始日の定義

保証登録カードもしくは領収書等のお買い上げ日をご確認ください。どちらもご提示がない、もしくは不明の場合は、設置されたエネファームが初めて系統連系を実施した日もしくは、ガスの開栓日のいずれか遅い方となります。　但し、対象機器の設置から1年を経過している場合は、設置日から1年が経過した日となります。

※当社供給外設置の場合は、上記記載内容のうち、ガスの開栓日の適用はありません。

２．保守業務対象機器

保証書記載の機種及び、設置されているエネファームに接続されている大阪ガス製の「床暖房」「浴室暖房乾燥機」等の温水端末機(自立機能に関わる自動電源切替器を含む)が対象となります。

※但し、温水端末機の保守業務対象期間は、設置されているエネファームの保守業務終了日もしくは、接続されている温水端末器の設置日から１０年が満了する日のいずれか早い方となります。

３．保守業務内容

故障修理及び、当社で規定する定期点検については、以下の免責事項を除き、無償にて実施いたします。
但し、保守業務に要する電気、ガス、水道、その他の費用はお客さま負担となります。
尚、保守業務終了後の故障修理、定期点検については、保守業務が可能な限り、有償にて承ります。
また、いずれの場合も当社の保守業務は、当社の指定するメンテナンス代理店に委託できるものとします。
※定期点検時期は、裏面を参照ください。

４．保守業務における免責事項

以下の事象にあたると判断される場合は、保守業務期間中においても有償となります。

１)保証書に記載されている免責事項にあたる事由。
２)手動操作による「起動」「停止」を頻繁に繰り返し行い、改質器の耐久性が低下したことによる故障。
３)停電時以外での自立運転を頻繁に使用したことが起因する故障
４)転宅、ガス使用契約の解除、保守業務対象機器の転売、移転、廃棄、使用中止をする場合において、当社もしくは、メンテナンス代理店への事前の連絡がない状態で発生した故障等。
５)機器の性能・耐久性維持の為の定期点検など、当社からのお願いにご協力いただけずに発生した機器の耐久性低下による故障

５．免責事項

以下の場合、当社の保守業務の履行および債務は免除されるものとします。

１)保守業務対象機器の設置場所が当社の事前の同意なく変更された場合。
２)長期のご不在や、メンテスペースの確保が出来ていないなどのやむ得ない事情により保守業務を行うことができない場合。
３)お客さまの事由により、定期点検タイミングにて定期点検が実施できない場合。
(当該未実施の定期点検については、当社の保守業務の履行から免除されるものとします。)
４)当社が指定しているガス会社以外からのガス供給を受けられる場合や、販売時にアフターサービスをお約束していない場合

（裏面に続く）

６．不担保事項

当社は、保守業務の履行により生じた故障発生等に伴いお客さままたは第三者に生じた、営業上の損害等の二次被害に対する賠償責任を負いません。但し、当社に故意または重過失がある場合は、この限りではありません。

台所リモコンに「点検」表示があるにも関わらず、お客さまから当社へご連絡をいただけず、発電を停止している時間の逸失したメリットについて、当社は何ら賠償責任を負いません。

７．不担保事項

保守業務対象機器の所有権を移転する場合、この保守業務にかかるお客さまの地位は、保守業務対象機器の所有権とともに移転するものといたします。尚、この場合、旧所有権者は当社へ何らかの請求は行えないものといたします。

８．連絡先

保証書を参照ください。

(ご参考)定期点検実施時期

点検回数	1回目	2回目
点検時期	3年6ヶ月以降	8年目

※定期点検の回数、内容については、お客さまに通知することなく、変更する場合があります。

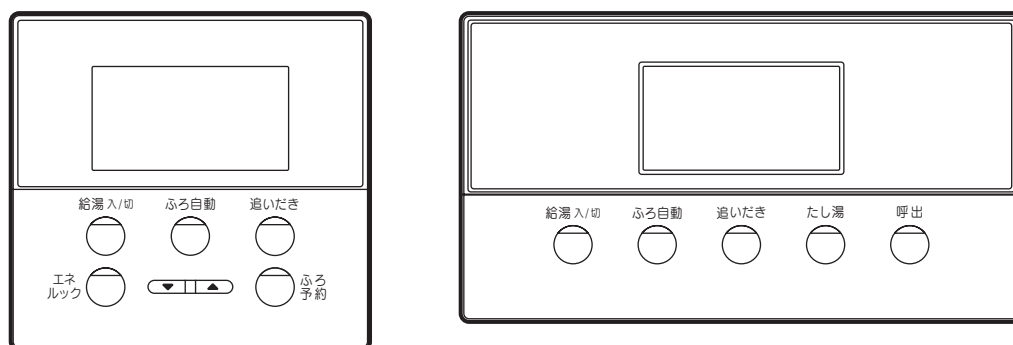
大阪ガス

排熱利用給湯暖房ユニット

取扱説明書

リモコン操作説明編

[標準リモコンセット]

138-C371型

このたびは、本製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●この説明書はリモコン操作に関する内容を記載しています。燃料電池発電ユニット本体と排熱利用給湯暖房ユニット本体については、別冊の機器本体操作説明編の取扱説明書を参照してください。
●取扱説明書を紛失された場合は、担当のメンテナンス会社またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20758433（M）

安全上の注意（必ずお守りください）

●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	人が死亡、重傷を負う可能性、火災の可能性が想定される内容です。		安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。
⚠注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。		

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🚫	禁止 「してはいけない」内容です。	⚠ ⚠	注意 「注意しなければならない」内容です。

⚠警告

やけどに注意する

●シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめる。

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しない。

●沸き上げ中や沸き上げ直後は循環アダプターから熱いお湯が出るので注意する。

●浴そうのお湯を洗面器などで充分にかき混ぜてから手でお湯の温度を確かめる。

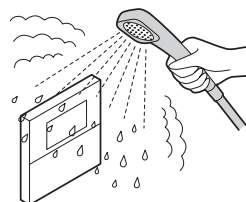
⚠注意

リモコンに耳を近づけて使用しない

大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

故意に水やシャンプーなどをかけない

（故障・作動不良・音声異常の原因）

お子様がいたずらしないように注意してください。

お願い

リモコンについて

●分解したり、乱暴に扱わない。
（故障の原因）

●掃除するときはシンナー・ベンジン・酸性洗剤などを使用しない。
（変色や変形の原因）

●使用環境温度の範囲内（−10～60℃）で使用する。

●給湯スイッチが「切」の状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びたりしない。
（故障の原因）

もくじ

ページ

こんなときは？

各部の名称とはたらき

台所リモコン

ふたを開いた状態です。

表示画面

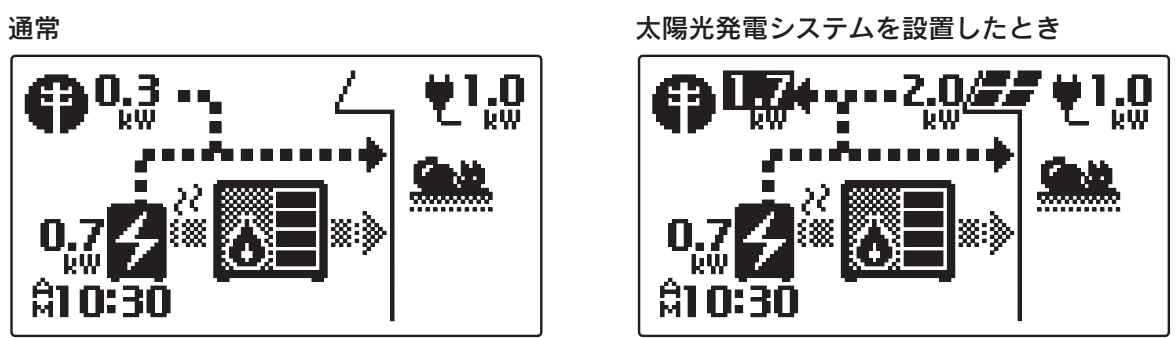
●給湯スイッチを「入」にしたとき

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。
発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

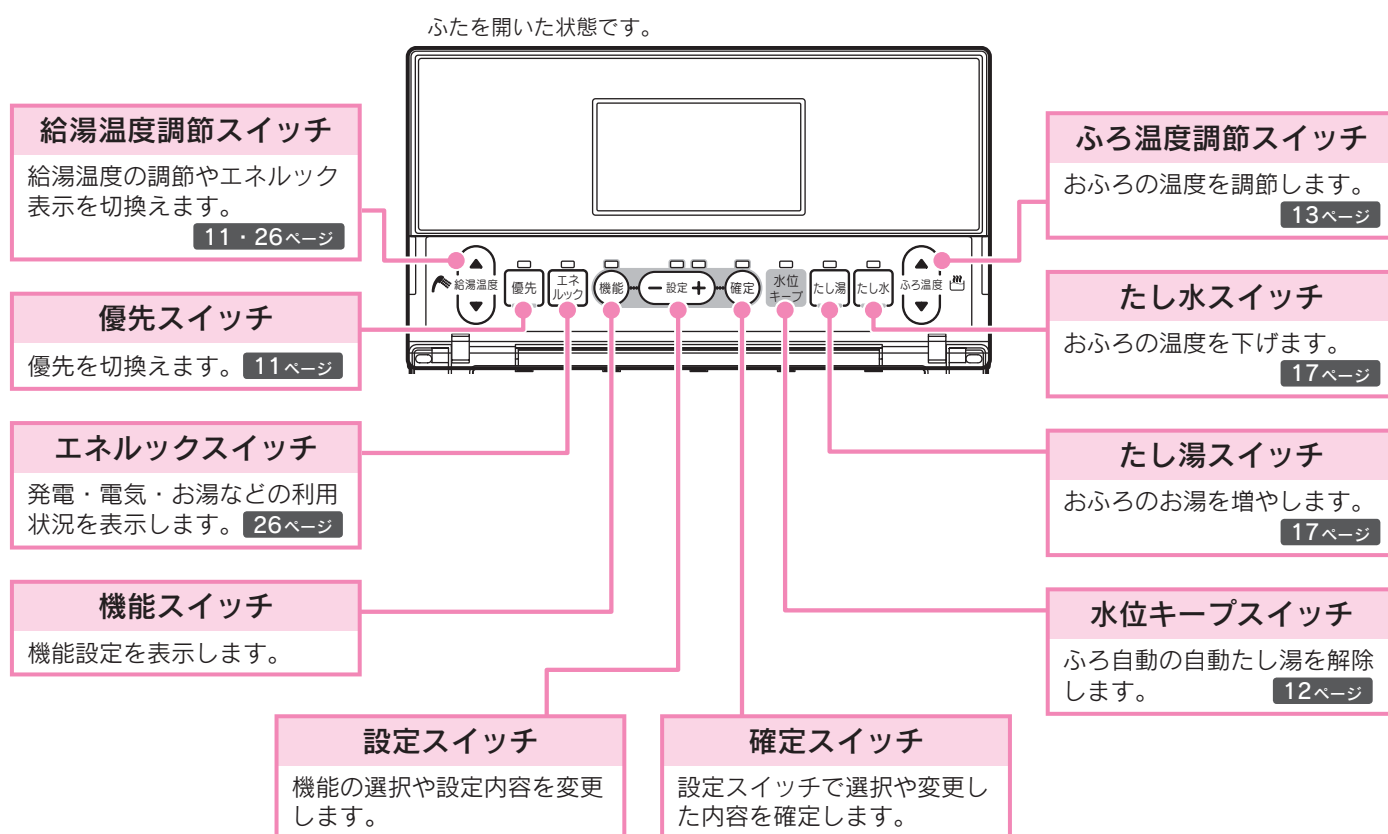
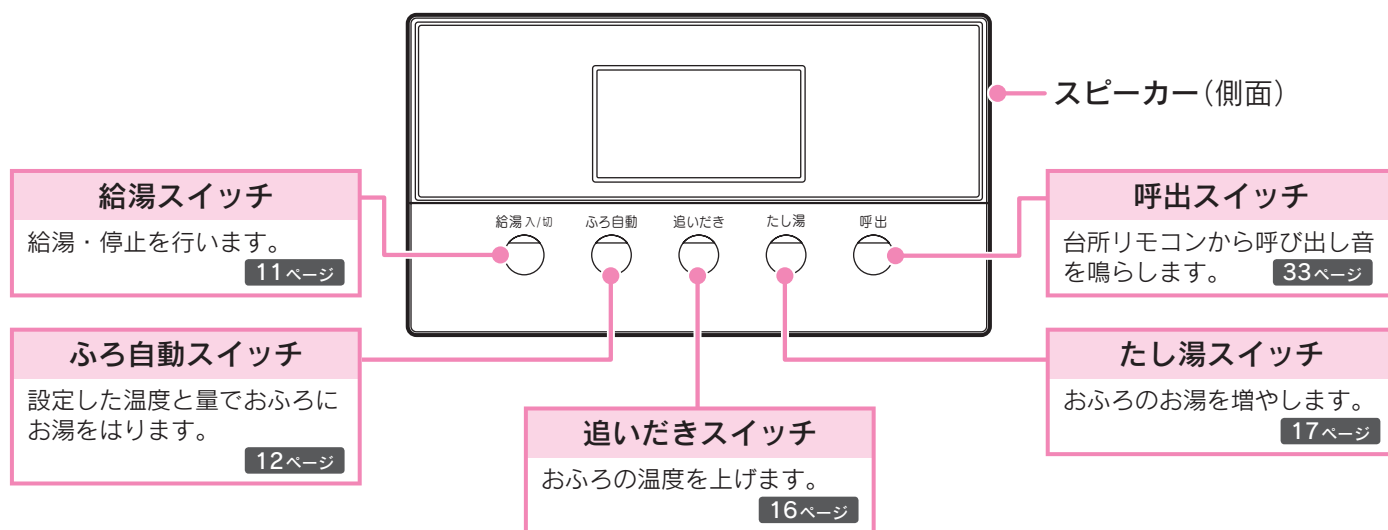
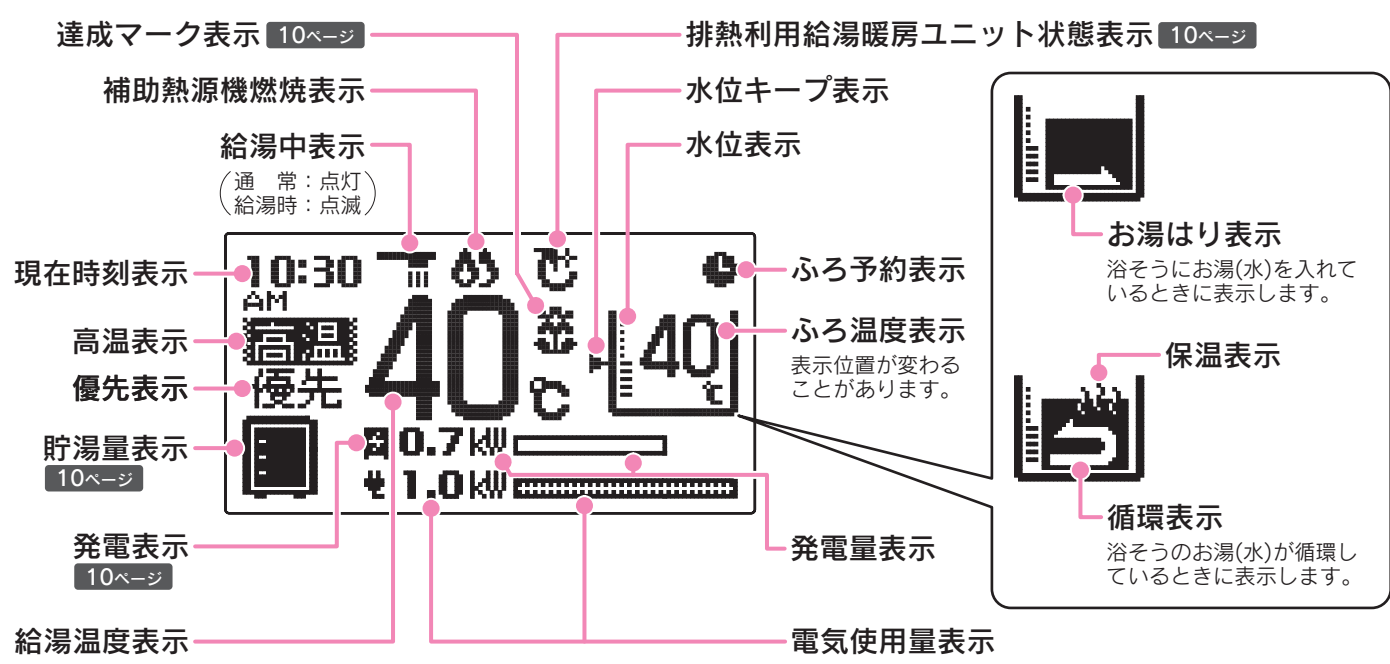
●給湯スイッチを「切」にしたとき

・機能設定で「**表示有無エネルギーモニタ**」を「**エネルック＋待機**」にしたときは、「**エネルック**」の「**エネルギーモニタ**」と同様の表示画面になります。（一部異なります。）31ページ

通常

太陽光発電システムを設置したとき

・機能設定で「**表示有無エネルギーモニタ**」を「**エネルック**」にしたときは、主に表示マークのみの画面になります。

各部の名称とはたらき

浴室リモコン

ふたを開いた状態です。

給湯温度 優先 エネルック 機能 設定 確定 水位キープ たし湯 たし水 ふろ温度

給湯温度調節スイッチ
給湯温度の調節やエネルック表示を切換えます。 11・26ページ

優先スイッチ
優先を切換えます。 11ページ

エネルックスイッチ
発電・電気・お湯などの利用状況を表示します。 26ページ

機能スイッチ
機能設定を表示します。

設定スイッチ
機能の選択や設定内容を変更します。

確定スイッチ
設定スイッチで選択や変更した内容を確定します。

ふろ温度調節スイッチ
おふろの温度を調節します。 13ページ

たし水スイッチ
おふろの温度を下げます。 17ページ

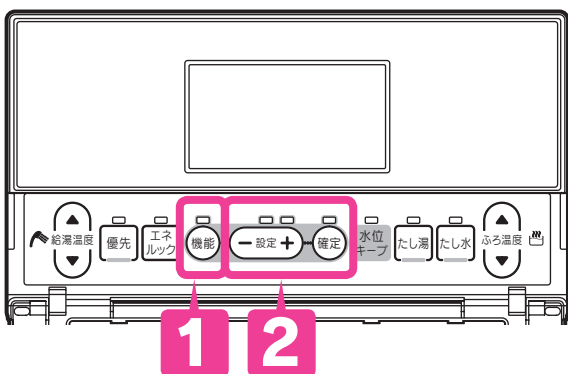
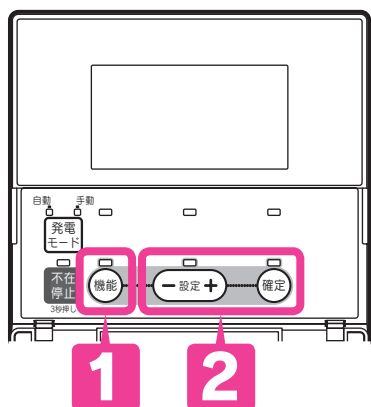
たし湯スイッチ
おふろのお湯を増やします。 17ページ

水位キープスイッチ
ふろ自動の自動たし湯を解除します。 12ページ

表示画面

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。
発電量・電気使用量はkW単位の小数点第2位を四捨五入して表示しています。

リモコンの機能設定

機能一覧の項目ごとに設定を変更できます。

■項目の選び方

●機能・－設定＋・確定を操作することにより、機能を設定することができます。

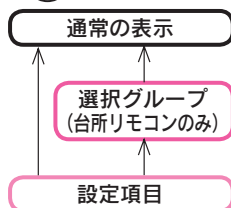
1 機能を押す

2 －設定＋を押して項目を選び確定を押す

↕：－設定＋で項目を選ぶ

⋮：確定で設定項目へ移動

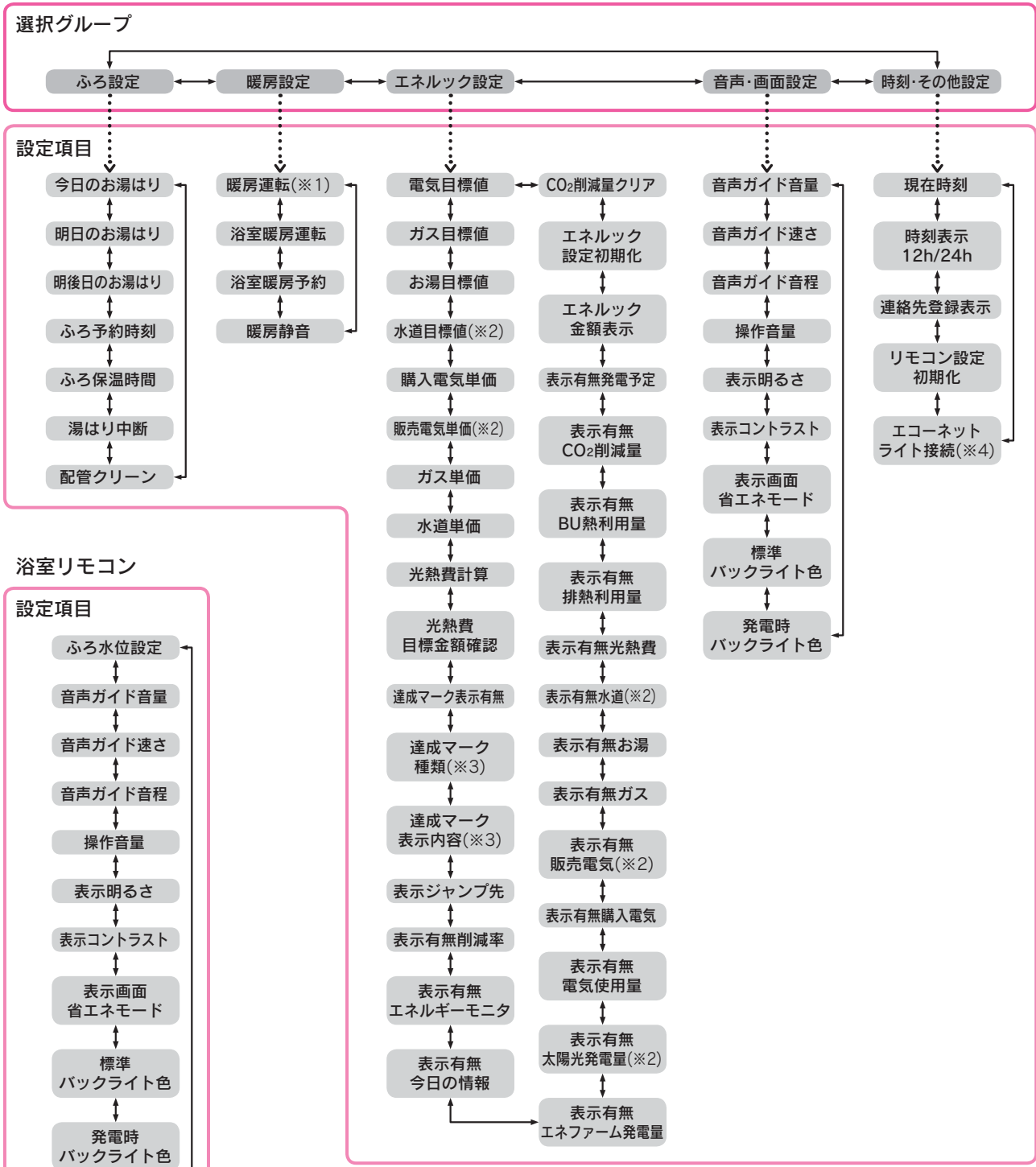
■戻るときは

↑：機能を押す

ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

お知らせ

●現在時刻の設定を行っていない場合は、機能スイッチを押すと「**現在時刻**」の設定画面を表示します。
●機能設定中に約10秒間操作を行わないと操作ガイドが表示されます。
●機能設定を確定後に続けて他の機能を設定する場合は、機能スイッチを押してください。
次の項目に移動して設定することができます。
●設定の途中でふたを閉じると、変更した内容は確定されず、通常の表示に戻ります。

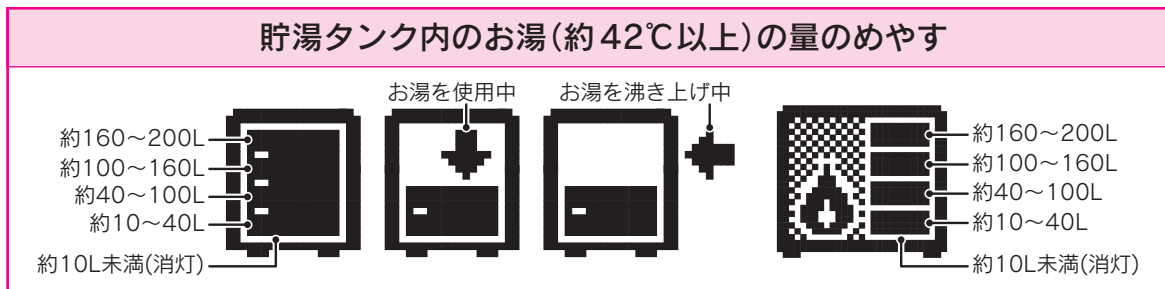
■機能一覧

※1 設置時の設定によっては表示しない場合があります。
※2 別売部品などの取付けを行わないと表示しません。水道を表示するとお湯は表示しません。
※3 達成マーク表示有無を「**しない**」にした場合は表示しません。
※4 別売部品を取付けた場合のみ表示します。

各部の名称とはたらき

表示について

貯湯量表示

●貯湯タンク内の「**お湯（約42℃以上）の量**」を表示します。
●約42℃以上のお湯の量を元に表示していますが、季節や貯湯状態により変動します。
●貯湯量を表示している場合でも、給湯温度によっては補助熱源機が作動することがあります。お湯の出を早くするためのもので、故障ではありません。
●表示されたお湯の量以外は水です。

貯湯タンク内のお湯（約42℃以上）の量のめやす

発電表示

●発電状態を表示しています。

	発電	発電しています。　点灯…………………発電中です。 点滅（約2秒周期）…発電準備中です。 点滅（約6秒周期）…停止移行中です。 （発電中に性能維持運転のため一時的に送電を中断しているときも発電表示をします。）
	強制停止中	排熱利用給湯暖房ユニットにより、強制的に発電を停止しています。 お客様の操作やメンテナンス中以外でこの表示が出た場合は、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。 故障を表示している場合は「**故障表示一覧表**」に従ってください。
	自動発電停止	自動モード設定中に学習機能によって発電を停止しています。故障ではありません。 発電予定時刻はエネルックで確認できます。
表示なし	停止中	手動モードで貯湯タンクがすべてお湯になった場合や、不在停止中などの使用状況により貯湯タンクのお湯の入替えが必要な場合に停止します。手動モードですべてお湯になった場合は当日中は発電せず、お湯の使用状況に応じて翌日以降に発電を行います。お湯の入替えが必要な場合は、補助熱源機を経由してお湯を供給し、しばらく使用すると自動的に発電を開始します。

排熱利用給湯暖房ユニット状態表示

●凍結予防や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。

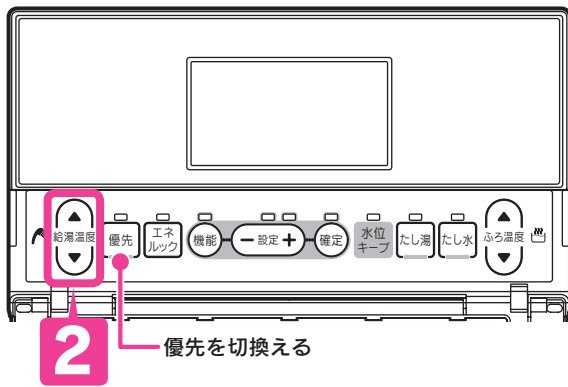
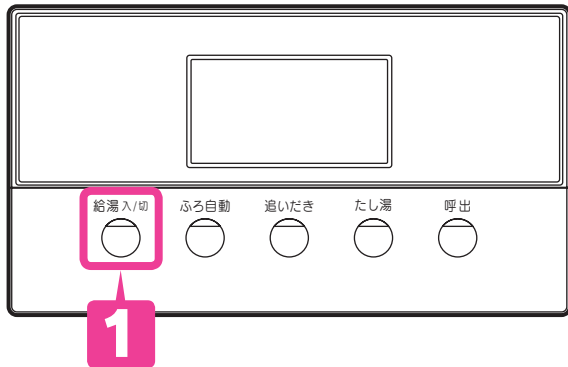
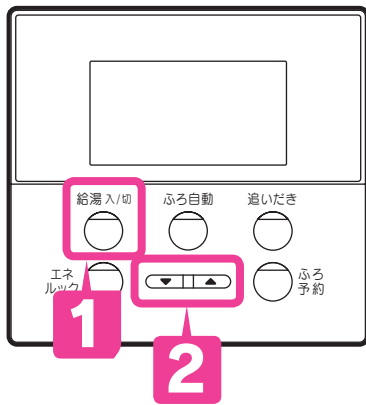
	凍結予防運転	排熱回路の凍結予防を行っています。
	タンクリフレッシュ運転	お湯の利用が少なくなったときに、水質維持のため貯湯タンクのお湯を高温に沸き上げています。（貯湯タンク内の水を沸き上げる場合は補助熱源機が作動します。）
	タンク長期滞留防止運転	貯湯タンクにお湯が長期間滞留することを防止する運転を行っています。
	マイコンメーターの確認	燃料電池発電ユニットを停止させ、マイコンメーターの機能を確認しています。

達成マーク表示

●「**エネルックの設定**」で設定した目標値に対する達成度をお知らせします。30・31ページ

目標値を大きく達成しています。	目標値を達成しています。	ほぼ目標値通りです。	目標値を下回っています。	目標値を大きく下回っています。

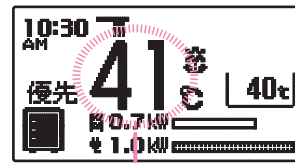
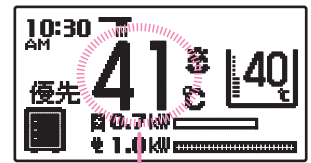
シャワーやじゃ口でお湯を使う

給湯温度　シャワーやじゃ口から出るお湯の温度を設定します。

1 給湯 入/切 を押す(入)

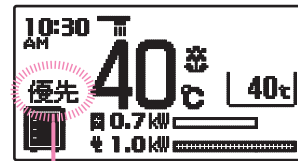
2 ・給湯温度 で給湯温度を設定する

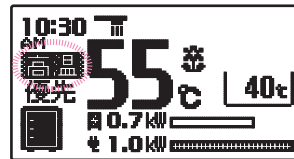
給湯温度設定範囲
32℃・35℃・37～48℃(1℃ごと)・55℃・60℃

●すべてのリモコンが同じ温度になります。

台所リモコン　浴室リモコン

給湯温度

お湯の温度が○○℃に
変更されました

「ピピピピッ」と鳴って温度が変更できない場合
浴室リモコンの**優先スイッチ**を押して優先を表示させてください。
※台所リモコンには優先スイッチはありませんので、浴室リモコンの優先スイッチを押してください。

給湯温度が設定できるリモコンに表示します

55℃以上に設定したときはすべてのリモコンに「**高温**」が表示されます。

お湯の温度が○○℃に
変更されました
あついお湯が出ます

給湯温度のめやす(℃)							
32	35	37	38	39～43	44～48	55	60
食器洗いなど				給湯・シャワーなど	給湯など	高温	

リモコンの優先について

●台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。お湯を使用中に他の人が給湯温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどや冷水による思わぬ事故につながることがあります。
このような事故を防止するため、「**優先**」を表示したリモコン以外は、給湯温度の変更ができないようになっています。

やけどに注意！

●給湯温度の変更は他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
●「**優先**」を切換えると切換わったリモコンの給湯温度を表示します。
●シャワー使用前に給湯温度を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。またシャワー使用中は給湯温度の変更や「**優先**」の切換えをしないでください。
●55℃以上で使用した後に再度使用するときは、給湯温度をよく確認してください。
●停電時や故障時でも熱いお湯が出ることがありますので注意してください。

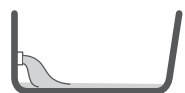
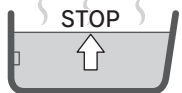
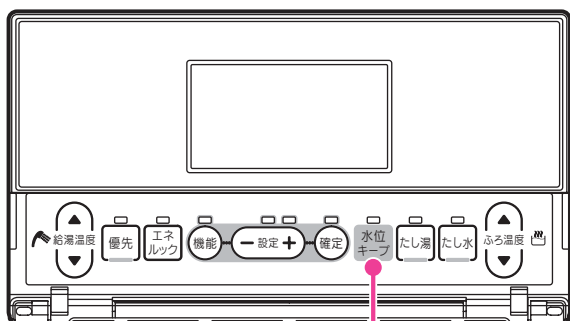
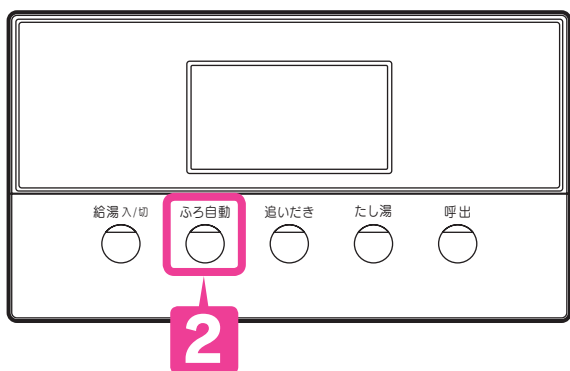
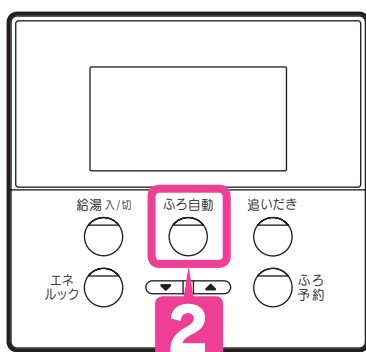
お知らせ

●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より少し(約5℃)高めにして使用してください。

しばらくお湯を使わないときはもう一度 給湯 入/切 を押す(切)

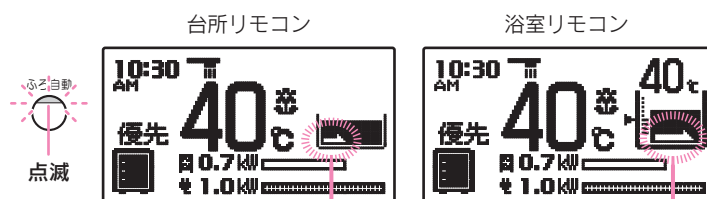
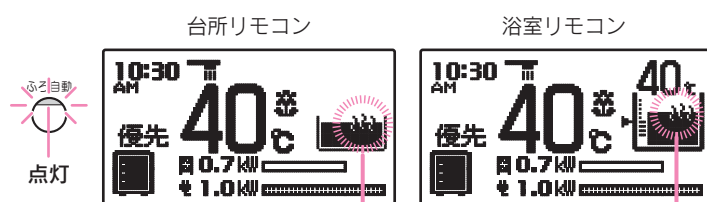
おふろにお湯をはる

ふろ自動

自動的におふろにお湯をはります。
設定されたふろ保温時間の間は、自動的におふろの温度と水位を保ちます。

1 浴そうの排水栓をしてふたをする

●循環アダプターのフィルタがついていることを確認してください。
●ふろ温度を確認してください。

給湯スイッチが「切」のときは押して「入」にしてください。

2 ふろ自動 を押す

約30分後

●お湯はりを終えると、ふろ自動ランプが点灯し保温表示を表示してふろ保温を開始します。

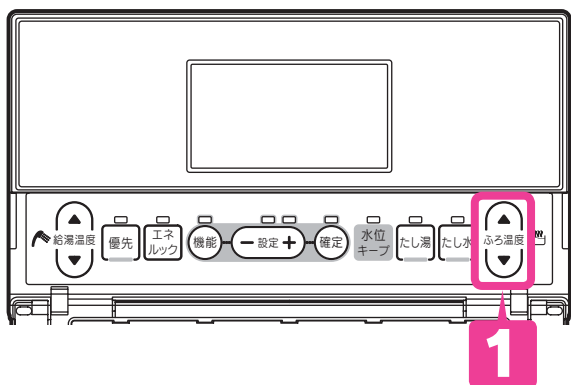
自動たし湯を中止するときは 水位キープ を押す
水位キープを解除します

ふろ自動を中止するときはもう一度 ふろ自動 を押す

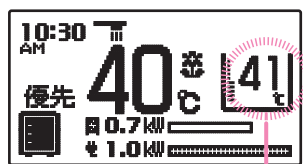
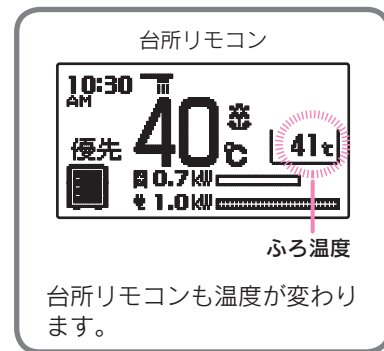
お知らせ

●設置後初めてのふろ自動を浴そうにお湯（水）が入っている状態で行うと、故障表示「002」が出てお湯はりを停止します。
この場合は、浴そうの水を全部抜いてふろ自動をやり直してください。

おふろの温度と水位を設定する

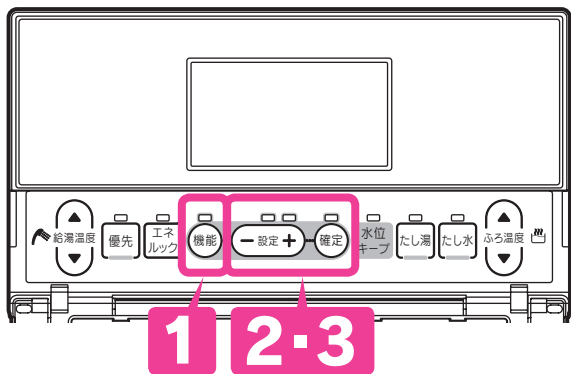
ふろ温度　おふろの温度を設定します。

給湯スイッチが「切」のときは押して「入」にしてください。

を押してふろ温度を設定する

ふろ温度調節範囲
33～48℃（1℃ごと）

ふろ温度が○○℃に
変更されました

台所リモコンも温度が変わります。

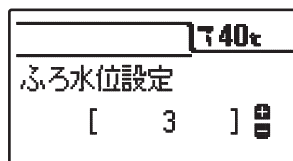
やけどに注意！

●ふろ温度を必ず確認してください。

ふろ水位　ふろ自動のおふろの水位を設定します。

1 機能 を押す

2 －設定＋ で「ふろ水位設定」を選び 確定 を押す

3 －設定＋ で水位を設定し 確定 を押す

ふろ水位設定範囲
1～10

お買い求め時
5

変更されました

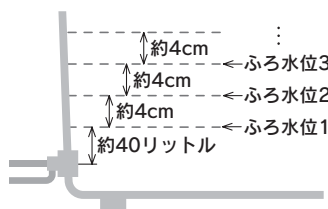
ふたを閉じる

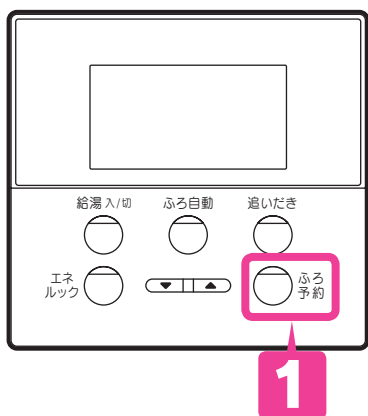
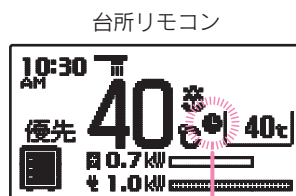
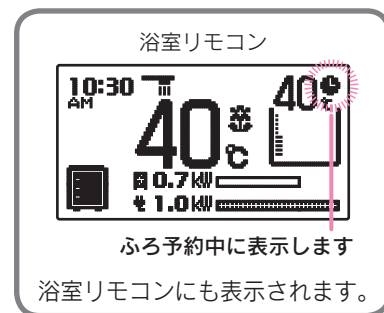
●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

お知らせ

●洋風バスなど浅い浴そうや循環アダプターの位置によっては、ふろ水位を高めに設定すると浴そうからお湯があふれる場合があります。また浴そうの大きさによっては設定水位にならない場合があります。
●一度ふろ水位を設定すると毎回同じ量でお湯をはります。

●ふろ水位「1」は循環アダプターの中心から約40リットル、「2」～「10」は約4cmずつ増えます。

おふろの予約をする

ふろ予約

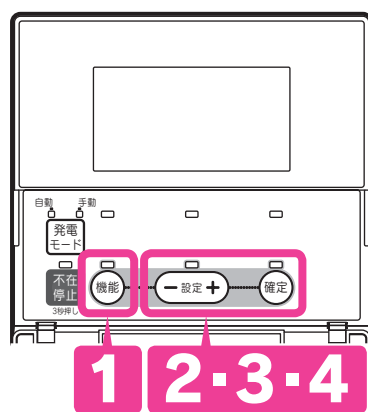
ふろ予約時刻までにお湯はりが完了するように、自動的にお湯をはります。

給湯スイッチが「切」のときは押して「入」にしてください。

1 ふろ予約 を押す

予約解除するときはもう一度 ふろ予約 を押す

お知らせ

- ●ふろ温度とふろ水位は、ふろ自動と同じ設定になります。
- ●当日のふろ予約は、予約時刻の30分以上前に行ってください。（ふろ自動は予約時刻の約30分前から開始します。）
- ●気温や給水圧力によっては、予約時刻よりも早くお湯はりが終わります。
- ●予約中に停電すると、予約が解除されることがあります。

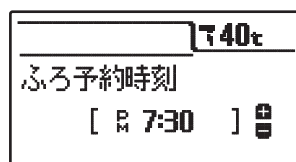
ふろ予約時刻

入浴したい時刻を設定します。

1 機能 を押す

2 －設定＋ で「ふろ設定」を選び 確定 を押す

3 「ふろ予約時刻」で 確定 を押す

4 －設定＋ でふろ予約時刻を設定し 確定 を押す

●1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

変更されました

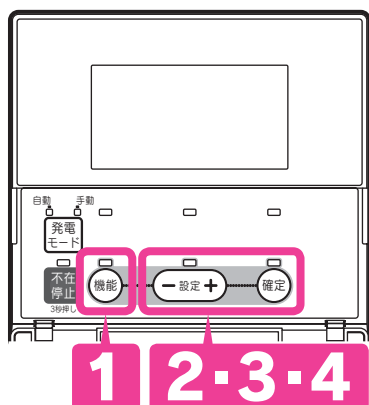
お買い求め時
PM5:00(17:00)

ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

おふろの保温時間を変更する

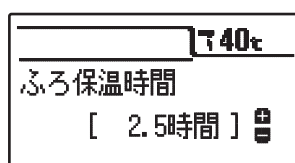
ふろ保温時間

お湯はり後の自動保温や自動たし湯を行う時間を設定します。

1 機能を押す

2 －設定＋で「ふろ設定」を選び確定を押す

3 －設定＋で「ふろ保温時間」を選び確定を押す

4 －設定＋でふろ保温時間を変更し確定を押す

ふろ保温時間設定範囲
0～10時間までは30分単位、10～24時間は1時間単位

お買い求め時
4.0時間

変更されました

ふたを閉じる

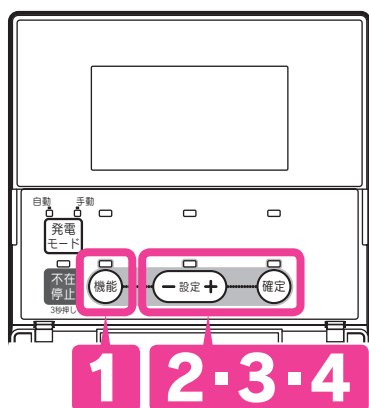
●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

お知らせ

●ふろ保温時間を「**0時間**」に設定すると自動たし湯は行いません。

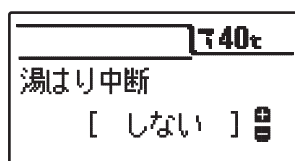
おふろのお湯はりを優先させる

湯はり中断

ふろ自動やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用したときのお湯はり動作を設定します。

1 機能を押す

2 －設定＋で「ふろ設定」を選び確定を押す

3 －設定＋で「湯はり中断」を選び確定を押す

4 －設定＋で「しない」を選び確定を押す

お買い求め時
する

変更されました

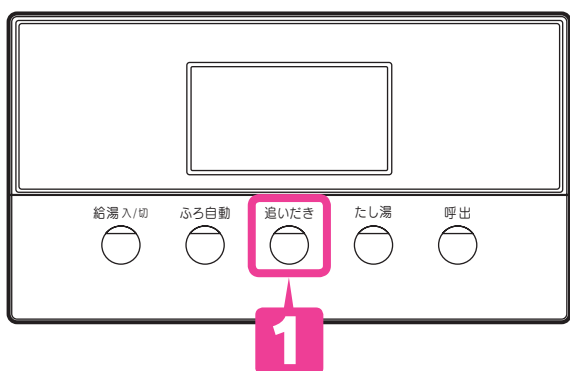
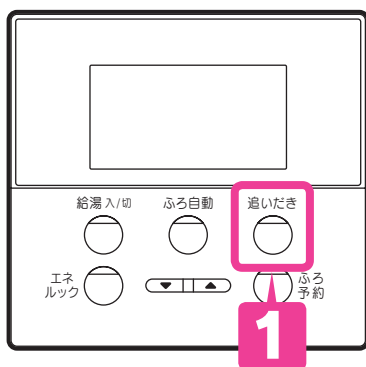
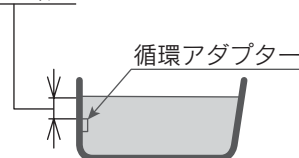
ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

●湯はり中断を「する」にした場合
ふろ自動中やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、お湯はりを中断することがあります。お湯の使用が終わると再開します。

●湯はり中断を「しない」にした場合
ふろ自動中やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用しても、お湯はりは中断しません。
シャワーやじゃ口で使用するお湯の温度は、ふろ温度より少し低い温度になります。
また、お湯の量が少なくなることがあります。

おふろを温め直す

追いだき　おふろの水位を変えずにふろ温度まで温め直します。

●浴そうのお湯が循環アダプター上部から**約5cm以上**必要です。

給湯スイッチが「切」のときは押して「入」にしてください。

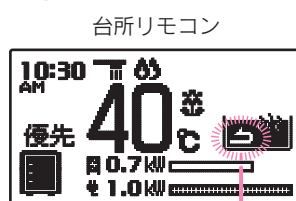
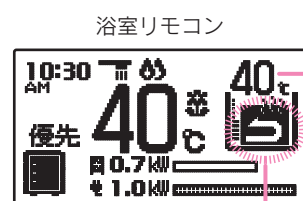
1 追いだき **を押す**

台所リモコン

浴室リモコン

追いだき中に表示します

追いだき中に表示します

ふろ温度

追いだきをします

追いだきをします

追いだき終了後

♪メロディー
おふろが沸きました

浴そうのお湯の温度がリモコンのふろ温度より高い場合

・**台所リモコンで**追いだき**を押す**…温度を確認した後、追いだきせずに終了します。

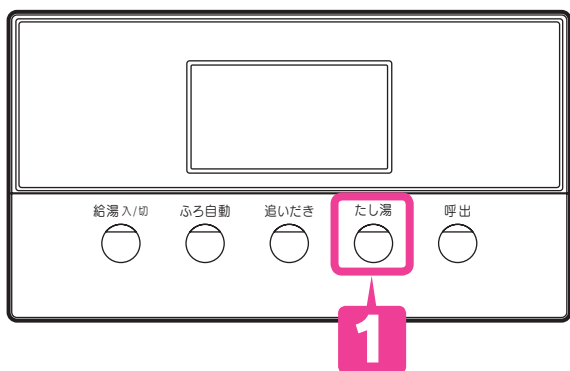
・**浴室リモコンで**追いだき**を押す**…おふろの温度＋約1℃まで追いだきします。（最高48℃）

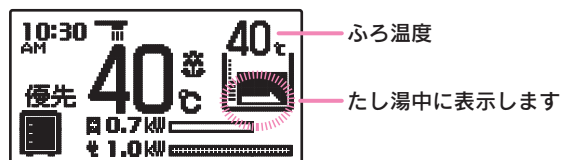
中止するときはもう一度 追いだき を押す

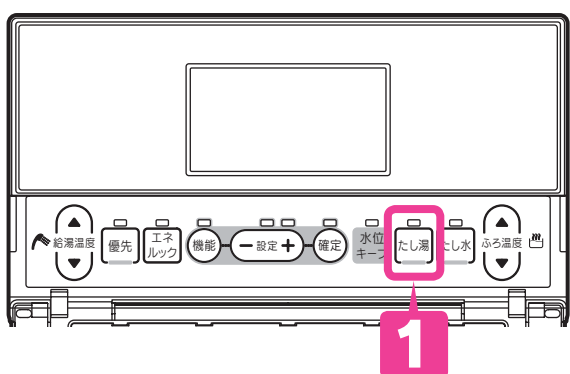
お知らせ

●追いだき中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると給湯能力が低下することがあります。
●追いだき中に補助熱源機燃焼表示が点灯・消灯を繰り返すことがあります。
●断水のときは浴そうのお湯（水）が循環アダプター上部から約5cm以上あっても追いだきはしないでください。
故障の原因になります。

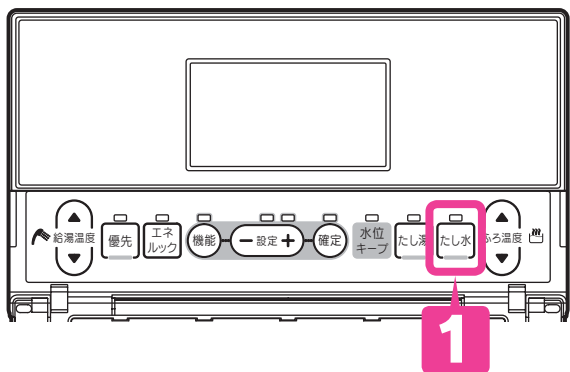
おふろにお湯や水をたす

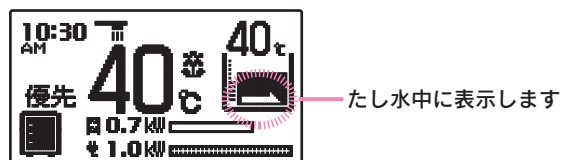
たし湯　おふろにふろ温度のお湯を約20リットルたしてお湯を増やします。

給湯スイッチが「切」のときは押して「入」にしてください。

1 たし湯を押す

たし湯をします

中止するときはもう一度 たし湯 を押す

お知らせ

●たし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、たし湯を中断することがあります。
　たし湯を中断しないように設定することもできます。15ページ
●たし湯中にたし水はできません。
　たし湯を中止してから、たし水を行ってください。

たし水　おふろに水を約10リットルたしてお湯の温度を下げます。

給湯スイッチが「切」のときは押して「入」にしてください。

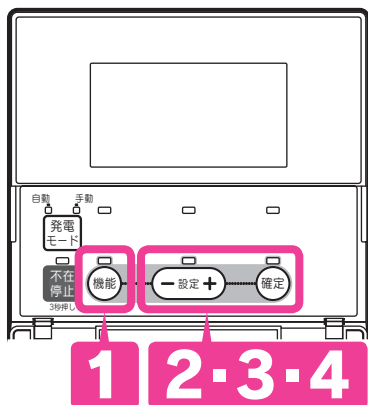
1 たし水を押す

たし水をします

中止するときはもう一度 たし水 を押す

お知らせ

●たし水終了後のおふろの温度は、たし水の水温によって異なります。
●たし水中にシャワーやじゃ口でお湯の使用やたし湯を行うと、たし水を中止します。

暖房する

暖房端末機の運転や予約、一定時間静かに運転する設定ができます。

1 （機能）を押す

2 （－設定＋）で「暖房設定」を選び（確定）を押す

3 （－設定＋）で変更したい設定を選び（確定）を押す

暖房運転………運転スイッチがない暖房端末機の運転・停止
浴室暖房運転…浴室暖房乾燥機の運転・予約・停止
浴室暖房予約…浴室暖房乾燥機の運転開始時刻を設定
暖房静音………暖房能力を抑えた静かな運転の開始時刻と終了時刻を設定

4 （－設定＋）で内容を変更し（確定）を押す

暖房運転	浴室暖房運転	浴室暖房予約	暖房静音
40℃ 暖房運転 [ON]	40℃ 浴室暖房運転 [運転]	40℃ 浴室暖房予約 [PM 7:30]	40℃ 暖房静音 [PM 11:00～AM 5:00]
変更されました	変更されました	変更されました	変更されました
設定内容	設定内容		設定内容
ON↔OFF	運転↔予約↔停止	1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。	開始時刻と終了時刻を設定します。 1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。
停止するときは「**OFF**」に設定する	停止するときは「**停止**」に設定する	――	解除するときは開始時刻と終了時刻を同じにする
お買い求め時 OFF	お買い求め時 停止	お買い求め時 設定されていません	お買い求め時 設定されていません

ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

お知らせ

●浴室暖房乾燥機の種類によっては台所リモコンで操作できない場合があります。
その場合は浴室暖房乾燥機のリモコンで操作してください。
●運転スイッチがない暖房端末機を接続している場合に「**暖房運転**」が表示されます。

ミストサウナ準備完了お知らせ機能について

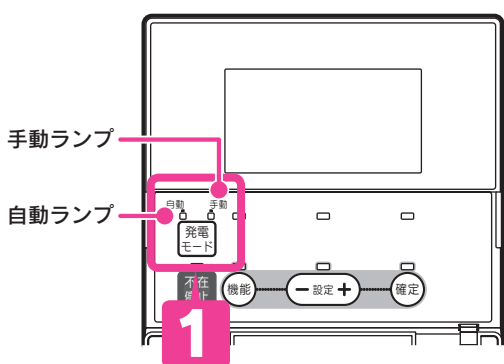
「**ミストサウナ準備完了お知らせ機能**」に対応したミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機をお使いの場合は、浴室が暖まってミストサウナ入浴の準備が完了すると、台所リモコンから「**♪ミストサウナの準備ができました**」と音声でお知らせします。

お知らせ

●お使いのミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機が「**ミストサウナ準備完了お知らせ機能**」に対応していることをミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機の取扱説明書で確認してください。
●「**ミストサウナ準備完了お知らせ機能**」の設定は、ミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機のリモコンで変更できます。
詳しくはミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機の取扱説明書で確認してください。
●ミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機の仕様・設置条件・使用環境によっては、ミストサウナ入浴の準備完了をお知らせしないことがあります。

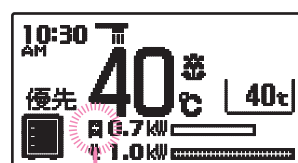
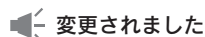
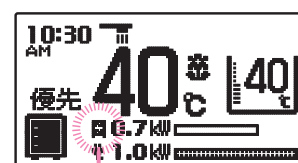
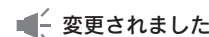
発電する

発電モードの設定　燃料電池発電ユニットの発電モードを切換えます。

●**自動モード**…学習機能によって自動的に発電します。
手動モード…その日の電気使用量に応じて発電量を調節します。(**通常は自動モードに設定してください。**)

1 [発電モード]を押す

●選択したモードのランプが点灯します。

設定内容
自動モード↔手動モード

台所リモコン　浴室リモコン

発電中に表示します　**発電中に表示します**

変更されました　**変更されました**

お知らせ

●停電や電源プラグを抜くなど通電していない状態が約24時間以上続いた場合は、再通電後に暗証番号を入力する画面を表示することがあります。暗証番号を入力しないと発電はできません。21ページ
また、学習機能の記憶が失われることがあります。
●給湯スイッチの「**入・切**」に関係なく設定できます。
●給湯スイッチが「**切**」でも発電中は発電表示が点灯します。
●学習機能をより効果的に利用するためお湯はりの設定を行ってください。22ページ
●旅行などで48時間以上不在になる場合は、「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」で発電を停止させてください。
37ページ
●自動モードでは発電時間が短い、お湯がたまりにくいなど最適な発電運転とならない場合は、手動モードをお試しください。
●手動モードを選択しても貯湯タンクがすべてお湯になると運転を停止します。一度停止すると当日中は発電しません。お湯を使用すると翌日以降に発電を行います。

発電する

発電の学習機能について

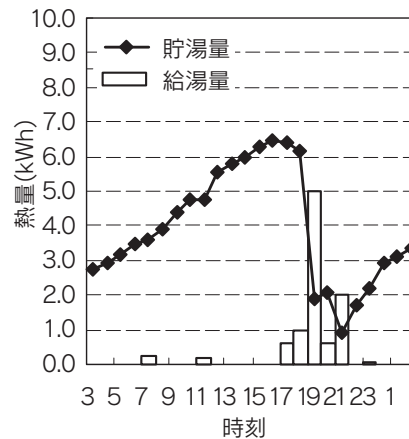
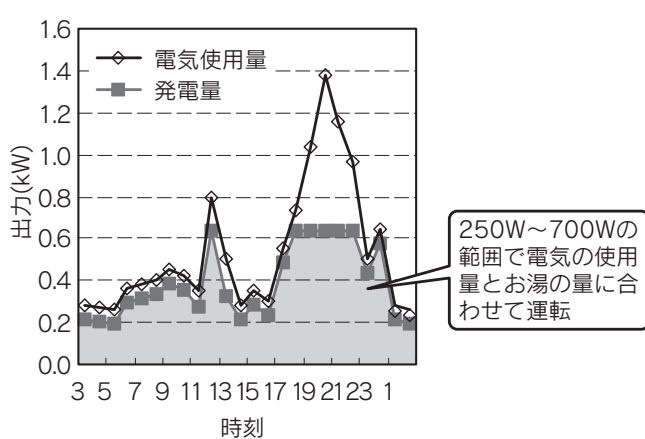
学習機能とは電気・給湯・ふろ運転などの使用時刻や使用量を記憶し、これに基づいてその日の最適な発電運転を決定する機能です。夏期などお湯の使用量が少ないと予想される場合は発電しないこともあります。
学習機能により運転しますので、お湯の使用量が不規則な場合は最適な発電運転が行えないことがあります。

●学習機能の流れ

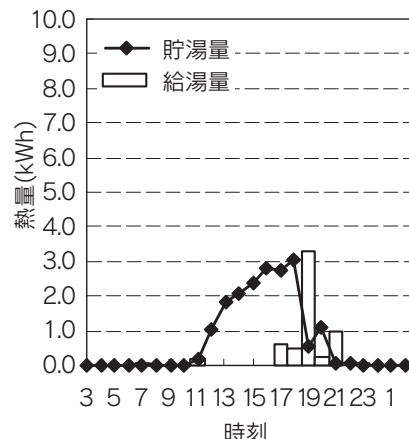
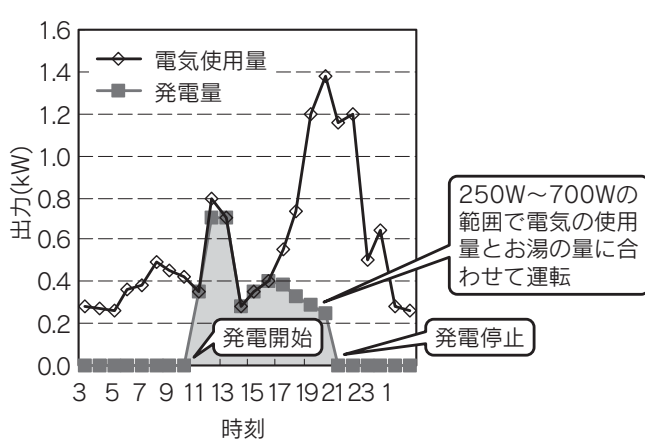
※予測と異なる使用状況の場合は使用状況に応じて変動します。また、発電しないこともあります。

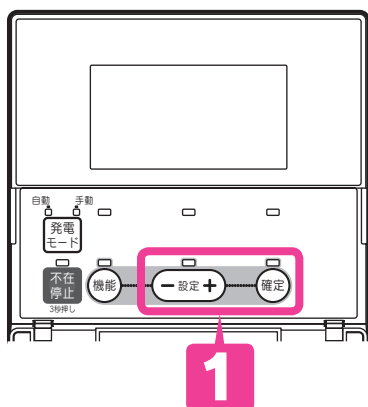
●使用状況に応じて運転を自動的に切換えます。

連続運転

標準的な量でほぼ毎日お湯を使う場合(毎日お湯はりする場合など)、燃料電池発電ユニットを連続して運転させます。
電気使用量に合わせて運転を行いますが、貯湯タンクがすべてお湯になると運転を停止します。
貯湯タンクがすべてお湯になり停止すると、当日中は発電しません。使用状況に応じて翌日以降に発電を行います。
(毎日お湯はりをする場合でも水温が高い時期には、連続運転をしないことがあります。)

お湯のたまり具合により発電量を調節することがあります。

起動停止運転

お湯の使用量が少ない場合、燃料電池発電ユニットを起動・停止させる運転です。
一度停止すると当日中は発電しません。使用状況に応じて翌日以降に発電を行います。

暗証番号

通電していない状態が続いた場合は、再通電後に暗証番号を入力する画面を表示することがあります。

1 （－ 設定 ＋）で暗証番号を設定し（確定）を押す

●1回ずつ押すと1単位、押し続けると早く変わります。

画面の暗証番号は表示例で実際とは異なります。

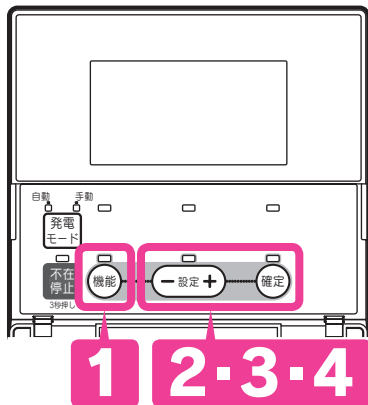
暗証番号が合っていれば発電ができるようになります。
暗証番号を間違えた場合は「**発電要手続き**」・「**メンテ会社へ連絡**」を交互に表示します。

お知らせ

●暗証番号とは機器を設置業者からお客様に引き渡される際に、お客様に登録していただく数字です。
　暗証番号を登録することで燃料電池発電ユニットが運転できる状態になります。
●暗証番号を入力しない状態でも発電以外の機能は使用できます。
●暗証番号を忘れた場合は担当のメンテナンス会社にご相談ください。

経済的な運転をする

お湯はりの設定

旅行などでおふろを使わない日に、お湯はり用のお湯をためないように発電運転を控えることができます。
お湯はりを「**なし**」に設定した日には貯湯量を調節して経済的な運転を行います。
今日・明日・明後日の3日間の設定ができます。（設定を変えなければお湯はりは「**あり**」になります。）

1 機能を押す

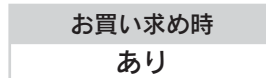
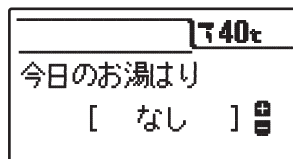
2 －設定＋で「ふろ設定」を選び確定を押す

3 －設定＋で変更したい設定を選び確定を押す

今日のお湯はり
明日のお湯はり
明後日のお湯はり

4 －設定＋で発電運転を設定し確定を押す

設定内容
あり↔なし

お買い求め時
あり

ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

お知らせ

●ふろ予約スイッチを「**入**」にすると、「**なし**」に設定した日でも学習機能に基づいた貯湯量の調節を行います。
●午前0時を過ぎると「**明後日**」の設定内容は「**明日**」の設定に、「**明日**」の設定内容は「**今日**」になります。
「**明後日**」の設定内容は「**あり**」になります。

利用状況を確認する

エネルックについて

エネルックとはエネファーム(排熱利用給湯暖房ユニット・燃料電池発電ユニット)で使用したガス・水道・電気の使用量・使用金額をリモコンに表示する機能です。また、使用量の目標を設定し実績と見比べることで日々のエネルギー利用状況をわかりやすく把握できます。

●ガス・水道・電気などのめやす使用量やめやす使用金額を表示します。実際の使用量や使用金額とは異なります。
●金額は設定した単価に使用量を掛けた値(従量料金)を表示します。基本料金は含みません。
●使用料金は各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示した金額で請求されることはありません。
●エネルックの機能を充分にお使いいただくためには、「**エネルックの設定**」と「**現在時刻**」の設定を行ってください。
設定を行わないと、データを正しく表示しない場合があります。30・31・40ページ
●「**エネルックの設定**」や別売部品の取付けなどによって表示する項目や内容が異なります。
●矢印の配管の使用分をデータとして積算しています。

標準

別売部品などを取付けた場合

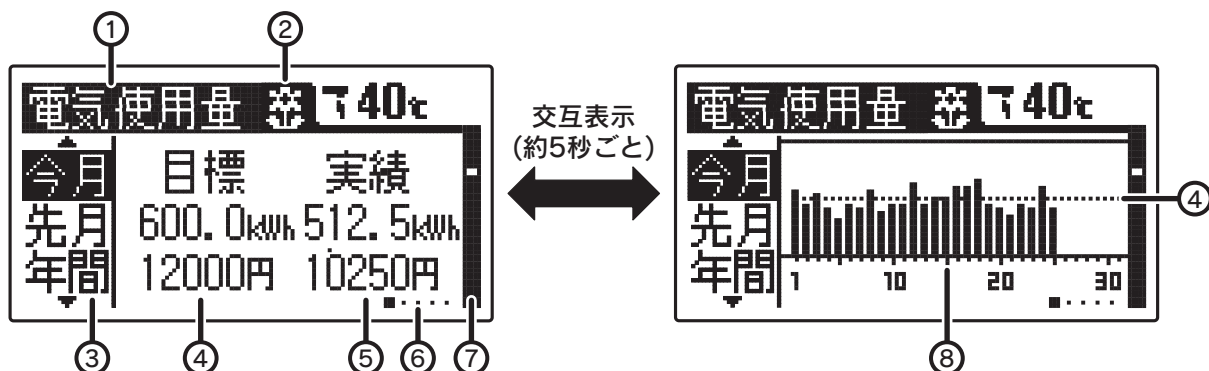
●必要な別売部品など
・マルチ計測ユニット
・太陽光発電システム

※1：パルス機能付マイコンメーターが必要です。詳細は大阪ガスにお問合せください。
※2：水道計測については、お客さまの管轄水道局と調整の上、水道局が設置する課金用の水道メーターとは別に水量計測器を設置していただく必要があります。水道の計測については事前にご相談ください。

●マルチ計測ユニットと太陽光発電システムを取付けると太陽光発電の発電量・販売した電気量を表示します。
●標準で表示するガス使用量は、排熱利用給湯暖房ユニットと燃料電池発電ユニットの消費量です。
ガスコンロ・ガスファンヒーターなどによる消費量は含まれません。
マルチ計測ユニットとパルス機能付マイコンメーターを取付けると家庭全体で使用したガス使用量を表示します。
●マルチ計測ユニットとパルス機能付水道メーターを取付けると家庭全体で使用した水道使用量を表示します。
ただし、水道使用量を表示するとお湯使用量は表示しません。

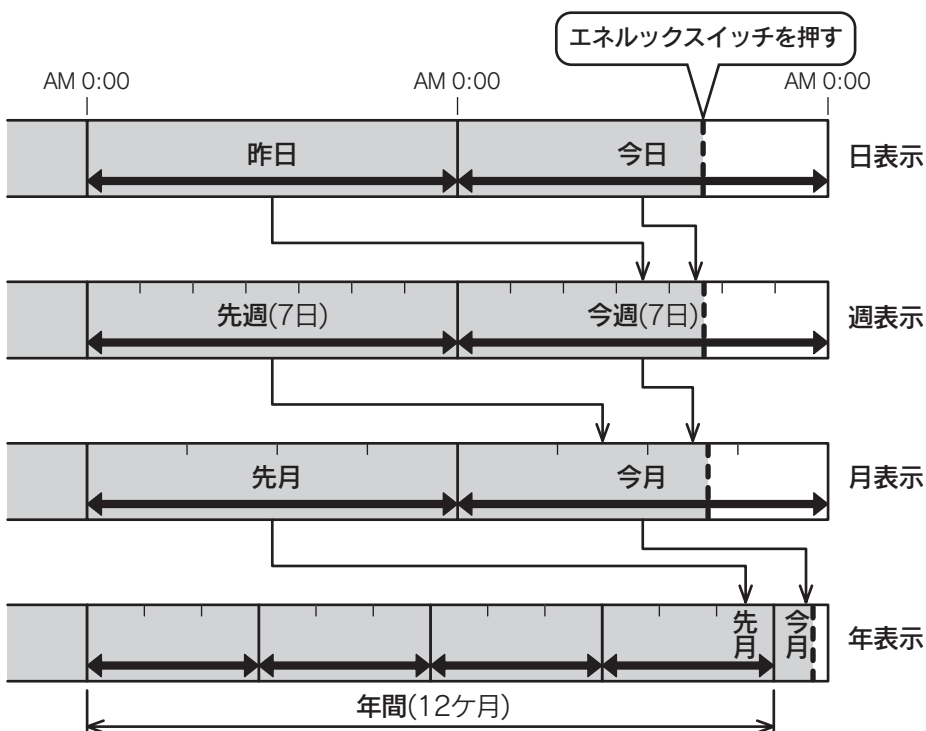
利用状況を確認する

電気・ガス・お湯・水道などのめやす使用量・めやす使用金額の実績を表示

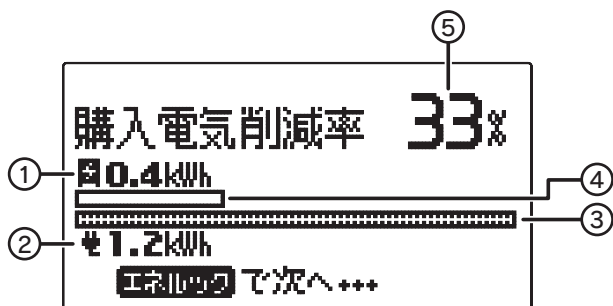
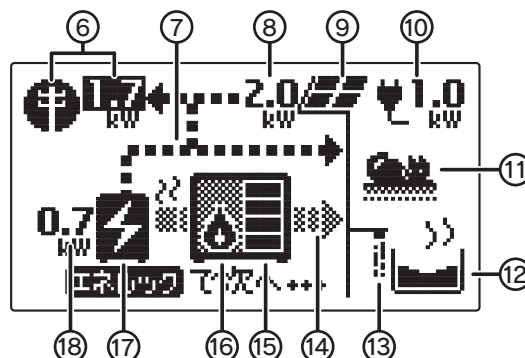
例 今月の電気使用量

①	表示項目	④	使用量や金額の目標値(※)	⑥	交互表示タイマー
②	達成マーク	⑤	期間中の量・金額・光熱費・一次エネルギー消費量のめやす	⑦	表示の順番
③	期間			⑧	1時間または1日の使用量

「**エネルックの順序**」については26ページをご覧ください。
データを表示しないなどの場合は「**エネルックの設定**」(30・31ページ)に従って設定を確認してください。
※目標値が中心になるように表示します。
目標値を変更したときは、変更前のデータを正確に表示しない場合があります。
目標値が設定されていない場合は、最大値に合わせて表示します。

●エネルックスイッチを押すと図のように一定期間ごとのデータを表示します。
●日付と現在時刻を設定するとエネルックのデータの積算・保存を開始します。
時刻を設定した日はPM11:59までのデータを一日分として保存します。

⟷ :1画面の表示範囲

現在の電気・お湯などの利用状況を表示(エネルギーモニタ)

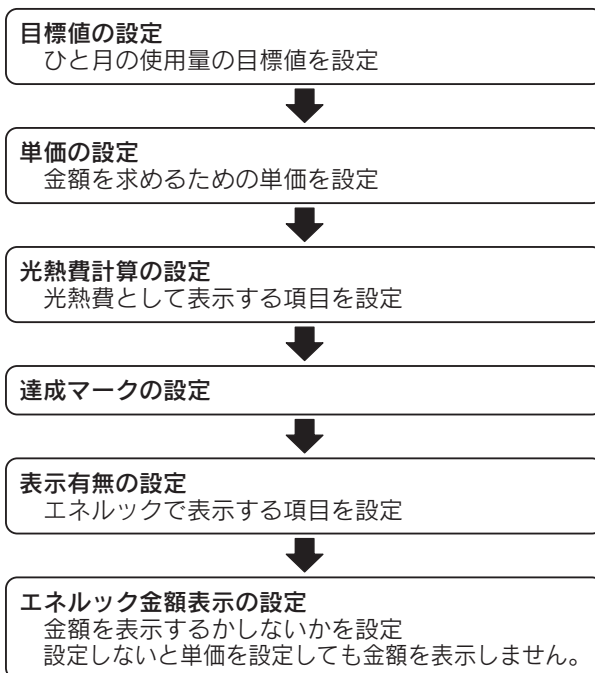
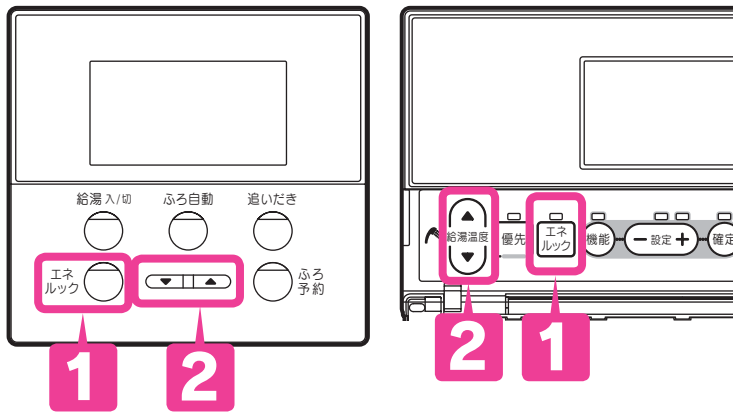
●現在の電気やお湯の利用状況などがひと目でわかります。
●エネルックスイッチを押すとエネルギーモニタ(削減率)を表示します。今日の発電による購入電気の削減率を表示します。再度エネルックスイッチを押すとエネルギーモニタを表示します。

●エネルギーモニタ(削減率)

●エネルギーモニタ

①	今日の発電量	⑧	太陽光発電システムによる発電量(※1)	⑯	補助熱源機燃焼中 …燃焼中
②	今日の電気使用量	⑨	太陽光発電システム(※1)		
③	今日の電気使用量グラフ	⑩	電気使用量	⑰	燃料電池発電ユニット …発電中 …強制停止中 …自動発電停止中 表示なし…停止中
④	今日の発電量グラフ	⑪	暖房使用中		
⑤	$\frac{\text{今日の発電量}}{\text{今日の電気使用量}}\times100(\%)$	⑫	ふろ使用中		
		⑬	給湯使用中		
⑥	購入電気量・販売電気量(※1・※2)	⑭	熱の流れ		
⑦	電気の流れ ▶…消費中、◀…販売中	⑮	貯湯量 10ページ	⑱	燃料電池発電ユニットによる発電量

※1 太陽光発電システムを設置している場合、別売のマルチ計測ユニットの取付け、「**エネルックの設定**」などにより表示することができます。
「⑥購入電気量・販売電気量」の数字が購入電気量のときは黒字、販売電気量のときは白抜きになります。
※2 燃料電池発電ユニットは発電準備中・停止移行中・待機中(停止中)に電力を消費します。
購入電気量・電気使用量にはこの燃料電池発電ユニットの消費電力を含んでいます。

エネルックを表示させるために

●エネルックの機能を充分お使いいただくためには「**現在時刻**」の設定と右表の「**エネルックの設定**」を行ってください。
30・31・40ページ
●「**エネルックの設定**」には右表以外に下記の設定ができます。
「**表示ジャンプ先の設定**」30・31ページ
・エネルックスイッチを押して次の項目を表示させたときに、最初に表示する期間の設定
「**CO_2削減量クリアの設定・エネルック設定初期化**」32ページ
・CO_2削減量の「**最高**」を消去する設定
・設定内容をお買い求め時の状態に戻す設定

●エネルックの設定

目標値の設定
ひと月の使用量の目標値を設定

単価の設定
金額を求めるための単価を設定

光熱費計算の設定
光熱費として表示する項目を設定

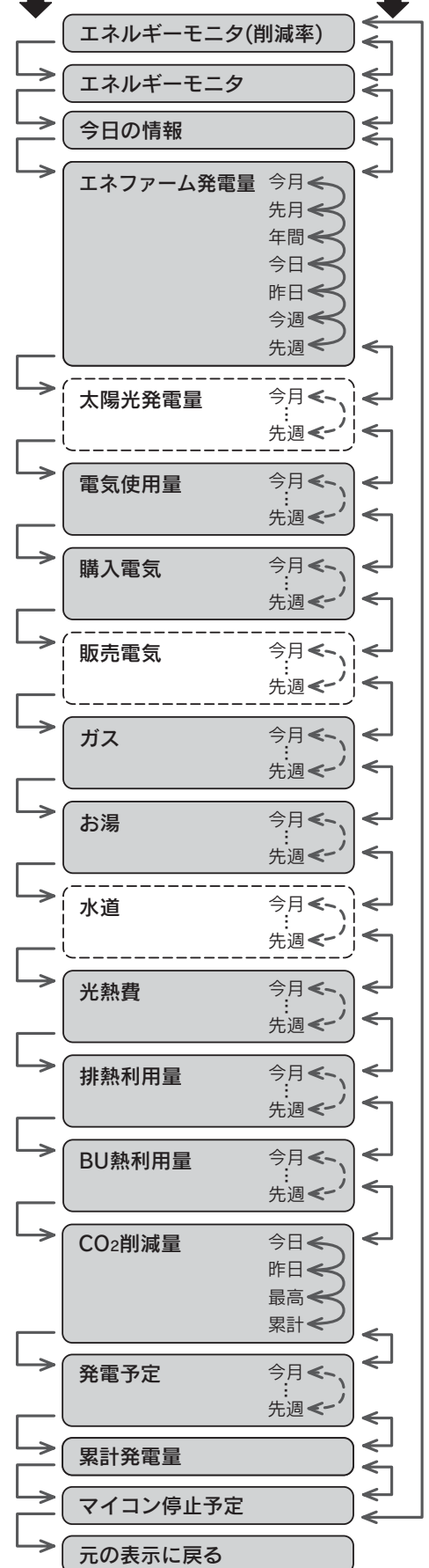
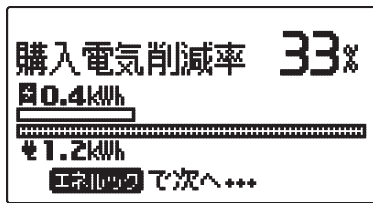
達成マークの設定

表示有無の設定
エネルックで表示する項目を設定

エネルック金額表示の設定
金額を表示するかしないかを設定
設定しないと単価を設定しても金額を表示しません。

利用状況を確認する

エネルック

1 エネルック・エネルック を押す

2 ▼|▲・給湯温度 を押す

●スイッチを押すごとに右の順序で表示します。

交互表示を一時的に停止したいときは 確定 を押す

グラフ表示の画面では数字とグラフを交互に表示します。
確定スイッチを押すと確定ランプが点滅し、交互表示画面が停止します。
再度確定スイッチを押すと確定ランプが点灯し交互表示に戻ります。
また、何も操作しない状態が約2分間続くと通常の表示に戻ります。

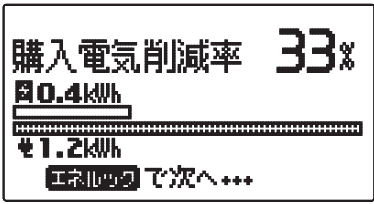
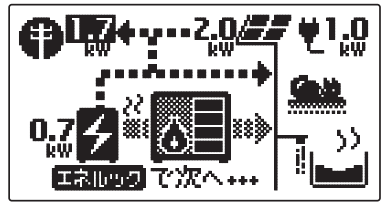
解除するときは エネルック・エネルック を数回押す

何も操作しない状態が約1分間続くと通常の表示に戻ります。

お知らせ

●<-> 表示は「**エネルックの順序**」の「**エネファーム発電量**」で記載している期間を省略したものです。
●[ ] 表示は別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行うと表示します。
水道を表示するとお湯は表示しません。

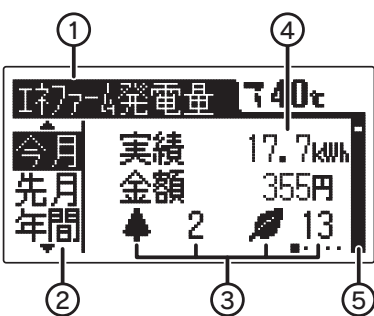
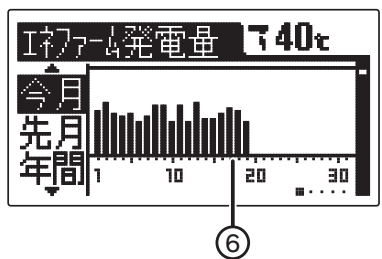
エネルックの順序

エネルギーモニタ（削減率） 25ページ

エネルギーモニタ 25ページ

今日の情報

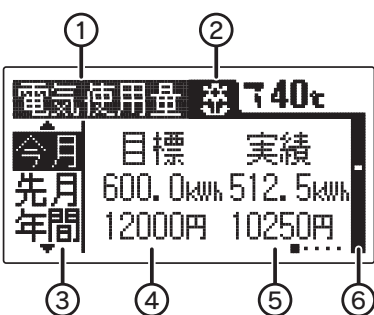
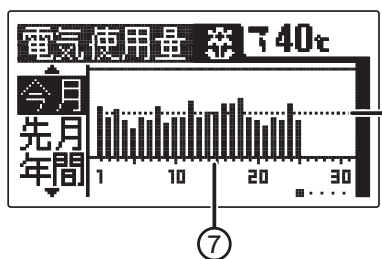
●今日の電気・ガス・お湯の使用量と金額を表示します。

①	使用量のめやす
②	使用金額のめやす
③	表示の順番

エネファーム発電量・太陽光発電量・購入電気・販売電気

●エネファーム発電量は燃料電池発電ユニットで発電した電力量を表示します。
●太陽光発電量は太陽光発電システムで発電した電力量を表示します。（※1）
●購入電気は電力会社から購入した電力量を表示します。
●販売電気は太陽光発電システムで発電した電力のうち電力会社に販売した電力量を表示します。（※1）

①	表示項目
②	期間
③	CO_2削減量 28ページ
④	期間中の量・金額のめやす
⑤	表示の順番
⑥	1時間または1日の使用量

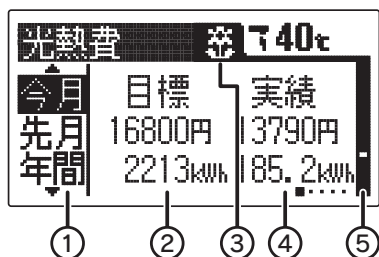
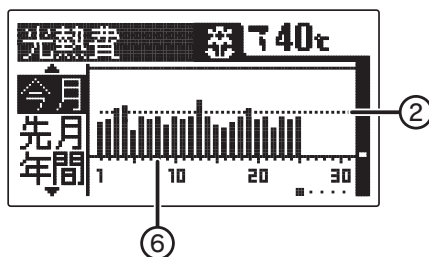
電気使用量・ガス・お湯・水道

●電気使用量は家庭で使用したすべての電力量と目標値を表示します。
●ガス使用量はエネファームで使用したガスの量と目標値を表示します。（※2）
●お湯使用量は排熱利用給湯暖房ユニットで使用したお湯の量と目標値を表示します。（※3）
●水道使用量は家庭全体で使用したすべての水道量と目標値を表示します。（※3）

①	表示項目
②	達成マーク 10ページ
③	期間
④	目標値
⑤	期間中の量・金額のめやす
⑥	表示の順番
⑦	1時間または1日の使用量

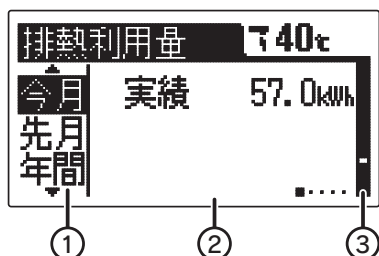
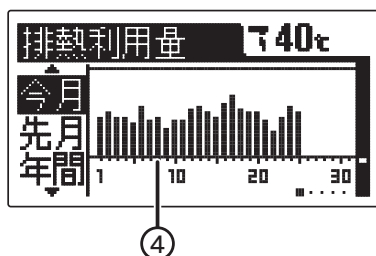
※1太陽光発電システムの設置、電力会社との販売契約、別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行わないと表示しません。
※2標準で表示するガス使用量はエネファームの消費量です。
　ガスコンロ・ガスファンヒーターなどによる消費量は含まれません。
　マルチ計測ユニットとパルス機能付マイコンメーターを取付けると家庭全体で使用したガス使用量を表示します。
※3マルチ計測ユニットとパルス機能付水道メーターを取付けると家庭全体で使用した水道使用量を表示します。
　ただし、水道使用量を表示するとお湯使用量は表示しません。

利用状況を確認する

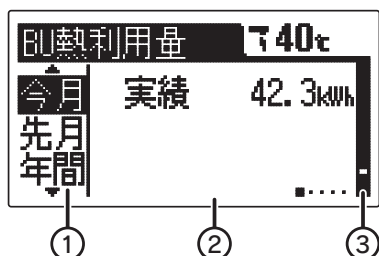
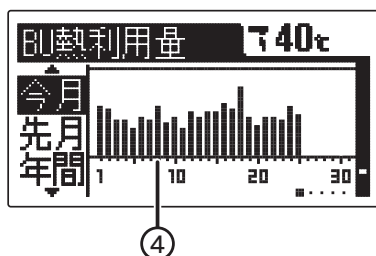
光熱費

●ガス・お湯（水道）・電気の目標値と一次エネルギー消費量を表示します。
●ガス・お湯（水道）・電気いずれか１つ、または合計して表示します。
●「**光熱費計算の設定**」で「**ガス＋電気**」を選択した場合のみ一次エネルギー消費量を表示します。

①	期間
②	目標値
③	達成マーク 10ページ
④	期間中の光熱費・一次エネルギー消費量のめやす
⑤	表示の順番
⑥	1時間または1日の使用量

排熱利用量

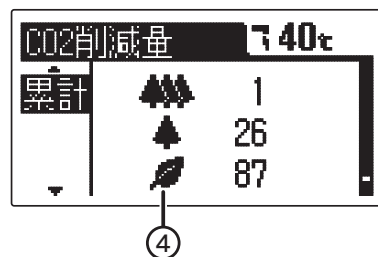
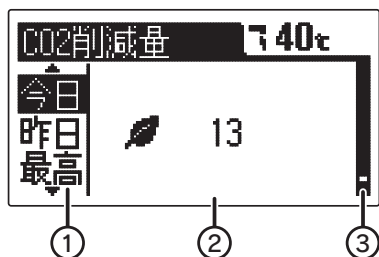
●燃料電池発電ユニットで発生した熱を使用して、給湯やふろ自動に利用した熱量を表示します。

①	期間
②	排熱利用量のめやす
③	表示の順番
④	1時間または1日の使用量

BU熱利用量

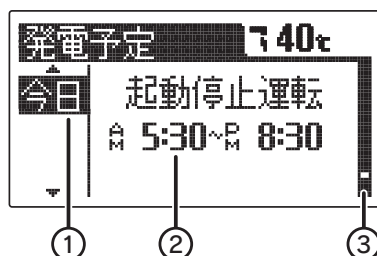
●補助熱源機を使用して、給湯・ふろ自動・暖房に利用した熱量を表示します。

①	期間
②	BU熱利用量のめやす
③	表示の順番
④	1時間または1日の使用量

BUとは補助熱源機のことです。

CO_2削減量

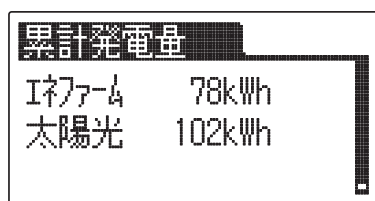
●CO_2の削減量を葉・木・森に置き換えて表示します。
●葉1枚あたりのCO_2削減量は0.14kg
木1本あたりのCO_2削減量は14kg
森1つあたりのCO_2削減量は1400kgを表します。

①	期間
②	CO_2削減量のめやす
③	表示の順番
④	（森）…木100本分 （木）…葉100枚分 （葉）…葉1枚分

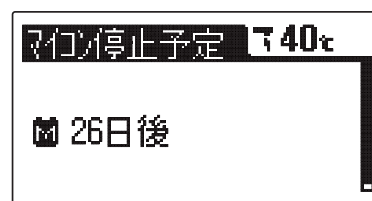
発電予定

●エネルックスイッチを押した時点での発電予定を表示します。
　その後のお湯と電気の利用状況によっては予定通りに発電しないことがあります。

①	期間
②	発電予定(※)
③	表示の順番

※「連続運転」…一日中発電します。
「起動停止運転」…発電開始予定時刻と発電終了予定時刻を表示します。
「--:--〜--:--」…発電予定はありません。

累計発電量

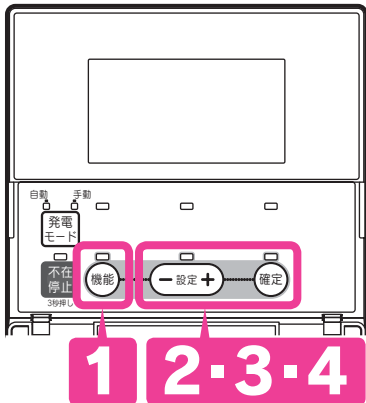
●エネファームとは燃料電池発電ユニットで発電した電力量の累計を表示します。
●太陽光とは太陽光発電システムで発電した電力量の累計を表示します。(※4)

マイコン停止予定

●マイコンメーターの機能を確認するために燃料電池発電ユニットを停止させるまでの日数を表示します。

※4 マルチ計測ユニットを取付けた場合のみ表示します。

お知らせ

●エネルックの数値はエネルック非表示状態からエネルックスイッチを押して表示したときに、最新に更新されます。グラフは毎正時に更新されます。
●金額表示の単位は円ですが、円/日または円/月を表しています。
●一次エネルギー消費量とはエネファームが消費したガスのエネルギー量と購入電気を発電するために火力発電所で使用されたエネルギー量の合計です。
●一次エネルギー消費量は次の式に基づいて算出しています。
　ガス量(m^3)×{都市ガスの場合:12.5(kWh/m^3) / LPガスの場合:27.5(kWh/m^3)}+購入電気(kWh)/0.369(一次エネルギー換算量)
●CO_2削減量は杉に置き換えて表示しています。
　※杉の木のCO_2吸収量:13.9kg-CO_2/年・本〔林業白書　平成9年より(50年杉・直径26cm・樹高22m)〕
●CO_2削減量は次の式に基づいて算出しています。
　CO_2削減量=A+B−C　(CO_2削減量がマイナスの場合は0と表示します。)
　A:燃料電池発電ユニットで発電したときに回収した熱を、一般的な給湯器でまかなった場合のCO_2排出量
　　〔一般的な給湯器の効率(高位発熱量基準)76%〕
　B:発電した電気のうち家庭内で電気として利用された量を平均的な火力発電所でまかなった場合のCO_2排出量
　　(平均的な火力発電所のCO_2原単位　0.69kg-CO_2/kWh)
　C:発電のために消費した燃料のCO_2排出量
　　(燃料のCO_2原単位　0.0509kg-CO_2/MJ)

利用状況を確認する

エネルックの設定　エネルックを表示するための設定です。

1 機能を押す

2 －設定＋で「エネルック設定」を選び確定を押す

3 －設定＋で変更したい設定を選び確定を押す

電気目標値・ガス目標値・お湯目標値・水道目標値…ひと月分の使用量の目標値を設定(※4)
購入電気単価・販売電気単価・ガス単価・水道単価…お客様が契約している電力会社・ガス会社・水道局の「**検針票**」や「**使用量のお知らせ**」などを参考にして単価を設定
光熱費計算…光熱費の計算内容を設定
光熱費目標金額確認…光熱費計算で設定した目標金額を表示
達成マーク表示有無…達成マークを表示するかしないかを設定
達成マーク種類…表示する達成マークの種類を設定
達成マーク表示内容…通常画面で表示する達成マークの内容を設定
表示ジャンプ先…エネルックスイッチを押して次の項目を表示させたときに最初に表示する期間を設定
表示有無〔15項目(※3)〕…エネルックで表示させる項目を設定
エネルック金額表示…エネルックの各項目で金額を表示させるときに設定

4 －設定＋で内容を変更し確定を押す

電気目標値・ガス目標値 お湯目標値・水道目標値	購入電気単価・販売電気単価 ガス単価・水道単価	光熱費計算 光熱費目標金額確認
40℃ 電気の目標値 [700 kWh/月] 画面は電気目標値の場合です。 変更されました **設定内容** 1回ずつ押すと1単位、押し続けると10単位、更に押し続けると100単位で変わります。	40℃ 購入電気の単価 [25 円/kWh] 画面は購入電気単価の場合です。 変更されました **設定内容** 1回ずつ押すと1単位、押し続けると10単位で変わります。	40℃ 光熱費計算内容 [ガス+お湯+電気] 画面は光熱費計算の場合です。 変更されました **設定内容**(※4) ●**光熱費計算** ●**光熱費目標金額確認** 設定することはありません。

お買い求め時
設定されていません

お買い求め時
電気：　20円 ガス：100円(都市ガス13A) 0円(LPガス) 水道：200円

お買い求め時
光熱費計算：ガス＋電気

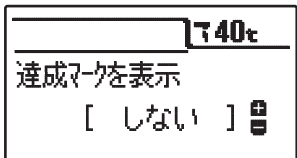
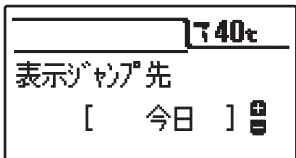
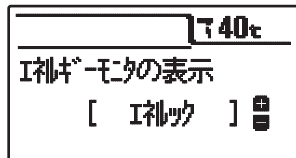
ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

表示有無とエネルック金額表示の設定内容

項　目	設定内容		
表示有無削減率（※1）	**する**	しない	
表示有無エネルギーモニタ（※2）	**エネルック＋待機**	エネルック	なし
表示有無今日の情報	**する**	しない	
表示有無エネファーム発電量	**する**	しない	
表示有無太陽光発電量（※3）	**する**	しない	
表示有無電気使用量	**する**	しない	
表示有無購入電気	する	**しない**	
表示有無販売電気（※3）	する	**しない**	

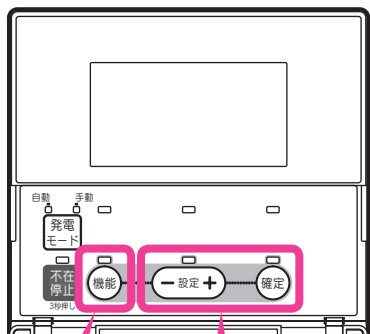
項　目	設定内容	
表示有無ガス	**する**	しない
表示有無お湯（※3）	**する**	しない
表示有無水道（※3）	**する**	しない
表示有無光熱費	**する**	しない
表示有無排熱利用量	する	**しない**
表示有無BU熱利用量	する	**しない**
表示有無CO_2削減量	**する**	しない
表示有無発電予定	**する**	しない
エネルック金額表示	する	**しない**

※1 太陽光発電システムを設置している場合は、設定内容が［**エネファーム**］［しない］［エネファーム＋太陽光］になります。
※2 **表示有無エネルギーモニタの設定について**
「**エネルック＋待機**」を選択する…エネルックと給湯スイッチを「**切**」にしたときに表示します。5ページ
「**エネルック**」を選択する…………エネルックで表示し、給湯スイッチを「**切**」にしたときは表示しません。
「**なし**」を選択する…………………エネルックと給湯スイッチを「**切**」にしたときに表示しません。
※3 マルチ計測ユニット（別売）の取付けなどにより表示する項目が異なります。
※4 別売部品などを取付けた場合は「**お湯**」の表示が「**水道**」に変わります。

お買い求め時
表示有無：する 種　　類：花 表示内容：電気使用量

お買い求め時
今月

お買い求め時
上表「**表示有無とエネルック金額表示の設定内容**」の太字内容

CO_2削減量クリアの設定・エネルック設定初期化

●初期化(クリア)したデータは元には戻りません。

1 機能 を押す

2 −設定+ で「エネルック設定」を選び 確定 を押す

3 −設定+ で変更したい設定を選び 確定 を押す

CO_2削減量クリア…エネルックのCO_2削減量の「**最高**」のみを初期化(クリア)
エネルック設定初期化…「**エネルック設定**」の設定内容をお買い求め時の状態に戻したいときに設定

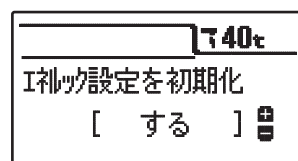
●「**しない**」が点滅します。

4 −設定+ で「する」を選び 確定 を押す

●初期化(クリア)をしない場合は −設定+ を押して「**しない**」を選び、確定 を押してください。
5 の操作は不要です。
●CO_2削減量クリアの場合は、この操作でクリアし終了ます。
5 の操作は不要です。

エネルック設定初期化で「する」を選択した場合のみ誤操作確認画面を表示します。

5 もう一度 確定 を押す

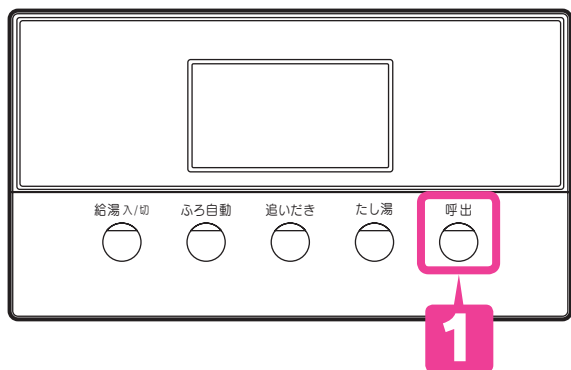
●初期化されます。

変更されました

ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。
(約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。)

おふろから呼び出しをする

呼び出し

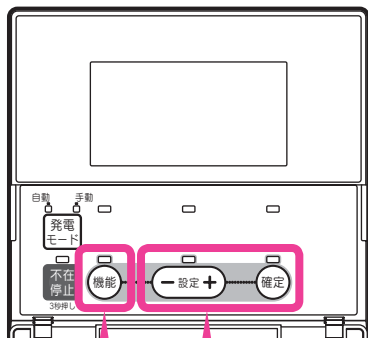
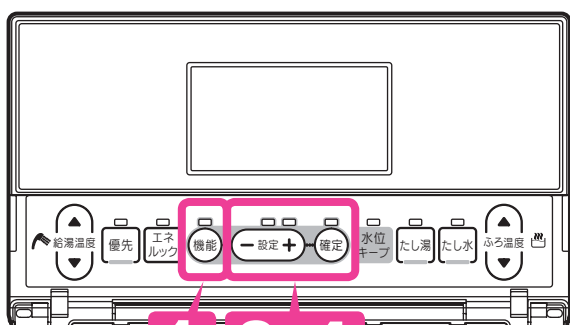
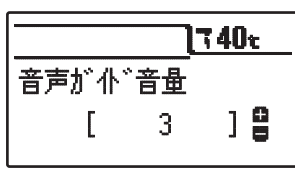
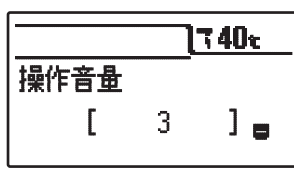
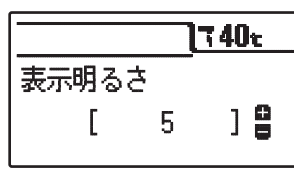
浴室で何か必要な物があるときなどに呼出スイッチで台所リモコンに呼び出し音を鳴らすことができます。

1 呼出 を押す

●台所リモコンから音声の発声、またはブザーが鳴ります。

お知らせ

●給湯スイッチの「**入・切**」に関係なく呼び出しできます。
また、台所リモコンの音声ガイドの音量設定が「**0**」(切)または「**00**」(切)でも呼び出しできます。
「**00**」(切)の場合はブザーでお知らせします。

リモコンの設定を変更する

リモコンの状態をお好みで変更することができます。

1 （機能）を押す

2 （−設定＋）で「音・画面設定」を選び（確定）を押す
（台所リモコンのみ）

3 （−設定＋）で変更したい設定を選び（確定）を押す

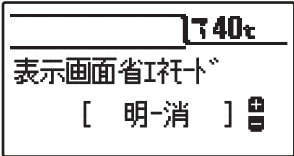
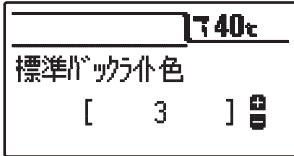
音声ガイド音量…音量調節
音声ガイド速さ…速さ調節
音声ガイド音程…音程調節
操作音量…スイッチを押したときの音量調節
表示明るさ…表示画面の輝度（明るさ）調節
表示コントラスト…コントラスト（濃淡）調節
表示画面省エネモード…バックライトの点灯状態変更
標準バックライト色…通常のバックライトの色変更
発電時バックライト色…発電時のバックライトの色変更

4 （−設定＋）で内容を変更し（確定）を押す

音声ガイド音量 音声ガイド速さ 音声ガイド音程	操作音量	表示明るさ
40℃ 音声ガイド音量 [3] 画面は音声ガイド音量の場合です。	40℃ 操作音量 [3]	40℃ 表示明るさ [5]
変更されました	変更されました	変更されました
設定内容 ●音声ガイド音量 00←→0←→1←→2←→3 （※1）（※2）（小）（中）（大） ●音声ガイド速さ （遅い）1↔2↔3↔4↔5（速い） ●音声ガイド音程 （低い）1↔2↔3↔4↔5（高い）	設定内容 0←→1←→2←→3 （無）（小）（中）（大）	設定内容 （暗）1↔2…6↔7（明）

お買い求め時	お買い求め時	お買い求め時
音声ガイド音量：2 音声ガイド速さ：3 音声ガイド音程：3	2	4

ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

音声ガイドの音量

●音量「00」(切)・「0」(切)に設定しても、ブザー音でお知らせすることがあります。
　※1…音量を「00」(切)にすると音声ガイドは消えますが、呼び出しはブザー音でお知らせします。
　※2…音量を「0」(切)にすると音声ガイドは消えますが、エネルックと呼び出しの音声ガイドは消えません。
●音量「1」に設定しても、「2」と同じ音量でお知らせすることがあります。

表示画面省エネモード

設　定	内　　容
明-暗	排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない状態が約5分間続くと、表示画面のバックライトを暗くします。
明-消	排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない状態が約5分間続くと、表示画面のバックライトを消灯します。
常に点灯	常時バックライトを点灯します。
常に消灯	常時バックライトを消灯します。

●「**明-暗**」・「**明-消**」に設定していても、給湯温度を55℃以上に設定しているときは、常に設定した明るさで表示します。
●「**明-暗**」・「**明-消**」は表示画面省エネモード中にリモコンを操作したり、他のリモコンで給湯温度を変更した場合、表示画面のバックライトは元の明るさに戻ります。排熱利用給湯暖房ユニットを使用しなければ約10秒後に再び表示画面省エネモードになります。(排熱利用給湯暖房ユニットが燃焼しても表示画面の明るさは変わりません。)

お買い求め時	お買い求め時	お買い求め時
5	明-暗	1

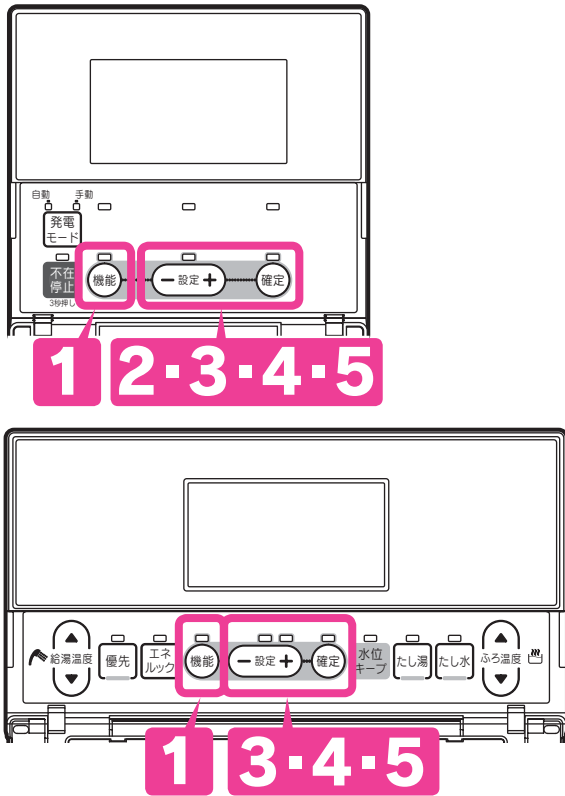
お知らせ

●リモコンごとに設定できます。

リモコンの設定を変更する

リモコン設定初期化

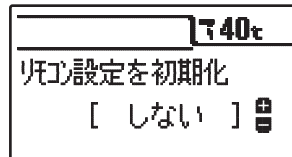
リモコンの設定をお買い求め時の状態に戻します。
初期化したデータは元には戻りません。

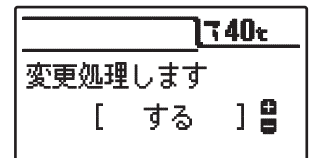
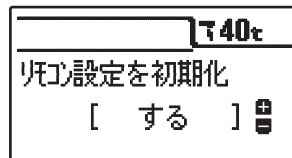
●台所リモコンの「**音声・画面設定**」を初期化します。
浴室リモコンの「**ふろ水位設定**」を除くすべてを初期化します。9ページ

1 (機能)を押す

2 (− 設定 ＋)で「時刻・その他設定」を選び(確定)を押す

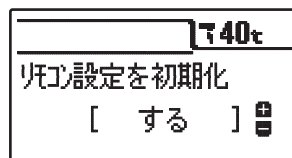
（台所リモコンのみ）

3 (− 設定 ＋)で「リモコン設定初期化」を選び(確定)を押す

●「**しない**」が点滅します。

4 (− 設定 ＋)で「する」を選び(確定)を押す

●初期化をしない場合は(− 設定 ＋)を押して「**しない**」を選び、(確定)を押してください。
5 の操作は不要です。

誤操作防止の確認画面

5 もう一度(確定)を押す

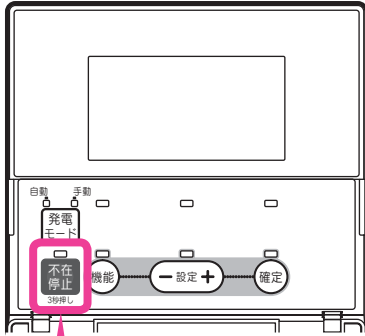
●リモコン設定が初期化されます。

変更されました

ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

運転しないようにする

ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)

旅行などで48時間以上連続で使用しない場合にご利用ください。
凍結予防以外のすべての運転(発電・給湯・暖房など)を停止します。

1 接続している暖房端末機の運転停止・予約解除をする

18ページ

暖房運転中は「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」はできません。
暖房運転の予約中に「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を設定しても、予約時刻になると解除され暖房運転を開始します。

2 不在停止 を約3秒間押す

●表示画面は消灯します。

 不在停止します

解除するときはもう一度 不在停止 を押す

不在停止を解除します

給湯スイッチを押すことや、接続している暖房端末機の運転を開始させることでも解除できます。

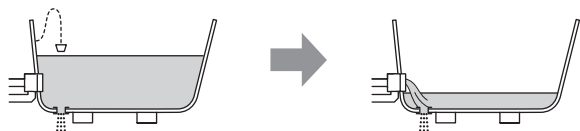
お知らせ

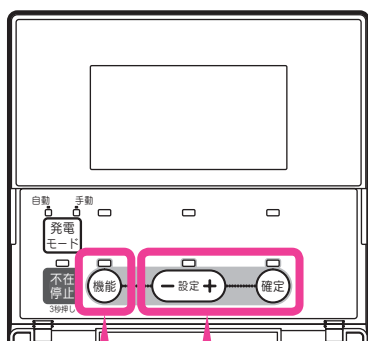
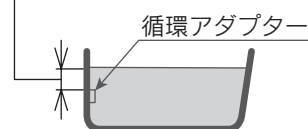
●「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を設定しないとリモコンの給湯スイッチを「**切**」にしても発電を行います。
●排熱利用給湯暖房ユニットを48時間以上連続で使用しない場合は、自動的に「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」になります。このとき不在停止ランプが点灯します。
●「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を設定しても凍結予防を行うために補助熱源機が燃焼することがあります。電源・ガスを切らないでください。
●冬期に分電盤の専用ブレーカーを「**切**」(屋外防水コンセントから電源を取っている場合は、電源プラグを抜く)にした場合は、凍結予防のため「**機器本体操作説明編**」の「**凍結のおそれがあるとき**」の「**排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法**」に従って水を抜いてください。
●「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を頻繁に行うと機器の寿命低下の原因になります。

おふろの配管を洗浄する

配管クリーン

ふろ自動終了後、浴そうの排水栓を抜くと自動的にふろ配管内にきれいな水を流して残り湯を排水します。

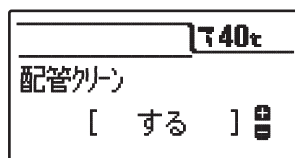
配管クリーンの動き

浴そうのお湯が循環アダプター付近になるときれいな水を約5リットル流して配管内をすすぎます。

●浴そうのお湯が循環アダプター上部から約10cm以上必要です。

1 （機能）を押す

2 （－ 設定 ＋）で「ふろ設定」を選び（確定）を押す

3 （－ 設定 ＋）で「配管クリーン」を選び（確定）を押す

4 （－ 設定 ＋）で配管クリーンを設定し（確定）を押す

設定内容
する↔しない

お買い求め時
する

ふたを閉じる

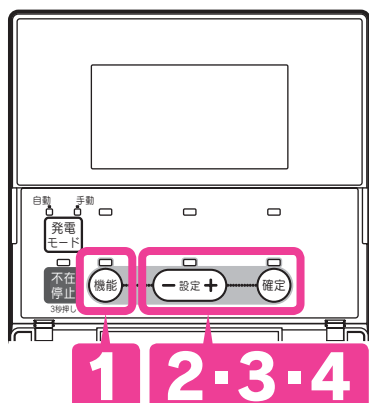
●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

配管クリーン作動中に中止するときは（給湯 入/切）を押す

お知らせ

●以下の場合は配管クリーンを「**する**」に設定しても作動しません。
・浴そうの排水栓を抜く前のお湯（水）の量が循環アダプター上部から約10cm以上ないとき
・浴そうのお湯（水）を排水中に給湯スイッチが「**切**」のとき
・浴そうのお湯（水）を排水中にふろ自動スイッチが「**入**」のとき
・浴そうのお湯（水）を排水中にシャワーやじゃ口でお湯を使用しているとき

連絡先の登録と表示

メンテナンス会社の電話番号を登録して、必要なときに表示させることができます。

1 機能を押す

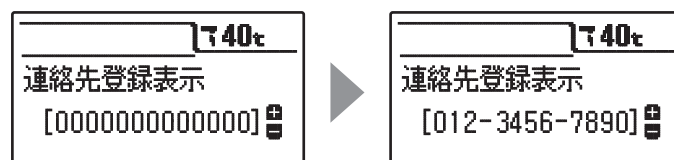
2 －設定＋で「時刻・その他設定」を選び確定を押す

3 －設定＋で「連絡先登録表示」を選び確定を押す

- 連絡先を表示します。
- 連絡先を登録する場合は **4** を行ってください。

4 －設定＋で連絡先を設定し確定を押す

- 点滅が消えるまで **4** を繰り返します。

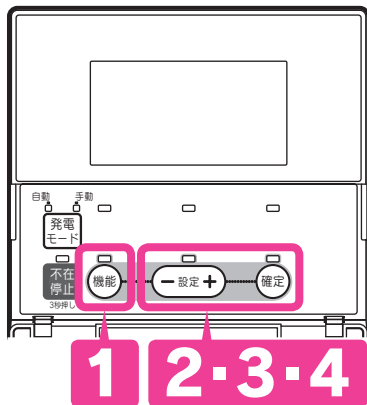
設定内容
0～9、ー(ハイフン)、□(スペース)、.(ドット)

変更されました

お買い求め時
設定されていません

ふたを閉じる

- 通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

時刻を設定する

現在時刻・時刻表示　時刻合わせができます。

1 (機能)を押す

2 (－設定＋)で「時刻・その他設定」を選び(確定)を押す

3 (－設定＋)で変更したい設定を選び(確定)を押す

現在時刻…西暦・日付・時刻を設定
時刻表示…12h（AM・PM表示）か24h（24時間表示）を選択

4 (－設定＋)で内容を変更し(確定)を押す

●現在時刻の設定は点滅が消えるまで **4** を繰り返します。

現在時刻	時刻表示
40℃ 現在時刻　2014年 4月 1日(日) 午前 0:00 機能:戻る ±:↕ 確定:次へ	40℃ 時刻表示 12h/24h [24h]
変更されました	変更されました
設定内容 1回ずつ押すと1、押し続けると10単位で変わります。	設定内容 12h（AM・PM表示） ↕ 24h（24時間表示）

お買い求め時
12h

ふたを閉じる

●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

お知らせ

●「**現在時刻を設定してください**」と表示しているときは **4** の操作を行い、現在時刻を設定してください。
現在時刻を設定しないと操作ができません。
●停電した後は現在時刻が合っていることを確認してください。

リモコン音声ガイド一覧

●操作の一例を表示しています。

■台所リモコンでの操作

操作・条件			台所リモコンから出る音声ガイド		音量「00」「0」のとき
給湯入/切 ◯ を押す（入）	48℃以下		♪		
	55℃以上		♪あついお湯が出ます（※）	浴室リモコンも同じ音声が出ます	台所/浴室「ピピッ」
	現在時刻が未設定		時計を合わせてください		
	給湯入/切 ◯ を押す（切）		♪		
▼▲を押す（給湯温度を上下）	台所リモコンが優先のとき	48℃以下	お湯の温度が○○℃に変更されました	浴室リモコンも同じ音声が出ます	浴室「ピピッ」
		55℃以上	お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます（※）	浴室リモコンも同じ音声が出ます	浴室「ピピッ」
	浴室リモコンが優先のとき	–	ピピピピッ　変更できません　優先を確認してください		台所「ピピピピッ」
ふろ自動 ◯ を押す			ふろ温度○○℃でお湯はりをします		
	お湯はり終了後		♪おふろが沸きました（※）		
◯ ふろ予約 を押す	現在時刻が設定済み		お湯はりが（午前・午後）○○時○○分に予約されました		
	現在時刻が未設定		ピピピピッ　予約できません　時計を合わせてください		台所「ピピピピッ」
追いだき ◯ を押す			追いだきをします		
	沸き上げ後		♪おふろが沸きました（※）		
発電モード を押す			変更されました		
不在停止 を押す（約３秒間）			不在停止します		
	不在停止 を押す（解除）		不在停止を解除します		
設定を変更し、確定 を押したとき			変更されました		
操作を誤ったとき			ピピピピッ　受付できません　確認してください		台所「ピピピピッ」

お知らせ

●音量を「00」（切）・「0」（切）にしても［　　］内の音でお知らせします。
●♪はメロディーが鳴ることを表しています。
●エネルックスイッチの音声ガイドは43ページを参照してください。
※「**音声ガイド音量**」の設定を「1」に設定しても「2」と同じ音量でお知らせします。

リモコン音声ガイド一覧

■浴室リモコンでの操作

操作・条件			浴室リモコンから出る音声ガイド		音量「00」「0」のとき
給湯入/切 を押す(入)	48℃以下		♪		
	55℃以上		♪あついお湯が出ます(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所/浴室「ピピッ」
	現在時刻が未設定		時計を合わせてください		
	給湯入/切 を押す(切)		♪		
浴室リモコンが優先のとき 優先 を押す	台所リモコンで以前設定していた温度が48℃以下		お湯の温度が○○℃に変更されました	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所/浴室「ピピッ」
	台所リモコンで以前設定していた温度が55℃以上		お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所/浴室「ピピッ」
台所リモコンが優先のとき 優先 を押す	浴室リモコンで以前設定していた温度が48℃以下		お湯の温度が○○℃に変更されました	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所「ピピッ」
	浴室リモコンで以前設定していた温度が55℃以上		お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所「ピピッ」
給湯温度 ▲▼ を押す(給湯温度を上下)	浴室リモコン優先のとき	48℃以下	お湯の温度が○○℃に変更されました	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所「ピピッ」
		55℃以上	お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所「ピピッ」
	台所リモコン優先のとき	–	ピピピピッ　変更できません　優先を確認してください		浴室「ピピピピッ」
ふろ自動 を押す			ふろ温度○○℃でお湯はりをします		
	お湯はり終了後		♪おふろが沸きました(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	
ふろ温度 ▲▼ を押す(ふろ温度を上下)			ふろ温度が○○℃に変更されました		
水位キープ を押す(切)			水位キープを解除します		
	水位キープ を押す(入)		水位キープを開始します		
追いだき を押す			追いだきをします		
たし湯 たし湯 を押す			たし湯をします		
たし水 を押す			たし水をします		
呼出 を押す			–	台所リモコン ♪おふろで呼んでいます(2回)(※)	台所「ピーピーピーピーピーピー」(2回)
設定を変更し、確定 を押したとき			変更されました		
操作を誤ったとき			ピピピッ　受付できません　確認してください		浴室「ピピピピッ」

お知らせ

- 音量を「00」(切)・「0」(切)にしても［吹き出し］内の音でお知らせします。
- ♪はメロディーが鳴ることを表しています。
- エネルックスイッチの音声ガイドは43ページを参照してください。

※「**音声ガイド音量**」の設定を「**1**」に設定しても「**2**」と同じ音量でお知らせします。

■暖房端末機による操作

操作・条件	音声ガイド
ミストサウナの準備ができたとき	**♪ミストサウナの準備ができました**

お知らせ

●音声ガイドは台所リモコンから発声します。

■エネルックスイッチでの操作

項　目	音声ガイド
エネルギーモニタ（削減率）	**電気の情報を表示します**
エネルギーモニタ	**現在の電気と熱の利用状況を表示します**
今日の情報	**今日の情報を表示します**
エネファーム発電量	**発電の情報を表示します**
太陽光発電量	**発電の情報を表示します**
電気使用量	**電気の情報を表示します 目標を達成しています（※）**
購入電気	**電気の情報を表示します**
販売電気	**電気の情報を表示します**
ガス	**ガスの情報を表示します 目標を達成しています（※）**
お湯	**お湯の情報を表示します 目標を達成しています（※）**

項　目	音声ガイド
水道	**水の情報を表示します 目標を達成しています（※）**
光熱費	**光熱費の情報を表示します 目標を達成しています（※）**
排熱利用量	**熱の利用状況を表示します**
BU 熱利用量	**熱の利用状況を表示します**
CO_2 削減量	**CO_2 削減量の情報を表示します 今日の記録を表示します**
発電予定	**発電ユニットの情報を表示します**
累計発電量	**積算の発電量を表示します**
マイコン停止予定	**情報を表示します**

お知らせ

●音声ガイドは操作したリモコンから発声します。
※目標を達成している場合のみお知らせします。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

	こんなときは		確認してください
給湯	初めて点火するとき、なかなか点火しない	▶	●ガス配管内に空気が入っているためです。 給湯栓を閉め、再度開く操作を繰り返してください。
	給湯栓を開けてもお湯が出ない	▶	●少流量では点火しません。給湯栓をもっと開けて使用してください。 点火できる最小の流量は毎分約3リットルです。 ●ガス栓または給水元栓が閉まっているためです。 ガス栓または給水元栓を開けてください。 ●断水していませんか。 断水のときは排熱利用給湯暖房ユニットに給水されないためお湯が出ません。 断水が復旧してから水張りを行ってください。 （「**機器本体操作説明編**」の「**凍結のおそれがあるとき**」の「**再使用方法（排熱利用給湯暖房ユニットの水張り）**」参照） ●マイコンメーターがガスを遮断しているためです。 ●水フィルターにゴミなどがつまっているためです。 （「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**水フィルターの掃除**」参照） ●配管が凍結していませんか。 凍結が解消するまでお待ちください。 ●給湯スイッチが「**切**」になっているためです。
	お湯がぬるい （設定した温度にならない）	▶	●給湯温度の表示はめやすです。配管の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。 ●配管内に残っている水が出てくることがあります。 お湯が出るまでしばらくお待ちください。 ●給湯温度は適切ですか。 給湯温度を見直してください。11ページ ●サーモスタット付混合水栓を使用しているためです。 リモコンの設定温度を使用するお湯の温度より少し（約5℃）高めにしてください。 ●出湯配管が水漏れしていませんか。 ●先止め式の混合水栓の場合は、必ず逆止弁付のものを取付けてください。高圧力地域などで混合水栓の給水側から給湯側に逆流し、シャワーやじゃ口を使用するときに快適性が確保できない場合があります。
	お湯の温度が上下したり水になったりする	▶	●シャワーやじゃ口でお湯を使用中にお湯はりやたし湯を行ったためです。 ●お湯を出したり、止めたりを繰り返したためです。 ●2箇所以上でお湯を使用したためです。 ●シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したためです。 ●水道の圧力が変動していたためです。 ●台所などで少ししかお湯を出していないためです。（水になります。）
	給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	▶	●排熱利用給湯暖房ユニットから給湯栓まで距離があり、配管内に水が残っているため多少時間がかかります。
	低温のお湯が出ない	▶	●水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開けて水と混ぜて使用してください。
	高温のお湯が出ない	▶	●ガス栓が全開になっていないためです。 ●給湯温度の設定が低いためです。 ●湯はり中断を「**しない**」に設定しているためです。15ページ
	給湯温度の調節ができない	▶	●操作しているリモコンに「**優先**」を表示していない場合は調節できません。11ページ
	貯湯量表示が点灯しているのに、補助熱源機燃焼表示が点灯する	▶	●貯湯量表示は約42℃以上のお湯の量を表示しています。 ●給湯温度によっては貯湯量表示が点灯していても、出湯すると補助熱源機が燃焼することがあります。
	使用中に停電になり、再通電後もお湯が出ない	▶	●一度電源が切れると、再通電後は自動的には点火しません。 「**基本の使いかた**」に従ってやり直してください。11～22ページ

	こんなときは		確認してください
給湯	お湯の温度や量・湯量が不安定なことがある	▶	●他の給湯栓を同時に使用するとお湯が熱くなったり、ぬるくなったり、お湯の量が少なくなることがあります。 ●水道の圧力や配管条件によってはお湯の量が減る場合があります。 ●湯はり中断を「**しない**」に設定しているためです。 15ページ ●貯湯タンクのお湯が少なくなったときに、暖房端末機の運転や追いだきなどと同時にシャワーやじゃ口のお湯を使用するとお湯の量が減少することがあります。
	運転時に点火・消火を繰り返すことがある	▶	●補助熱源機がお湯の温度を調節するために点火・消火を繰り返します。
	お湯から油が出る お湯がくさい	▶	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。
	お湯が白く見える	▶	●水中に溶けていた空気が細かい泡となっているためです。
	汚れたお湯が出る	▶	●断水や近くで水道工事はありませんでしたか。 ●貯湯タンクのお手入れをしていますか。(「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**排熱利用給湯暖房ユニットのお手入れ(給湯回路の洗浄)**」参照)
	浴そうやお湯(水)が青く見える	▶	●配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがあります。 (使い始めに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。) 汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で充分に洗い流してください。

ふろ	ふろ温度で設定した温度に沸き上がらない	▶	●お湯はり中にふろ温度を低く設定すると、ふろ温度より高くなることがあります。
	ふろのお湯がぬるいまたはあつい	▶	●循環アダプターにゴミがつまっていたり、循環アダプターが確実に取付けられていないためです。(「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照)
	お湯はり量が少ない	▶	●貯湯タンクのお湯が少ない状態でふろ自動を行ったときに、暖房端末機の運転と同時にシャワーやじゃ口でお湯を使用するとお湯はり量が減少することがあります。
	お湯はり量が多い	▶	●残り湯が設定水量付近にある状態でふろ自動を行うと、お湯はり量が増えることがあります。 ●循環アダプターにゴミがつまっているためです。 (「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照)
	お湯はりの始めに水が出る	▶	●給水温度が高い場合やふろ温度を低くしている場合は、お湯はりの始めに水が出ることがあります。 ●追いだき・たし湯・ふろ保温の開始後しばらくは、配管内に残っている水が出てくることがあります。 ●外気温が低いとき、凍結予防のためポンプが作動して水が出てくることがあります。
	お湯はり中やたし湯中に浴そうにお湯が入ったり止まったりする	▶	●ふろ自動はお湯の温度や量をチェックしながらお湯はりします。 ●湯はり中断を「**する**」に設定して、ふろ自動やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用するとふろ自動やたし湯が中断されます。 15ページ
	お湯はりが予約した時刻に終わらない	▶	●浴そうの残り湯の状態や水圧などの条件により前後します。
	ふろ温度やお湯の量が設定通りにならない	▶	●ふろ自動を中止した場合や、たし湯やたし水をしたときは、ふろ温度が低くなったり、おふろのお湯の量が多くなったりすることがあります。 ●お湯をはり終える前に入浴すると設定したお湯の温度や量にならないことがあります。
	追いだきができないまたは、追いだきが途中で停止する	▶	●浴そうの循環アダプター上部から約5cm以上お湯(水)が入っていますか。 ●循環アダプターのフィルターにゴミなどがつまっているためです。 (「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照) ●断水時は追いだきできません。
	循環アダプターから泡が出る	▶	●排熱利用給湯暖房ユニット内でお湯の中に空気が混入したり、水中に溶けていた空気が分離するためです。

故障かな？と思ったら

	こんなときは		確認してください
ふろ	ふろ自動に通常より時間がかかる	▶	●ふろ自動中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、お湯はりを中断するため時間がかかります。お湯はりを中断させたくない場合は、湯はり中断を「**しない**」に設定してください。15ページ ●ふろ自動のお湯はり時間は給水温度によって、夏期は短く冬期は長くなります。 ●残り湯がある場合、またはお湯はり中にシャワーやじゃ口のお湯を使用すると沸き上げ時間が長くなることがあります。
	ふろ自動の途中でお湯はりが停止する 循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	▶	●浴そうの残り湯を確認しているためです。 ●湯はり中断を「**する**」にすると、シャワーやじゃ口でお湯を使用中はお湯はりを中断します。
	循環アダプターからときどきポコポコと音がする	▶	●気泡が抜けている音です。シャワーやじゃ口のお湯を使用および暖房使用中に発生することがあります。
	ふろ自動や追いだきを始めると濁ったお湯が出る	▶	●配管クリーンをしないと、配管内の残り湯が混入し濁ったお湯が出ることがあります。 ●特に濁り系の入浴剤を使用した後は目立ちます。
	水位キープスイッチを押しても「**入**」にならない	▶	●水位キープスイッチはふろ自動中のみ受け付けます。 じゃ口から浴そうにお湯を入れた場合は、水位キープスイッチは受け付けません。
	追いだきができない	▶	●浴そうの循環アダプター上部から約5cm以上お湯（水）が入っていないためです。 ●循環アダプターのフィルターにゴミなどがつまっているためです。 （「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照）
	追いだき時間が長くなった	▶	●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、シャワーやじゃ口でお湯の使用・暖房端末機の運転などと同時に追いだきを行うと、追いだき時間が長くなることがあります。
	自動たし湯しない	▶	●お湯が減ってもすぐに自動たし湯しないことがあります。 ●「**ふろ保温時間**」を「**0時間**」に設定していませんか。 「**0時間**」に設定すると自動たし湯は行いません。15ページ ●水位が低下し続けたり安定しないときは、自動たし湯は行いません。
	たし水しない	▶	●たし湯中にたし水はできません。
	たし水が中断した	▶	●たし水中にたし湯スイッチを押すと、たし水を中断したし湯をします。
	ふろを使用していないのに循環アダプターから水が出る	▶	●凍結予防のためにお湯を出しています。 ●配管クリーンを「**する**」にした場合は、配管内の水を排出するため水が出ます。
	配管クリーンが作動しない	▶	●以下の場合は配管クリーンを「**する**」に設定しても作動しません。 ・浴そうの排水栓を抜く前のお湯（水）の量が循環アダプター上部から約10cm以上ないとき ・浴そうのお湯（水）を排水中に給湯スイッチが「**切**」のとき ・浴そうのお湯（水）を排水中にふろ自動スイッチが「**入**」のとき ・浴そうのお湯（水）を排水中にシャワーやじゃ口でお湯を使用しているとき ●配管クリーンを「**する**」にしていないためです。 ●停電後は作動しません。

暖房	暖房能力が低下した	▶	●床暖房とその他の暖房端末機を同時に使用した場合に、暖房能力が低下することがあります。 ●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、シャワーやじゃ口でお湯の使用や追いだきなどと同時に暖房端末機を使用すると暖房能力が低下することがあります。いずれかの運転を停止すると改善します。
	床がなかなか暖まらない	▶	●床材の種類・外気温度・住宅構造などによって、暖かくなるまでの時間が異なります。 （めやす：1時間程度）
	床や浴室がなかなか暖まらない 温度調節をしていないのに床暖房や浴室暖房乾燥機の温風の温度が変化する	▶	●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、シャワーやじゃ口でお湯の使用や追いだきなどと同時に暖房端末機を使用すると暖房能力が低下することがあります。いずれかの運転を停止すると改善します。
	床の暖かさが場所によって異なる	▶	●温水配管内に温水を循環させて床を暖めるしくみになっています。温水配管が通っているところと通っていないところでは、床の温度に若干の差が生じます。

	こんなときは		確認してください
暖房	床暖房の温度調節をしていないのに床の温度が下がる	▶	●床暖房開始時は早く床を暖めるために高温の温水を流し、ある程度時間が経過すると、温水を一定の温度に下げます。
	床暖房中に音がする	▶	●床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床材などが収縮や膨張する音、または温水の流れる音です。
	床暖房を使用していないのに床が暖かくなることがある	▶	●床暖房回路内にたまった空気を抜くために、1ケ月に1回ポンプを自動的に回しています。このときに他の暖房端末機(浴室暖房など)を使用している場合は床の温度が一時的に少し上がることがあります。
	床の足ざわりが場所によって異なる	▶	●温水配管の接続部や温水配管などがあるため、床の足ざわりが周囲と異なる場合があります。
	床に凹凸や段差がある	▶	●温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合によっては目立つことがあります。
	床の継ぎ目に隙間がある	▶	●暖房すると床が乾燥して収縮し、継ぎ目にわずかな隙間が生じる場合があります。
	床が変色した	▶	●床材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。カーテンやブラインドなどで遮光してください。

発電	貯湯タンクにお湯がたまらない、または少ない	▶	●日々のお湯の使用量に合わせて貯湯タンクにお湯をためますので、必ず貯湯タンクがお湯で満タンとなるわけではありません。 ●電気やお湯の使用量が日々大きく異なる場合など、使用状況によって貯湯タンクのお湯の量が少なくなることがあります。 ●お湯はりの設定を「**なし**」にしていませんか。お湯はり用のお湯をためないように発電運転を行っています。22ページ
	発電しない	▶	●貯湯タンク内のお湯が沸き上がっている場合は発電しないことがあります。 ●日付・現在時刻・暗証番号の設定が行われていないと発電できません。 ●貯湯タンクがすべてお湯になると停止し、当日中は発電を再開しません。 ●お湯の使用量が少ない時期(夏場など)や、貯湯タンクにお湯が残っているときは、省エネ性を考慮して発電を停止させる場合があります。 ●タンクリフレッシュ運転中は発電を停止します。10ページ

排熱利用給湯暖房ユニット	寒い日に排気部から湯気が出る	▶	●排気ガスが水蒸気を多く含んでいて、冷たい外気に触れて白く見えるためです。
	使用中に消火した	▶	●ガス栓または給水元栓が閉まっているためです。開けてください。 ●断水しているためです。 ●少流量では点火しません。給湯栓をもっと開けて使用してください。 点火できる最小の流量は毎分約3リットルです。 ●マイコンメーターがガスを遮断しているためです。
	使用していないのにポンプまたは補助熱源機が作動する (補助熱源機燃焼表示が点灯) 使用していないのに排熱利用給湯暖房ユニットや配管から伝わり音がする	▶	●ふろ自動の保温中や追いだき終了後にお湯をかくはんするために、ふろポンプが回ります。 ●ポンプの凍結を予防するために、外気温が下がると凍結予防装置により、ポンプと補助熱源機が運転・停止を繰り返します。 ●一定期間お湯を使用しないと貯湯タンク内のお湯を温め直します。そのとき補助熱源機が自動的に燃焼しているためです。 ●発電中は約10時間ごとに約2分間補助熱源機が動作することがあります。発電に必要な動作です。 ●ポンプの固着を防止するために、自動的にポンプを48時間に1回、約1秒間動かしているためです。またシャワーやじゃ口でお湯を使用した後は約5分間ポンプが動きます。 ●床暖房回路内にたまった空気を抜くために、1ケ月に1回自動的にポンプを動かしているためです。
	逃し弁から水が出る	▶	●貯湯タンク内の圧力が上がりすぎないように上昇した圧力を逃がすためです。 ●運転中はポタポタと出ることがあります。
	排水配管先からお湯(水)が少しの間出ることがある	▶	●貯湯タンク内の水が沸き始めると水の体積が大きくなり、その分が排水配管先から出ますが、沸き上がると止まります。
	運転を停止してもしばらくの間、排熱利用給湯暖房ユニットからファンの音がする	▶	●燃焼室内の排気ガスを排出するためです。約5秒～3分間で停止します。
	シャワーやじゃ口でお湯を使用した後しばらくポンプの音がする	▶	●再出湯に備えています。約5分間で止まります。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
燃料電池発電ユニット	排気口から白煙が見える	●排気に含まれる水分が凝縮するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
	排気口から水が滴る	●排気に含まれる水分が凝縮し結露するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
	連続的なうなり音や機械音がする	●機器内部の制御部品の運転音です。
	停止させたのに機械音が止まらない	●停止や冷却の過程でも制御部品が動作しています。また、換気のためファンも動作を継続しています。
	発電していないのに機械音が聞こえるときがある	●排熱系の温度管理のために、制御部品が動作する音です。
	27日に1度、停止する	●マイコンメーターの誤検知防止のため、停止させています。
	ドレンから水が排出される	●運転状況によって、微量の余剰水がドレンから排出されます。
	給湯スイッチ「**切**」を選択しているのに、燃料電池発電ユニットから音がする	●「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を設定していない場合は、発電や貯湯のため運転を継続しています。
	操作していないのにリモコンの不在停止ランプが点灯している	●排熱利用給湯暖房ユニットを48時間以上使用しなかった場合は、自動的に「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」の設定になります。
	発電していないのに、燃料電池発電ユニットの運転ランプが点滅している	●発電していなくても停止中の場合には、間欠的に運転ランプが点滅します。
	発電していない	●過去のエネルギー使用実績から学習制御し、効率よく発電と停止を自動で行っています。ご家庭でのエネルギーの使用状況によっては、3日間ほど停止する場合もあります。
	燃料電池発電ユニットが突然停止し、ガスコンロ・給湯・ふろ・暖房が使用できない	●マイコンメーターの保護装置が作動しています。 マイコンメーターのランプが点滅しているときは、保護装置が作動してガスが遮断されており、燃料電池発電ユニットの故障ではありません。 詳しくはマイコンメーターの取扱説明書を参照してください。サービスを受けられるときは、担当のメンテナンス会社にマイコンメーター動作の状況を必ず連絡してください。 燃料電池発電ユニット マイコンメーター ●リモコンに何も表示されない場合は、排熱利用給湯暖房ユニットの電源が入っていることを確認してください。

リモコン	給湯ランプが点灯しない	●停電しているためです。 ●漏電ブレーカーが「**切**」になっているためです。 ●屋外防水コンセントに電源プラグが差し込まれていないためです。 分電盤から電源を取っている場合は、専用ブレーカーが「**切**」になっているためです。
	リモコンの表面が熱く感じる	●使用中は表示画面などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。リモコンの給湯スイッチを「**切**」にしていても電子回路が作動していますので発熱があります。
	音声案内をしない	●音声ガイド音量を「00」(切)「0」(切)にしていませんか。34・35ページ
	音声が小さくなった	●音声ガイド音量の設定を大きくしてください。 ●スピーカーに水がたまると音声が小さくなることがあります。 水をふきとってください。
	給湯温度を変更すると、操作していないリモコンからも音が鳴る	●操作していないリモコンからも音声でお知らせすることがあります。
	時刻表示が「PM 0：00 (12：00)」で点滅している	●停電などで約24時間以上電源が切れた後は時刻を記憶していません。現在時刻を設定しないとエネルックの表示・ふろ自動などの予約運転・発電運転ができません。 現在時刻を設定してください。40ページ
	リモコン表示が表示画面省エネモードにならない	●表示画面省エネモードの設定が正しく設定されていないためです。 ●給湯温度が55℃以上になっているためです。 ●排熱利用給湯暖房ユニットが運転しているためです。(待機状態になっていません。)

	こんなときは	確認してください
リモコン	リモコンが勝手に消灯する リモコンのバックライトが暗い、または消灯している	●表示画面省エネモードの設定を確認してください。 バックライトが消灯する設定になっていませんか。 34・35ページ
	表示画面の色が変化する	●表示画面を正面以外から見ると表示色が変化して見える場合があります。また表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
	表示画面の切換わりが遅い	●気温が下がると表示の切換わりが遅くなる場合があります。
	ふたについたスイッチのランプの光にムラがある	●ランプはスイッチ全体が均一に光りません。

	こんなときは		確認してください
エネルック	エネルギーモニタ	電気使用量が燃料電池発電ユニットの定格発電量以下であっても購入電気が発生する	●電気量調整のために少量の購入電気が発生することがあります。
		太陽光発電に関する表示が消えた	●停電すると太陽光発電システムに関する項目(太陽光発電量など)は表示しなくなります。停電復帰後、太陽光発電システムが発電を行うと再び表示します。
	金額表示	金額表示が出ない	●単価の設定を「**0円**」にしている。 単価を設定してください。 30ページ ●「**エネルック金額表示**」で「**しない**」に設定している。 設定を「**する**」に変更してください。 30・31ページ
		表示した量と金額の計算が合わない	●金額を計算するときに、表示桁数以上の細かい数値を省略していますので、表示した量と金額が合わない場合があります。
	量と金額	エネルックの表示量や金額が請求書と合わない	●エネルックの量や金額はめやすです。標準ではガスは燃料電池発電ユニットと排熱利用給湯暖房ユニットで消費した量、水は排熱利用給湯暖房ユニットで使用した量を表示しています。また、金額は基本料金や使用量に応じた料金に対応していません。 使用料金は各メーターの使用量に応じて請求されます。 リモコンに表示した金額で請求されることはありません。
	月積算値	今月の積算値が先月に切換わるときに数字が変化する	●今月のデータを先月に切換える際、内部処理するためにわずかな誤差を生じることがあります。
	光熱費金額	目標に対して実績が少ない金額になる	●太陽光発電システムとマルチ計測ユニットをご使用の場合は、販売電気量を光熱費から差し引きますので少ない金額になります。 計算上、マイナスになる場合は0円で表示します。
	水道使用量	実際の水道使用量に比べて表示の使用量が極端に多い、または少ない	●パルス機能付水道メーターに対応したパルス調整ができていない可能性があります。 担当のメンテナンス会社にお問合せください。 ●長期間ご使用の場合は、パルス機能付水道メーターのパルス出力が粗くなっている可能性があります。 改善するにはメーター交換が必要となります。水道メーターを設置した会社にお問合せください。
	ガス使用量	実際のガス使用量に比べて表示の使用量が極端に多い、または少ない	●パルス機能付マイコンメーターに対応したパルス調整ができていない可能性があります。 販売店またはもよりの大阪ガスにお問合せください。
	CO_2削減量	CO_2削減量を表示しない、値が0になる	●停電した場合は、再計算を行うため「**0**」や「**ーー**」を表示します。 ●燃料電池発電ユニットの発電準備中または停止移行中は値が減ることがあります。
	目標値 達成マーク	目標値や達成マークを表示しない	●目標値や達成マークは設定しないと表示しません。 目標値や達成マークを設定してください。 30・31ページ
	エネルックスイッチを押しても表示しない項目がある		●「**表示有無○○**」で表示する設定にしていない項目は表示しません。 「**表示有無○○**」で「**する**」に設定してください。 30・31ページ

故障表示一覧表

●リモコンに故障表示が出た場合は、以下の表に従って確認・処置を行ってください。
●確認・処置後リセットしてください。
リセット(警報解除)の方法…リモコンの給湯スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。
表示によってはリセットしても直らない場合があります。
直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

燃料電池発電ユニット

故障表示	説明	確認・処置
―	リモコンに何も表示しない	●屋外防水コンセントに電源プラグが差し込まれていますか。 分電盤から電源を取っている場合は、専用ブレーカーが「**入**」になっていますか。
002	残り湯検知異常	●浴そうの水を全部抜いてから、再度ふろ自動を行ってください。〔設置後最初に行うふろ自動は、浴そうにお湯(水)がない状態で行ってください。〕
011	補助熱源機連続燃焼時間超過(給湯/お湯はり時)	●約1時間半連続してシャワーやじゃ口の使用、お湯はりをしませんでしたか。 ●シャワーやじゃ口の使用、お湯はり中に補助熱源機が約1時間連続して燃焼しませんでしたか。
032	ふろ排水栓抜け検知	●浴そうにふろ排水栓を閉めていますか。 ●循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないことを確認してください。(「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照) ●お湯はり中または追いだき中に断水しませんでしたか。断水時は追いだきできません。
111	点火不良(給湯/お湯はり時)	●ガス栓は充分開いていますか。 ●マイコンメーターがガスを遮断していないことを確認してください。

故障表示	説　明	確　認　・　処　置
112	点火不良（追いだき時）	●ガス栓は充分開いていますか。 ●マイコンメーターがガスを遮断していないことを確認してください。
113	点火不良（暖房時）	
121	立消え安全装置作動 （給湯/お湯はり時）	
122	立消え安全装置作動（追いだき時）	
123	立消え安全装置作動（暖房時）	
252	ふろ水流スイッチ異常 （お湯はり/追いだき時）	●循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないことを確認してください。（「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照） ●浴そうに排水栓がしてあることを確認してください。
260	断水検知（圧力スイッチ作動）	●給水元栓が閉まっていませんか。 ●断水していませんか。 ●リモコンの表示に従って、復旧してください。 再度「**260**」を表示した場合は、「**機器本体操作説明編**」の「**凍結のおそれがあるとき**」の「**再使用方法（排熱利用給湯暖房ユニットの水張り）**」に従って水張りを行ってください。 リモコン：260 台所リモコンの 給湯スイッチを切にして 設定＋スイッチを約3秒間 押してください → **交互表示** リモコン：水張り運転（00P表示）を 開始しない場合は 断水していないか 確認してください
562	お湯はり異常	●浴そうにふろ排水栓を閉めていますか。 ●循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないことを確認してください。（「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照） ●お湯はり中または追いだき中に断水しませんでしたか。断水時は追いだきできません。
632	ふろ循環異常	●循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないことを確認してください。（「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照） ●浴そうに排水栓がしてあることを確認してください。
740	台所リモコン通信異常 （通信異常最大5分連続）	●屋外防水コンセントから電源プラグを抜いて、約10秒後再度差し込んでください。 分電盤から電源を取っている場合は、専用ブレーカーを「**切**」にし、約10秒後再度「**入**」にしてください。
750	浴室リモコン通信異常 （通信異常最大5分連続）	
760	リモコン通信異常 （通信異常最大5分連続）	
763	インテリジェント通信異常 （暖房端末機通信異常90秒連続）	
769	燃料電池発電ユニット通信異常	
76F	ユニット間通信異常	●燃料電池発電ユニットの本体主回路漏電ブレーカーが「**入**」になっていることを確認してください。 ●ガス漏れがないことを確認し、異常がある場合はガス栓を閉じてください。 ●漏電時突出部が出ていた場合は、担当のメンテナンス会社に連絡してください。
920	中和器寿命（警告表示）	●しばらくは使用できますが、中和器の交換が必要です。 ●担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
930	中和器寿命（機能停止）	●中和器を交換しないと運転できません。（リセットしても運転できません。） 担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
A0F	燃料供給圧低	●ガスが流れていることを確認してください。 ・ガス栓が閉まっていない。 ・マイコンメーターがガスを遮断していない。
09F	貯湯タンク温度高	●貯湯タンクがすべてお湯になった状態で手動モードに変更しませんでしたか。 ●貯湯タンクのお湯が使われると、自動的に解除されます。
上記以外	―	●点検修理が必要です。 警報の解除はせずにお買い求めの販売店にご連絡ください。

運転動作モード一覧表

●台所リモコンと浴室リモコンに運転動作を表示することがあります。

表示	説　明	確　認　・　処　置
00d	給湯回路水抜き中	運転動作を表示しています。 異常ではありません。
00P	給湯回路水張り中	

お問い合わせ先

排熱利用給湯暖房ユニット別添「大阪ガスのお問い合わせ先」をご参照願います。

大阪ガス

排熱利用給湯暖房ユニット

取 扱 説 明 書

リモコン操作説明編

[カラー液晶リモコンセット]

138-C379 型

このたびは、本製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●この説明書はリモコン操作に関する内容を記載しています。排熱利用給湯暖房ユニット本体については、別冊の機器本体操作説明編の取扱説明書を参照してください。
●取扱説明書を紛失された場合は、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20758205（M）

安全上の注意（必ずお守りください）

●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
　いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	人が死亡、重傷を負う可能性、火災の可能性が想定される内容です。	お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。
⚠注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。		

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		注意 「注意しなければならない」内容です。

⚠警告

やけどに注意する

●シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめる。

●シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しない。

●沸き上げ中や沸き上げ直後は循環アダプターから熱いお湯が出るので注意する。

●浴そうのお湯を洗面器などで充分にかき混ぜてから手でお湯の温度を確かめる。

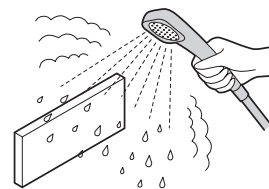
⚠注意

リモコンに耳を近づけて使用しない

大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

故意に水やシャンプーなどをかけない

（故障・作動不良・誤作動・音声異常の原因）

お子様がいたずらしないように注意してください。

お願い

リモコンについて

●**分解したり、乱暴に扱わない。**
（故障の原因）

●**掃除するときはシンナー・ベンジン・酸性洗剤などを使用しない。**
（変色や変形の原因）

●**使用環境温度の範囲内（−10〜60℃）で使用する。**

●**ON/OFFスイッチが「OFF」のときはお湯側から水を出さない。**
お湯を出すときはON/OFFスイッチが「**ON**」になっていることを確認してください。「**OFF**」のときにお湯側から長時間水を出すと機器内が結露し、電気部品の損傷の原因になることがあります。

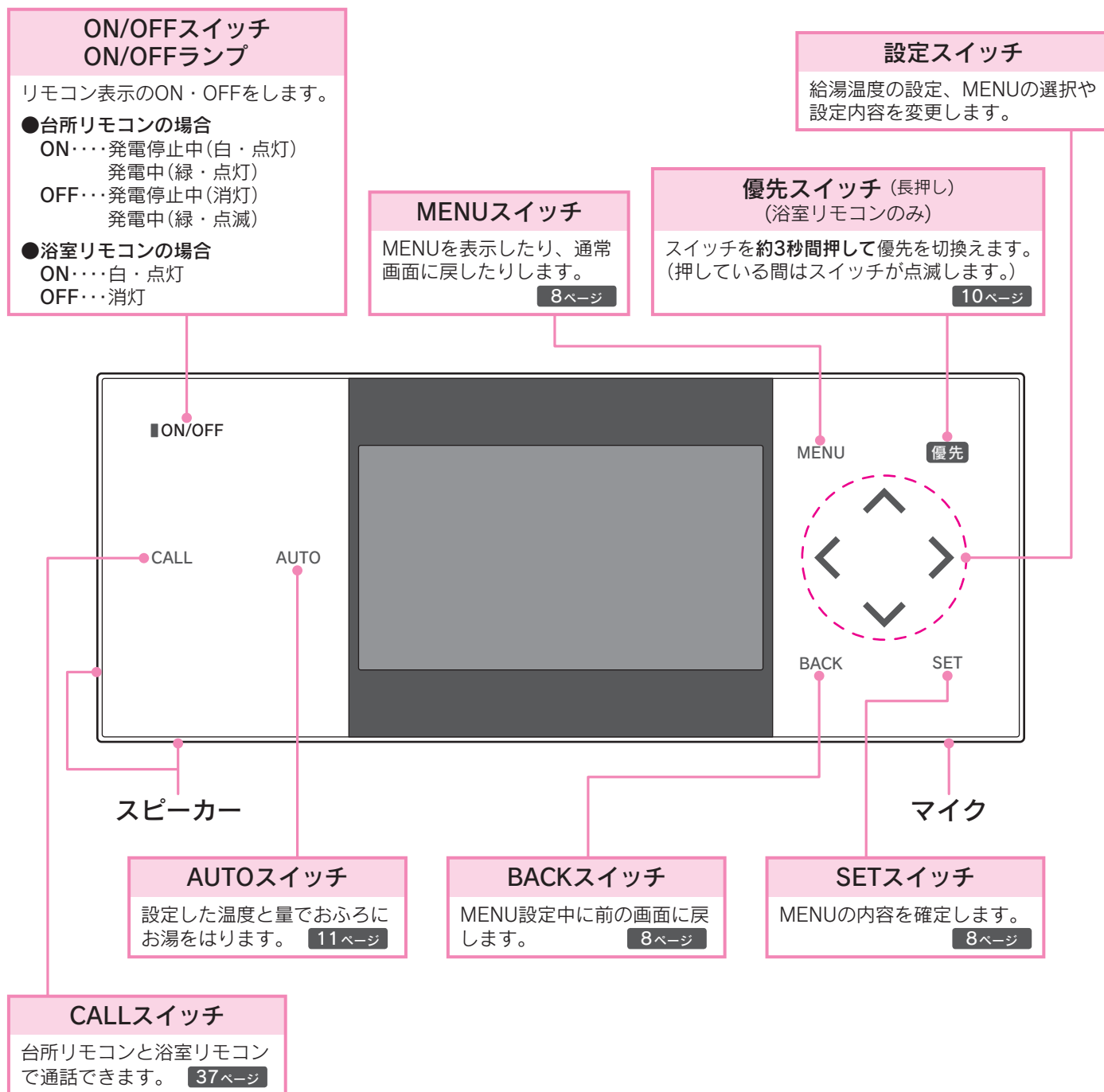
もくじ

ページ

こんなときは？

各部の名称とはたらき

台所リモコン・浴室リモコン

●イラストは浴室リモコンです。
●台所リモコンには優先スイッチがありません。
　また、表示画面には水位表示と水位キープ表示がありません。
●浴室リモコンの表示画面には浴室暖房(予約)表示・暖房表示・無線LAN接続表示がありません。

お知らせ

●スイッチが点灯して操作できるスイッチをお知らせします。
●スイッチは指の腹でゆっくりと押してください。爪で押したり強く押したりすると反応しないことがあります。
●スイッチを押すときは、指や手が他のスイッチに近づかないように注意してください。
●スイッチやその周辺にかかった水が原因で、一時的にスイッチの反応が悪くなったり誤作動したりすることがあります。
●スイッチの反応が悪いときは、一度指をリモコンから大きく離し、再度指の腹でゆっくりと押してください。
●操作部の表面が汚れている場合はスイッチの反応が悪くなる場合があります。お掃除の際はタッチスイッチの設定を行ってください。39ページ

表示画面

●ON/OFFスイッチが「ON」の場合

補助熱源機燃焼表示
排熱利用給湯暖房ユニット状態表示 7ページ
高温表示
現在時刻表示
ふろ予約表示
ふろ温度表示
水位表示（浴室リモコンのみ）
水位キープ表示（浴室リモコンのみ）

給湯中表示
浴室暖房（予約）表示（台所リモコンのみ） 7ページ
暖房表示（台所リモコンのみ）
無線LAN接続表示（台所リモコンのみ） 7ページ
達成マーク表示 7ページ
給湯温度表示
貯湯量表示 6ページ（136-CF04型の場合）

10:00AM ＊ 浴暖 暖房 eco
40℃ 高温 優先 40℃
買電 0.3kW
0.7kW
1.0kW

購入電気 削減率 ℃ 60%
購入電気削減率表示（136-CF05型の場合） 31ページ

優先表示 10ページ
発電表示 6ページ

●追いだき中の表示

保温表示
循環表示
浴そうのお湯（水）が循環しているときに表示します。
40℃ 追いだき
動作表示

●お湯はり・水はり中の表示

お湯はり表示
浴そうにお湯（水）を入れているときに表示します。
40℃ ふろ自動
動作表示

●通常の表示

発電量表示
買電 0.3kW
0.7kW
1.0kW
購入電気量表示
電気使用量表示

●太陽光発電システムを設置したときの表示(※)

発電量表示
売電 1.7kW
2.7kW
1.0kW
販売電気量表示
電気使用量表示　エネファーム発電量表示　太陽光発電量表示

発電量表示
買電 0.3kW
2.7kW
3.0kW
購入電気量表示
電気使用量表示　エネファーム発電量表示　太陽光発電量表示

表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。
※太陽光発電システムの設置、電力会社との販売契約、別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行わないと表示しません。

●ON/OFFスイッチが「OFF」の場合
（台所リモコンのみ）

「**エネルギー砂時計表示**」を「**する**」にした場合は、現在時刻を大きく表示し、目標値を設定した場合は現在時刻に今月の目標に対して、使用できるエネルギーの残量を色で表示します。使用したエネルギー量が各項目の目標に近づくにつれて色がついた部分が減っていきます。
「**しない**」に設定した場合は、左上に現在時刻を表示します。 34・35ページ

表示画面は「**エネルギー砂時計表示**」を「**する**」にした場合です。

ご使用の前に
基本の使いかた
便利な使いかた
必要なときに

各部の名称とはたらき

表示について

貯湯量表示

●貯湯タンク内の「**お湯(約42℃以上)の量**」を表示します。
●約42℃以上のお湯の量を元に表示していますが、季節や貯湯状態により変動します。
●貯湯量を表示している場合でも、給湯温度によっては補助熱源機が作動することがあります。お湯の出を早くするためのもので、故障ではありません。
●表示されたお湯の量以外は水です。

	136-CF04型の場合	136-CF05型の場合
4段目	約160～200L	約75～90L
3段目	約100～160L	約45～75L
2段目	約40～100L	約15～45L
1段目	約10～40L	約5～15L
消灯	約10L未満	約5L未満

発電表示

●燃料電池発電ユニットと太陽光発電システムの状態を表示しています。

	太陽光発電システム	点灯	青	設置(※1)
		消灯	―	未設置
	燃料電池発電ユニット	点灯	緑	発電中(※2)
		点灯	灰	自動発電停止(※3)
		点灯(×付)	灰	強制停止中(※4)
		点滅(約2秒周期)	緑	発電準備中
		点滅(約6秒周期)	緑	停止移行中
		消灯	―	停止中(※5)

※1 太陽光発電システムと別売のマルチ計測ユニットを接続している場合に点灯します。
停電すると消灯します。停電復帰後、太陽光発電システムが発電を行うと再び点灯します。
※2 発電中に性能維持運転のため一時的に送電を中断しているときも表示します。
※3 発電モードが「**自動**」設定中に学習機能によって発電を停止しています。故障ではありません。
発電予定時刻はエネルックで確認できます。(136-CF04型のみ)
※4 排熱利用給湯暖房ユニットにより、強制的に発電を停止しています。
お客様の操作やメンテナンス中以外でこの表示が出た場合は、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
故障を表示している場合は「**故障表示一覧表**」に従ってください。
※5 手動モードで貯湯タンクがすべてお湯になった場合や、不在停止中などの使用状況により貯湯タンクのお湯の入替えが必要な場合に停止します。手動モードですべてお湯になった場合は当日中は発電せず、お湯の使用状況に応じて翌日以降に発電を行います。お湯の入替えが必要な場合は、補助熱源機を経由してお湯を供給し、しばらく使用すると自動的に発電を開始します。

排熱利用給湯暖房ユニット状態表示

●凍結予防や水質維持などのために自動的に行う運転動作を表示しています。

(アイコン)	凍結予防運転	排熱回路の凍結予防を行っています。
(アイコン)	タンクリフレッシュ運転	お湯の利用が少なくなったときに、水質維持のため貯湯タンクのお湯を高温に沸き上げています。 (貯湯タンク内の水を沸き上げる場合は補助熱源機が作動します。)
(アイコン)	タンク長期滞留防止運転	貯湯タンクにお湯が長期間滞留することを防止する運転を行っています。
M	マイコンメーターの確認	燃料電池発電ユニットを停止させ、マイコンメーターの安全機能を確認しています。 ※マイコンメーターの安全機能の確認ができない場合は、リモコンに「019」を表示する場合があります。その場合は64ページを参照し、処置を行ってください。

達成マーク表示

●「**エネルックの設定**」で設定した目標値に対する達成度をお知らせします。34・35ページ

eco (大きくなったり小さくなったりします)	目標値を大きく達成しています。
eco	目標値を達成しています。
eco	ほぼ目標値通りです。
eco	目標値を下回っています。
eco	目標値を大きく下回っています。

無線LAN接続表示 (台所リモコンのみ)

●無線LANの接続状態を表示します。

(アイコン)	接続しています。
(アイコン)	切断しています。
表示なし (※)	「**リモコンと無線LANルータの接続**」の設定が行われていません。 42・43ページ

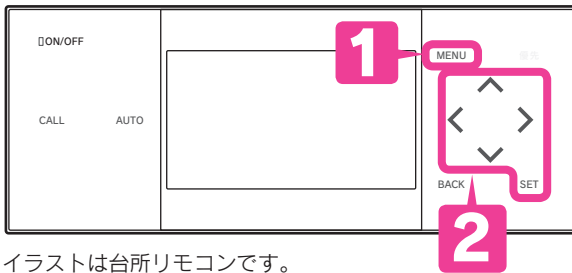
※「**リモコンと無線LANルータの接続**」を行うと (アイコン) または (アイコン) を表示します。
ただし、「**無線LAN無効設定**」を「**する**」に設定すると「**表示なし**」になります。

浴室暖房(予約)表示 (台所リモコンのみ)

●浴室暖房乾燥機の運転状態を表示します。20・21ページ

浴暖	運転中です。
(時計)浴暖	予約中です。

リモコンの機能設定と確認　機能一覧の項目ごとに設定を変更できます。

台所リモコン・浴室リモコン

イラストは台所リモコンです。

■項目の選び方

●MENU・〈 〉・SETを操作することにより、機能を設定することができます。

1 MENUを押す

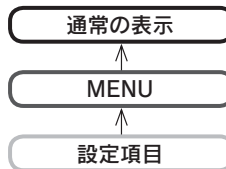
2 〈 〉で変更したい設定を選びSETを押す

設定したい項目を表示するまで **2** を繰り返してください。

↕：〈 〉で項目を選ぶ

⋮：SETで下層項目のMENUや設定項目へ移動

■戻るときは

↑：BACKを押す

MENUを押す

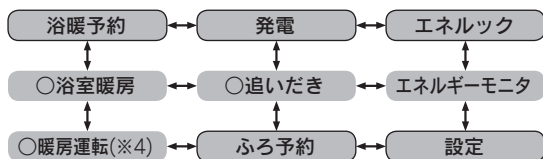
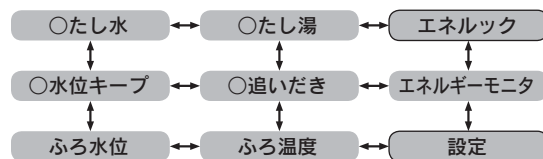
●通常の表示に戻ります。
（約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。）

お知らせ

●機能設定を確定後に続けて他の機能を設定する場合は、BACKを押してください。
前の項目に移動して設定することができます。

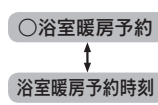
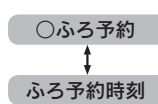
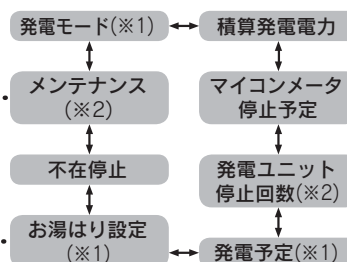
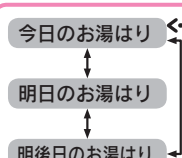
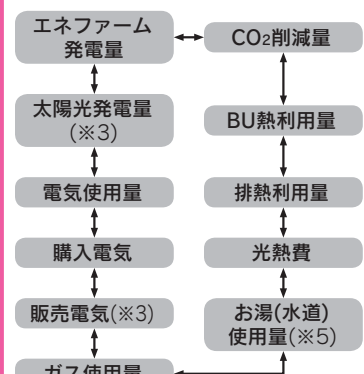
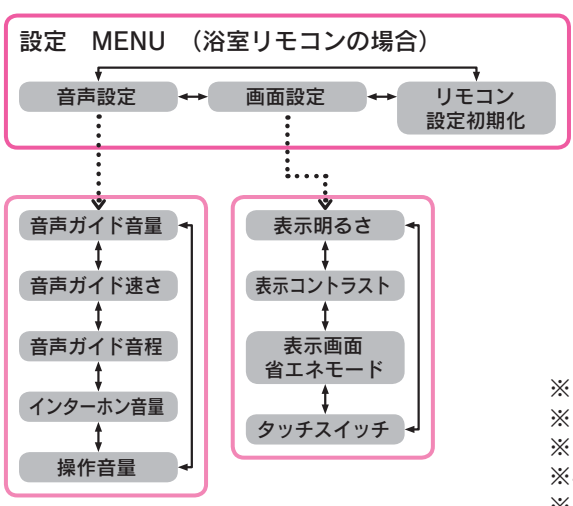
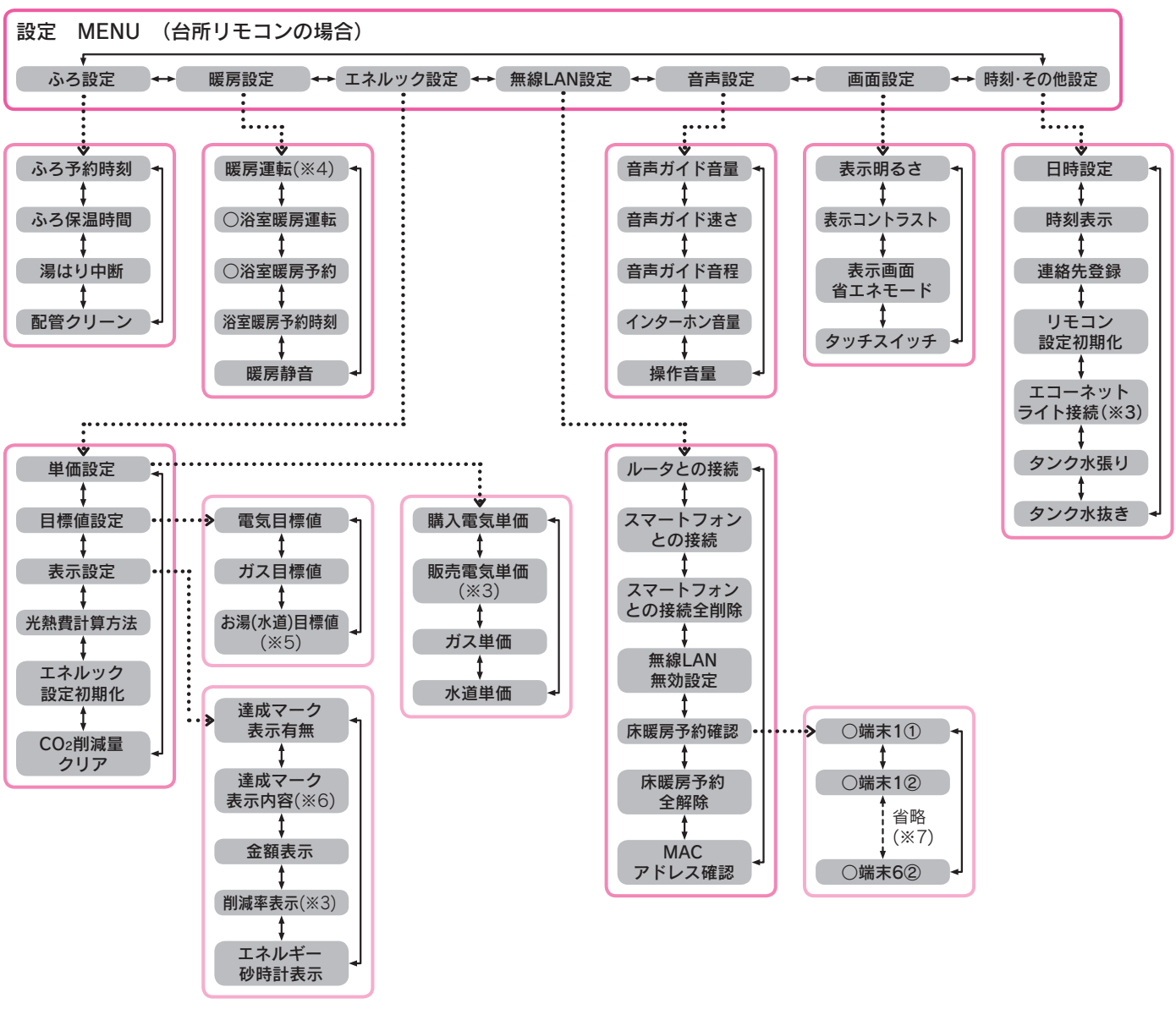
●設定内容の左にある○(運転表示・予約表示)は、設定中または予約中はオレンジ色になります。

■機能一覧

台所リモコン

浴室リモコン

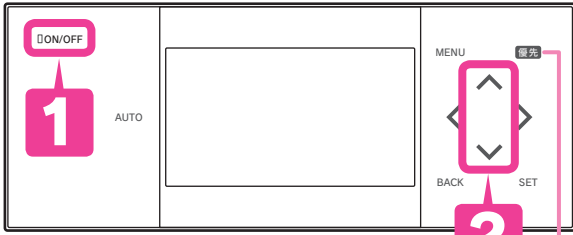
設定　MENU　（台所リモコンの場合）

ふろ設定 ↔ 暖房設定 ↔ エネルック設定 ↔ 無線LAN設定 ↔ 音声設定 ↔ 画面設定 ↔ 時刻･その他設定

- ふろ設定
  - ふろ予約時刻
  - ふろ保温時間
  - 湯はり中断
  - 配管クリーン
- 暖房設定
  - 暖房運転(※4)
  - ○浴室暖房運転
  - ○浴室暖房予約
  - 浴室暖房予約時刻
  - 暖房静音
- エネルック設定
  - 単価設定
    - 購入電気単価
    - 販売電気単価(※3)
    - ガス単価
    - 水道単価
  - 目標値設定
    - 電気目標値
    - ガス目標値
    - お湯(水道)目標値(※5)
  - 表示設定
    - 達成マーク表示有無
    - 達成マーク表示内容(※6)
    - 金額表示
    - 削減率表示(※3)
    - エネルギー砂時計表示
  - 光熱費計算方法
  - エネルック設定初期化
  - CO_2削減量クリア
- 無線LAN設定
  - ルータとの接続
  - スマートフォンとの接続
  - スマートフォンとの接続全削除
  - 無線LAN無効設定
  - 床暖房予約確認
    - ○端末1①
    - ○端末1②
    - 省略(※7)
    - ○端末6②
  - 床暖房予約全解除
  - MACアドレス確認
- 音声設定
  - 音声ガイド音量
  - 音声ガイド速さ
  - 音声ガイド音程
  - インターホン音量
  - 操作音量
- 画面設定
  - 表示明るさ
  - 表示コントラスト
  - 表示画面省エネモード
  - タッチスイッチ
- 時刻･その他設定
  - 日時設定
  - 時刻表示
  - 連絡先登録
  - リモコン設定初期化
  - エコーネットライト接続(※3)
  - タンク水張り
  - タンク水抜き

※1 排熱利用給湯暖房ユニット(136-CF04型)のみ表示します。
※2 排熱利用給湯暖房ユニット(136-CF05型)のみ表示します。
※3 別売部品を取付けた場合のみ表示します。
※4 設置時の設定によっては表示しない場合があります。
※5 別売部品などの取付けによりお湯の表示が水道に変わります。
※6 達成マーク表示有無を「**しない**」に設定した場合は表示しません。
※7 最大6台の暖房端末機の予約設定と予約時刻が確認できます。
(暖房端末機1台につき2つ)

シャワーやじゃ口でお湯を使う

給湯温度 シャワーやじゃ口から出るお湯の温度を設定します。

台所リモコン・浴室リモコン

イラストは浴室リモコンです。
台所リモコンには優先スイッチがありません。

優先を切換える
(約3秒間押す)

1 ON/OFFを押す(ON)

2 ︿﹀で給湯温度を設定する

給湯温度調節範囲
32℃・35℃・37～48℃(1℃ごと)・55℃・60℃

●すべてのリモコンが同じ温度になります。

リモコンの優先について

●台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。お湯を使用中に他の人が給湯温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどや冷水による思わぬ事故につながることがあります。
このような事故を防止するため、「**優先**」を表示したリモコン以外は、給湯温度の変更ができないようになっています。

表示画面に優先表示を表示していない場合
浴室リモコンの**優先スイッチ**を**約3秒間押す**とブザー音が鳴って優先が切換わります。
(押している間は優先スイッチが点滅します。)
※台所リモコンには優先スイッチはありませんので、浴室リモコンの優先スイッチを押してください。

給湯温度が設定できるリモコンに表示します

55℃以上に設定したときはすべてのリモコンに「高温」が表示され、給湯温度が赤くなります。

やけどに注意！

●給湯温度の変更は他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
●「**優先**」を切換えると、切換わったリモコンの給湯温度を表示します。
●シャワー使用前に給湯温度を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。またシャワー使用中は給湯温度の変更や「**優先**」の切換えをしないでください。
●55℃以上で使用した後に再度使用するときは、給湯温度をよく確認してください。
●停電時や故障時でも熱いお湯が出ることがありますので注意してください。

給湯温度のめやす(℃)							
32	35	37	38	39～43	44～48	55	60
食器洗いなど				給湯・シャワーなど	給湯など	高温	

お知らせ

●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、お湯の温度を安定させるため、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より少し(約5℃)高めにして使用してください。

しばらくお湯を使わないときはもう一度**ON/OFF**を押す(OFF)

おふろにお湯をはる

ふろ自動

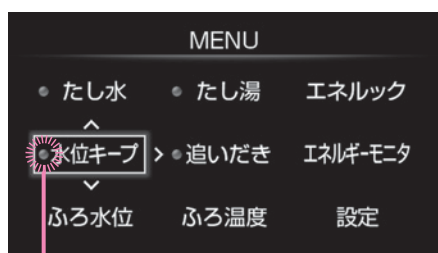
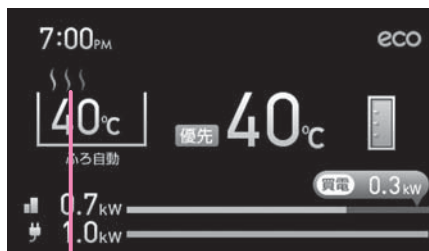
自動的におふろにお湯をはります。
設定されたふろ保温時間の間は、自動的におふろの温度と水位を保ちます。

イラストは台所リモコンです。

1 浴そうの排水栓をしてふたをする

●循環アダプターのフィルタがついていることを確認してください。
●ふろ温度を確認してください。

ON/OFFスイッチが「OFF」のときは押して「ON」にしてください。

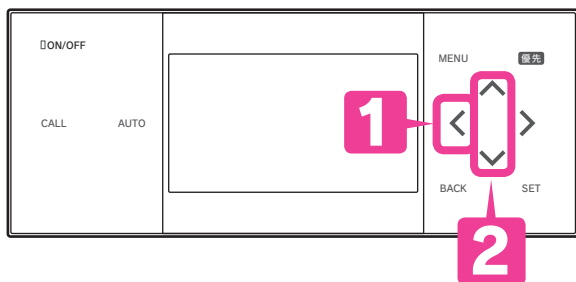
2 AUTOを押す（入）

●お湯はりを終えると、AUTOが緑色の点滅から点灯に変わりふろ保温を開始します。

ふろ自動を中止するときはもう一度 AUTO を押す（切）

お知らせ

●設置後初めてのふろ自動を浴そうにお湯（水）が入っている状態で行うと、故障表示「002」が出てお湯はりを停止します。
この場合は、浴そうの水を全部抜いてふろ自動をやり直してください。

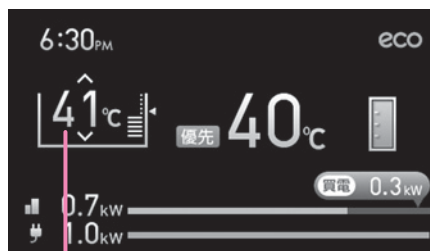
おふろの温度と水位を設定する

ふろ温度　おふろの温度を設定します。

浴室リモコンのみ

ON/OFFスイッチが「OFF」のときは押して「ON」にしてください。

1 ＜を押す

2 ∧∨を押してふろ温度を設定する

ふろ温度調節範囲
33～48℃（1℃ごと）

やけどに注意！

●ふろ温度を必ず確認してください。

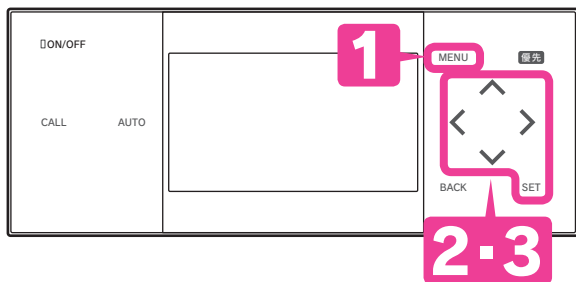
お知らせ

●この設定は浴室リモコンのMENUスイッチを押した後、「**ふろ温度**」を選択すると同じ設定ができます。

＞を押す

●給湯温度が設定できるようになります。
●約30秒間放置しても給湯温度が設定できるようになります。

ふろ水位　ふろ自動のおふろの水位を設定します。

浴室リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜∧∨＞で「ふろ水位」を選びSETを押す

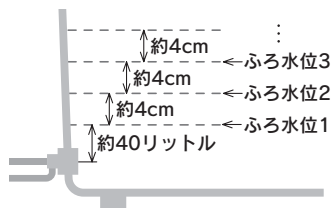
3 ∧∨でふろ水位を設定しSETを押す

ふろ水位設定範囲
1～10

お買い求め時
5

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

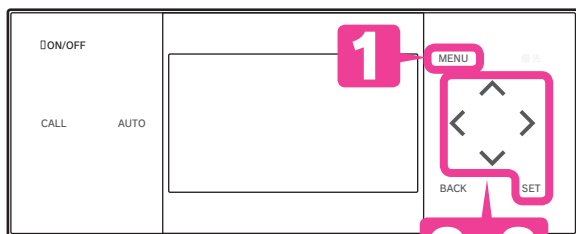
●ふろ水位「**1**」は循環アダプターの中心から約40リットル、「**2**」～「**10**」は約4cmずつ増えます。

お知らせ

●洋風バスなど浅い浴そうや循環アダプターの位置によっては、ふろ水位を高めに設定すると浴そうからお湯があふれる場合があります。また浴そうの大きさによっては設定水位にならない場合があります。
●一度ふろ水位を設定すると毎回同じ量でお湯をはります。

おふろの予約をする

ふろ予約

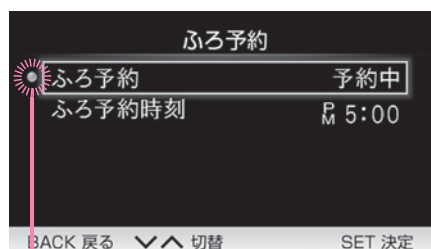
ふろ予約時刻までにお湯はりが完了するように、自動的にお湯をはります。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

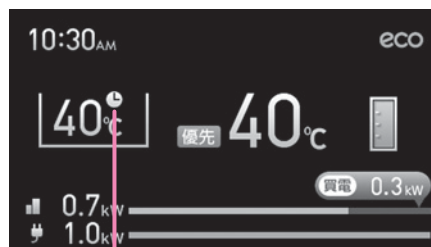
2 ＜ ＞で「ふろ予約」を選びSETを押す

3 ∧∨で「ふろ予約」を選びSETを押して「予約中」にする

設定内容
予約中↔解除中

お買い求め時
解除中

ふろ予約表示（橙）
予約中に点灯します

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

ふろ予約表示

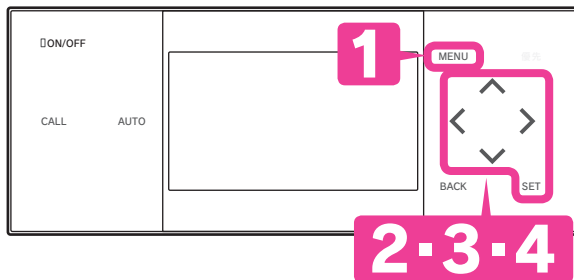
解除するときはもう一度MENU画面から「**ふろ予約**」→「**解除中**」を選びふろ予約表示を消灯させる

お知らせ

●ふろ温度とふろ水位は、ふろ自動と同じ設定になります。
●当日のふろ予約は、予約時刻の30分以上前に行ってください。（ふろ自動は予約時刻の約30分前から開始します。）
●気温や給水圧力によっては、予約時刻よりも早くお湯はりが終わります。
●予約中に停電すると、予約が解除されることがあります。

おふろの予約をする

ふろ予約時刻　入浴したい時刻を設定します。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ∧∨<>で「ふろ予約」を選びSETを押す

3 ∧∨で「ふろ予約時刻」を選びSETを押す

4 ∧∨<>でふろ予約時刻を設定しSETを押す

時間：1時間ごとに変わります。
分　：1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

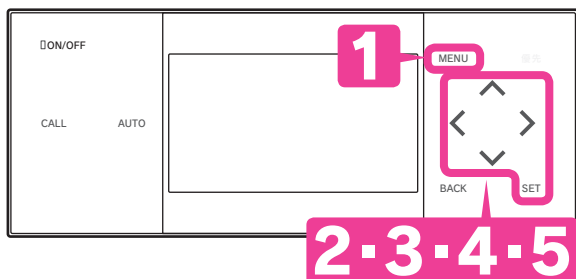
お知らせ

●この設定は台所リモコンのMENUスイッチを押した後、「**設定**」→「**ふろ設定**」→「**ふろ予約時刻**」を選択すると同じ設定ができます。

おふろの保温時間を変更する

ふろ保温時間

お湯をはった後の自動保温や自動たし湯を行う時間を設定します。

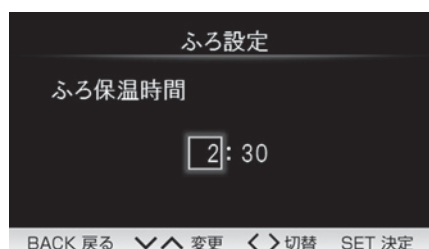
台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「ふろ設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で「ふろ保温時間」を選びSETを押す

5 ＜ ＞でふろ保温時間を設定しSETを押す

ふろ保温時間設定範囲
0～24時間（30分単位）

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

ご使用の前に
基本の使いかた
便利な使いかた
必要なときに

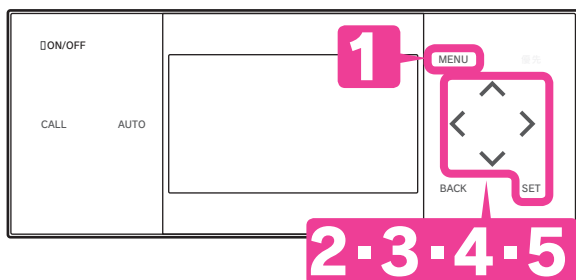
お知らせ

●ふろ保温時間を「**0時間**」に設定すると自動たし湯は行いません。

おふろのお湯はりを優先させる

湯はり中断

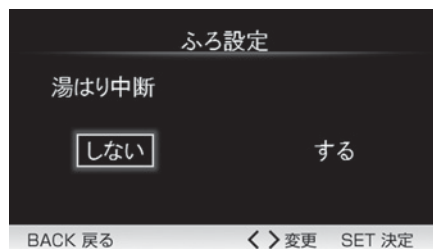
ふろ自動やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用したときのお湯はり動作を設定します。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ∧∨<>で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「ふろ設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で「湯はり中断」を選びSETを押す

5 <>で「しない」を選びSETを押す

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

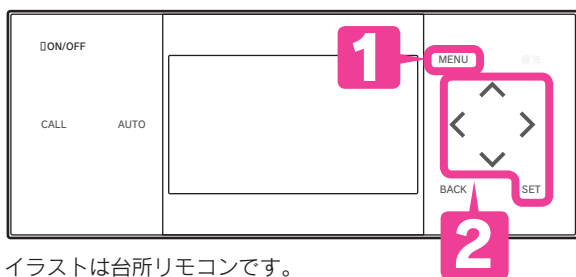
お知らせ

●湯はり中断を「する」にした場合
ふろ自動中やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、お湯はりを中断することがあります。
お湯の使用が終わると再開します。

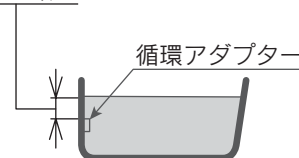
●湯はり中断を「しない」にした場合
ふろ自動中やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用しても、お湯はりは中断しません。
シャワーやじゃ口で使用するお湯の温度は、ふろ温度より少し低い温度になります。
また、お湯の量が少なくなることがあります。

おふろを温め直す

追いだき　おふろの水位を変えずにふろ温度まで温め直します。

台所リモコン・浴室リモコン

イラストは台所リモコンです。

●浴そうのお湯が循環アダプター上部から**約5cm以上**必要です。

循環アダプター

ON/OFFスイッチが「OFF」のときは押して「ON」にしてください。

1 MENUを押す

2 ＜＾＞∨で「追いだき」を選びSETを押す

追いだきをします

運転表示(橙)
追いだき中に点灯します

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

追いだき中に表示します

追いだき終了後
(台所リモコンのみ)

♪メロディー
おふろが沸きました

中止するときはもう一度MENU画面から「**追いだき**」を選び、SETを押して運転表示を消灯させる

ON/OFFスイッチが「**OFF**」の場合は、**2**の画面を表示していても操作を受け付けません。

浴そうのお湯の温度がリモコンのふろ温度より高い場合

・**台所リモコンで追いだきを行ったとき**
　温度を確認した後、追いだきせずに終了します。

・**浴室リモコンで追いだきを行ったとき**
　おふろの温度＋約1℃まで追いだきします。
　(最高48℃)

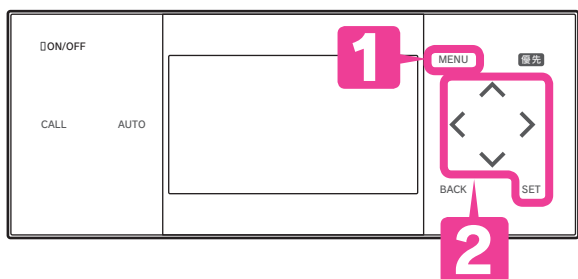
お知らせ

●追いだき中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると給湯能力が低下することがあります。
●追いだき中に補助熱源機燃焼表示が点灯・消灯を繰り返すことがあります。
●断水のときは浴そうのお湯(水)が循環アダプター上部から約5cm以上あっても追いだきはしないでください。
　故障の原因になります。

おふろにお湯や水をたす

たし湯・たし水

おふろにお湯や水をたして、お湯の量や温度を調節します。

浴室リモコンのみ

ON/OFFスイッチが「OFF」のときは押して「ON」にしてください。

1 MENUを押す

2 ∧ ＜ ＞ ∨で運転したい項目を選びSETを押す

たし湯…おふろにふろ温度のお湯を約20リットルたしてお湯を増やします。
たし水…おふろに水を約10リットルたしてお湯の温度を下げます。

ON/OFFスイッチが「**OFF**」の場合は、**2**の画面を表示していても操作を受け付けません。

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

中止するときはもう一度MENU画面から「**たし湯**」を選び、SETを押して運転表示を消灯させる

中止するときはもう一度MENU画面から「**たし水**」を選び、SETを押して運転表示を消灯させる

お知らせ

たし湯

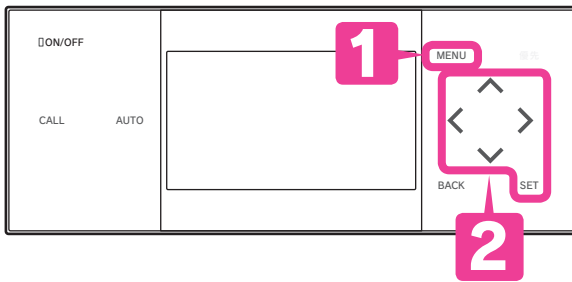
●たし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、たし湯を中断することがあります。
　たし湯を中断しないように設定することもできます。16ページ
●たし湯中にたし水はできません。
　たし湯を停止してから、たし水を行ってください。

たし水

●たし水終了後のおふろの温度は、たし水の水温によって異なります。
●たし水中にシャワーやじゃ口でお湯の使用やたし湯を行うと、たし水を中止します。

暖房する

暖房運転　運転スイッチがない暖房端末機の運転・停止を設定します。

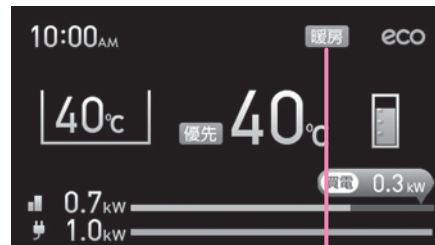
台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜＞∧∨で「暖房運転」を選びSETを押す

変更されました

運転表示(橙)
暖房運転中に点灯します

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

暖房運転中に点灯します

停止するときはもう一度MENU画面から「**暖房運転**」を選び、SETを押して運転表示を消灯させる

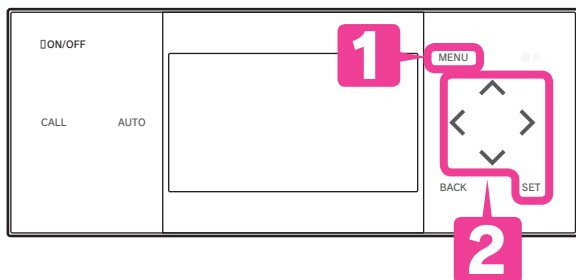
お知らせ

●運転スイッチがない暖房端末機を接続している場合に「**暖房運転**」が表示されます。
●この設定は台所リモコンのMENUスイッチを押した後、「**設定**」→「**暖房設定**」→「**暖房運転**」を選択すると同じ設定ができます。

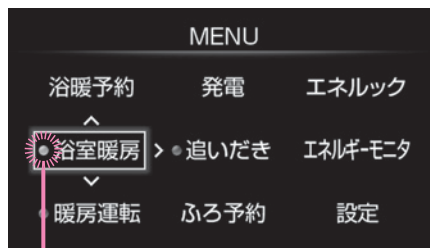
暖房する

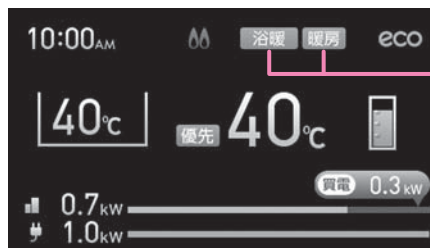
浴室暖房運転　浴室暖房乾燥機の運転・停止を設定します。

台所リモコンのみ

ON/OFF
CALL　AUTO
MENU
BACK　SET

1 MENUを押す

2 ＜ ＞ で「浴室暖房」を選びSETを押す

変更されました

運転表示(橙)
浴室暖房乾燥機の運転中に点灯します

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

浴室暖房乾燥機の運転中に点灯します

停止するときはもう一度MENU画面から「**浴室暖房**」を選び、SETを押して運転表示を消灯させる

お知らせ

●浴室暖房乾燥機の種類によっては台所リモコンで操作できない場合があります。
その場合は浴室暖房乾燥機のリモコンで操作してください。
●この設定は台所リモコンのMENUスイッチを押した後、「**設定**」→「**暖房設定**」→「**浴室暖房運転**」を選択すると同じ設定ができます。
●浴室暖房乾燥機が接続されていないときは、MENUの「**浴室暖房**」は灰色の文字で表示され設定できません。

ミストサウナ準備完了お知らせ機能について

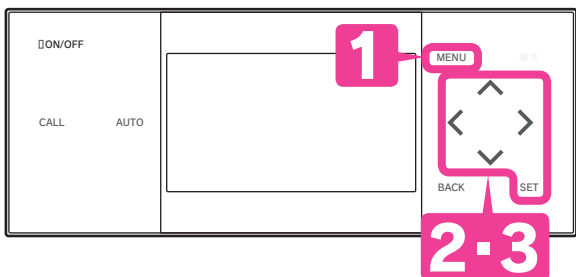
「**ミストサウナ準備完了お知らせ機能**」に対応したミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機をお使いの場合は、浴室が暖まってミストサウナ入浴の準備が完了すると、台所リモコンから「**♪ミストサウナの準備ができました**」と音声でお知らせします。

お知らせ

●お使いのミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機が「**ミストサウナ準備完了お知らせ機能**」に対応していることをミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機の取扱説明書で確認してください。
●「**ミストサウナ準備完了お知らせ機能**」の設定は、ミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機のリモコンで変更できます。
詳しくはミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機の取扱説明書で確認してください。
●ミストサウナ機能付浴室暖房乾燥機の仕様・設置条件・使用環境によっては、ミストサウナ入浴の準備完了をお知らせしないことがあります。

浴室暖房予約

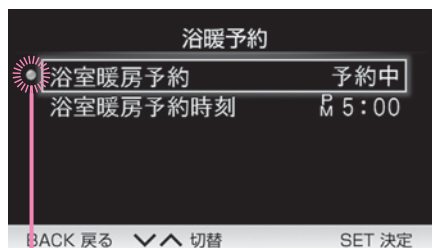
浴室暖房予約時刻に合わせて、自動的に浴室を暖房します。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

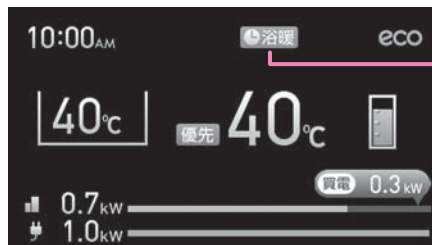
2 ＜ ＞で「浴暖予約」を選びSETを押す

3 ∧∨で「浴室暖房予約」を選びSETを押して「予約中」にする

設定内容
予約中↔解除中

お買い求め時
解除中

予約表示（橙）
浴室暖房乾燥機の予約中に点灯します

MENUを押す

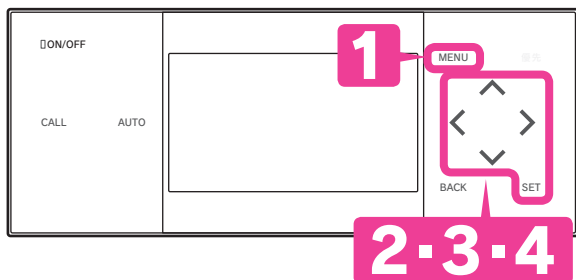
●通常の表示に戻ります。

予約表示
浴室暖房乾燥機の予約中に点灯します

解除するときはもう一度MENU画面から「**浴室暖房予約**」→「**解除中**」を選び予約表示を消灯させる

お知らせ

●この設定は台所リモコンのMENUスイッチを押した後、「**設定**」→「**暖房設定**」→「**浴室暖房予約**」を選択すると同じ設定ができます。
●浴室暖房乾燥機が接続されていないときは、MENUの「**浴暖予約**」は灰色の文字で表示され設定できません。

浴室暖房予約時刻 浴室暖房乾燥機の運転開始時刻を設定します。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ∧∨＜＞で「浴暖予約」を選びSETを押す

3 ∧∨で「浴室暖房予約時刻」を選びSETを押す

4 ∧∨＜＞で浴室暖房予約時刻を設定しSETを押す

時間：1時間ごとに変わります。
分　：1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

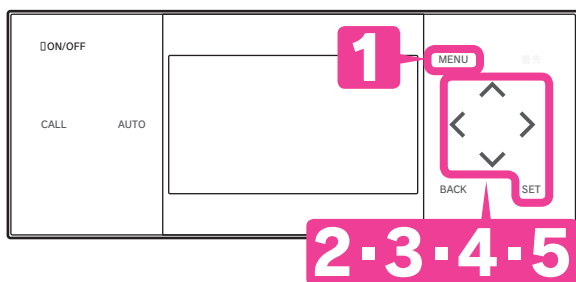
MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

お知らせ

●この設定は台所リモコンのMENUスイッチを押した後、「**設定**」→「**暖房設定**」→「**浴室暖房予約時刻**」を選択すると同じ設定ができます。
●浴室暖房乾燥機が接続されていないときは、MENUの「**浴暖予約**」は灰色の文字で表示され設定できません。

暖房静音 暖房能力を抑えた静かな運転の開始時刻と終了時刻を設定します。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ∧∨ ＞で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「暖房設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で「暖房静音」を選びSETを押す

5 ＜ ∧∨ ＞で開始時刻と終了時刻を設定しSETを押す

時間：1時間ごとに変わります。
分　：1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

解除するときはもう一度MENU画面から「**設定**」→「**暖房設定**」→「**暖房静音**」を選び、開始時刻と終了時刻を同じにしてSETを押す

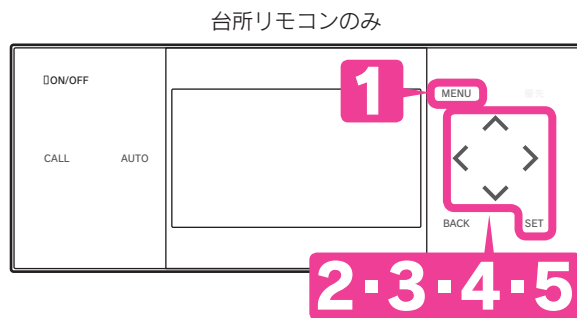
発電する

発電運転

■排熱利用給湯暖房ユニットが136-CF04型の場合

燃料電池発電ユニットの発電モードを切換えます。

●**自動**…学習機能によって自動的に発電します。
手動…その日の電気使用量に応じて発電量を調節します。**(通常は自動に設定してください。)**
停止…強制的に発電を停止します。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「発電」を選びSETを押す

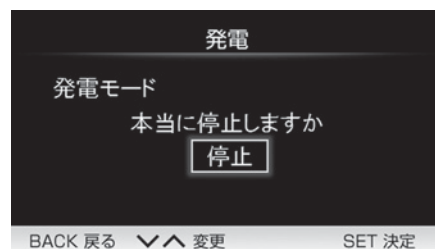
3 ∧∨で「発電モード」を選びSETを押す

4 ∧∨で発電モードを設定しSETを押す

設定内容
自動↔手動↔停止

お買い求め時
自動

「自動」または「手動」を選択した場合は、5の操作は不要です。
「停止」を選択した場合のみ誤操作確認画面を表示します。

5 もう一度SETを押す

誤操作確認画面

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

お知らせ

●停電や電源プラグを抜くなど通電していない状態が約24時間以上続いた場合は、再通電後に暗証番号を入力する画面を表示することがあります。暗証番号を入力しないと発電はできません。27ページ
また、学習機能の記憶が失われることがあります。
●ON/OFFスイッチの「**ON・OFF**」に関係なく設定できます。
●学習機能をより効果的に利用するためお湯はりの設定を行ってください。28ページ
●旅行などで48時間以上不在になる場合は、「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」で発電を停止させてください。50ページ
●自動モードでは発電時間が短い、お湯がたまりにくいなど最適な発電運転とならない場合は、手動モードをお試しください。
●「**手動**」を選択しても貯湯タンクがすべてお湯になると運転を停止します。一度停止すると当日中は発電しません。お湯を使用すると翌日以降に発電を行います。

発電の学習機能について

学習機能とは電気・給湯・ふろ運転などの使用時刻や使用量を記憶し、これに基づいてその日の最適な発電運転を決定する機能です。夏期などお湯の使用量が少ないと予想される場合は発電しないこともあります。
学習機能により運転しますので、お湯の使用量が不規則な場合は最適な発電運転が行えないことがあります。

●学習機能の流れ

使用量の記憶
日々の電気・給湯・ふろ運転などの使用時刻や使用量を記憶

→

使用量の予測
電気・給湯・ふろ運転などの使用時刻や使用量を予測

→

発電時間帯を決定
その日の省エネ性が高い発電時間帯を決定(※)

→

発電量を決定
電気使用量に合わせて発電量を決定

※予測と異なる使用状況の場合は使用状況に応じて変動します。また、発電しないこともあります。

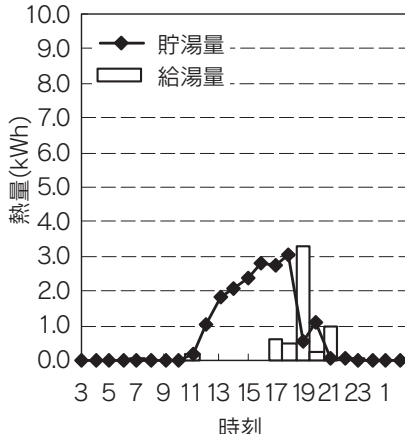
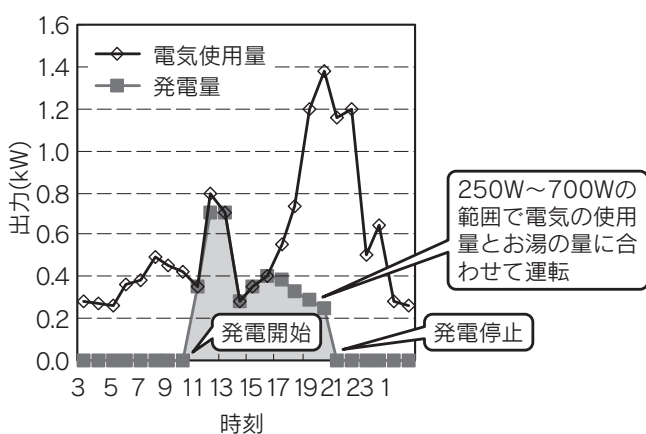
●使用状況に応じて運転を自動的に切換えます。

連続運転

標準的な量でほぼ毎日お湯を使う場合(毎日お湯はりする場合など)、燃料電池発電ユニットを連続して運転させます。
電気使用量に合わせて運転を行いますが、貯湯タンクがすべてお湯になると運転を停止します。
貯湯タンクがすべてお湯になり停止すると、当日中は発電しません。使用状況に応じて翌日以降に発電を行います。
(毎日お湯はりをする場合でも水温が高い時期には、連続運転をしないことがあります。)

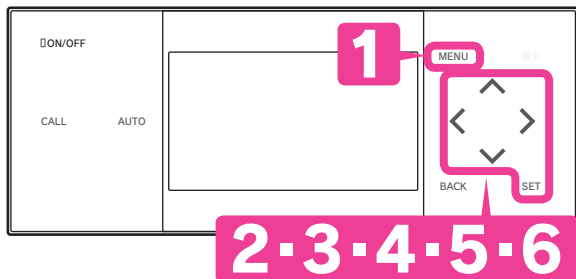
お湯のたまり具合により発電量を調節することがあります。

起動停止運転

お湯の使用量が少ない場合、燃料電池発電ユニットを起動・停止させる運転です。
一度停止すると当日中は発電しません。使用状況に応じて翌日以降に発電を行います。

発電する

■排熱利用給湯暖房ユニットが136-CF05型の場合

燃料電池発電ユニットの発電運転または停止を設定できます。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ∧∨＜＞で「発電」を選びSETを押す

3 ∧∨で「メンテナンス」を選びSETを押す

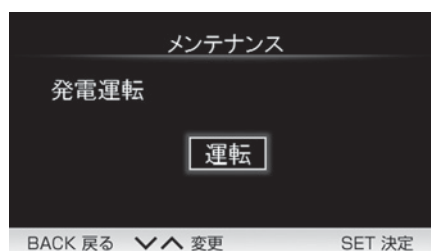
4 ∧∨で「発電運転」を選びSETを押す

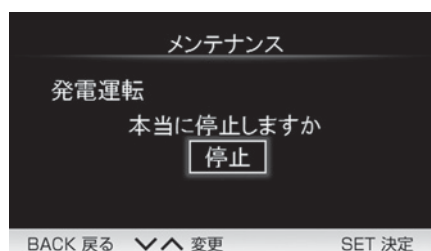
5 ∧∨で発電運転を設定しSETを押す

設定内容
運転↔停止

お買い求め時
運転

変更されました

「停止」に設定した場合
発電表示が点滅し、発電はすぐに停止しますが、燃料電池発電ユニットは約10～12時間かけて停止移行運転を行っております。停止移行運転が完了すると発電表示は消灯します。

「運転」を選択した場合は、6 の操作は不要です。
「停止」を選択した場合のみ誤操作確認画面を表示します。

6 もう一度SETを押す

誤操作確認画面

変更されました

MENUを押す

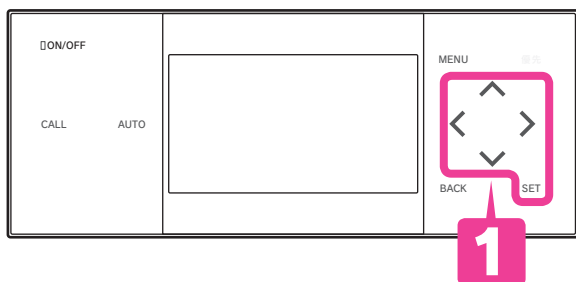
●通常の表示に戻ります。

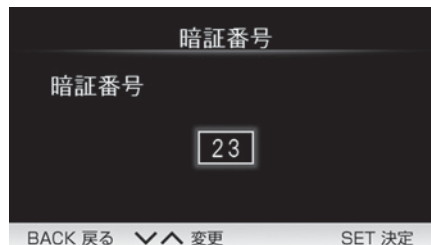
お知らせ

●「**暗証番号**」が点滅している場合は、暗証番号を設定してください。27ページ
●24時間以上停電した場合、停電復帰後は「**運転**」に設定されます。
●「**停止**」に設定すると、「**運転**」に設定を変更するまでは発電運転を行いません。
長期間（10日間以上）不在にするとき以外は、発電運転を停止させないでください。50ページ

暗証番号

通電していない状態が続いた場合は、再通電後に暗証番号を入力する画面を表示することがあります。

台所リモコンのみ

1 ∧∨で数字を選びSETを押す

1回ずつ押すと1単位、押し続けると早く変わります。

画面の暗証番号は表示例で実際とは異なります。

暗証番号が合っていれば発電ができるようになります。
暗証番号を間違えた場合は「**発電要手続き**」・「**メンテ会社へ連絡**」を交互に表示します。

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

お知らせ

●暗証番号とは機器を設置業者からお客様に引き渡される際に、お客様に登録していただく数字です。
　暗証番号を登録することで燃料電池発電ユニットが運転できる状態になります。
●暗証番号を入力しない状態でも発電以外の機能は使用できます。
●暗証番号を忘れた場合は担当のメンテナンス会社にご相談ください。

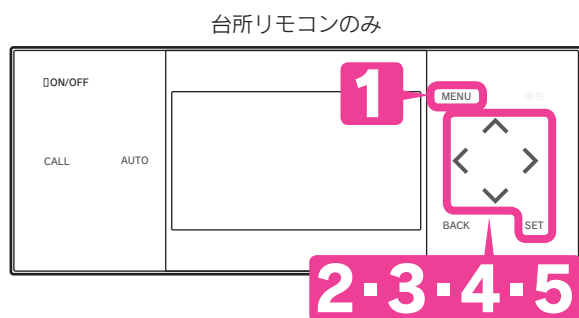
経済的な運転をする

お湯はりの設定

■排熱利用給湯暖房ユニット(136-CF04型)のみ

旅行などでおふろを使わない日に、お湯はり用のお湯をためないように発電運転を控えることができます。

●お湯はりを「**しない**」に設定した日には貯湯量を調節して経済的な運転を行います。
●今日・明日・明後日の3日間の設定ができます。(設定を変えなければお湯はりは「**する**」になります。)

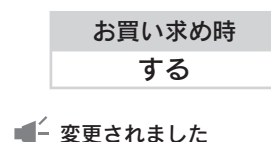
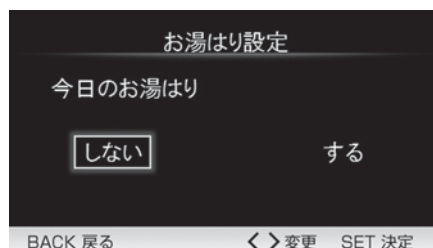
台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「発電」を選びSETを押す

3 ∧∨で「お湯はり設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で変更したい設定を選びSETを押す

今日のお湯はり
明日のお湯はり
明後日のお湯はり

5 ＜ ＞で内容を設定しSETを押す

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

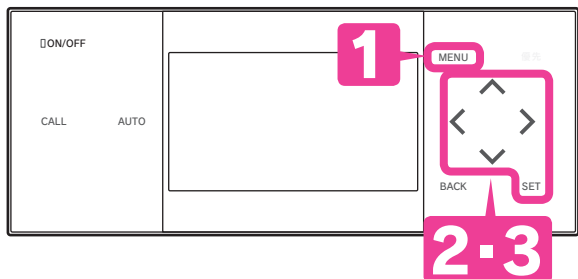
お知らせ

●ふろ予約を行うと、「**しない**」に設定した日でも学習機能に基づいた貯湯量の調節を行います。
●午前0時を過ぎると「**明後日**」の設定内容は「**明日**」の設定に、「**明日**」の設定内容は「**今日**」になります。
「**明後日**」の設定内容は「**する**」になります。

利用状況を確認する

発電予定・発電ユニット停止回数・マイコンメータ停止予定・積算発電電力

発電に関する利用状況が確認できます。

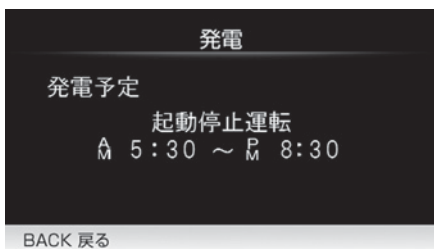
台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ＞ ∧ ∨で「発電」を選びSETを押す

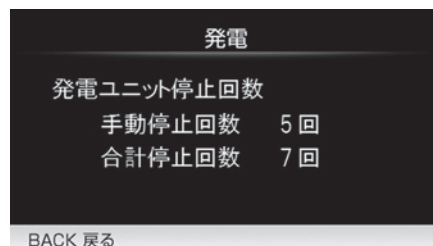
3 ∧ ∨で確認したい内容を選びSETを押す

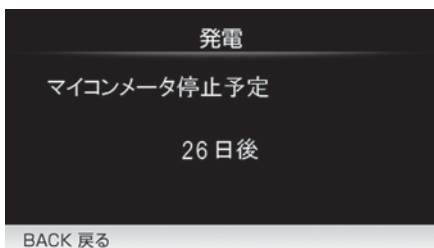
発電予定
発電ユニット停止回数
マイコンメータ停止予定
積算発電電力

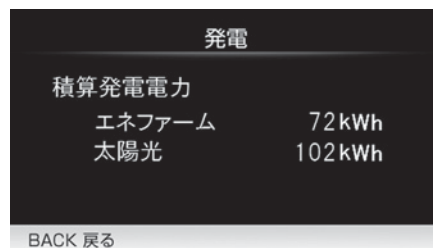
発電予定（136-CF04型のみ）

表示した時点の発電予定を表示します。
その後のお湯と電気の利用状況によっては予定通りに発電しないことがあります。

連続運転………一日中発電します。
起動停止運転…発電開始予定時刻と発電終了予定時刻を表示します。
--:--～--:--…発電予定はありません。
※貯湯タンクが満タンで停止した場合も、翌日まで--:--～--:--が表示されます。

発電ユニット停止回数（136-CF05型のみ）

- 「**手動停止回数**」は発電運転の設定、または手動不在停止により停止させた回数です。
- 「**合計停止回数**」は手動停止回数・不在停止回数など、すべての発電運転停止回数の合計です。

マイコンメータ停止予定

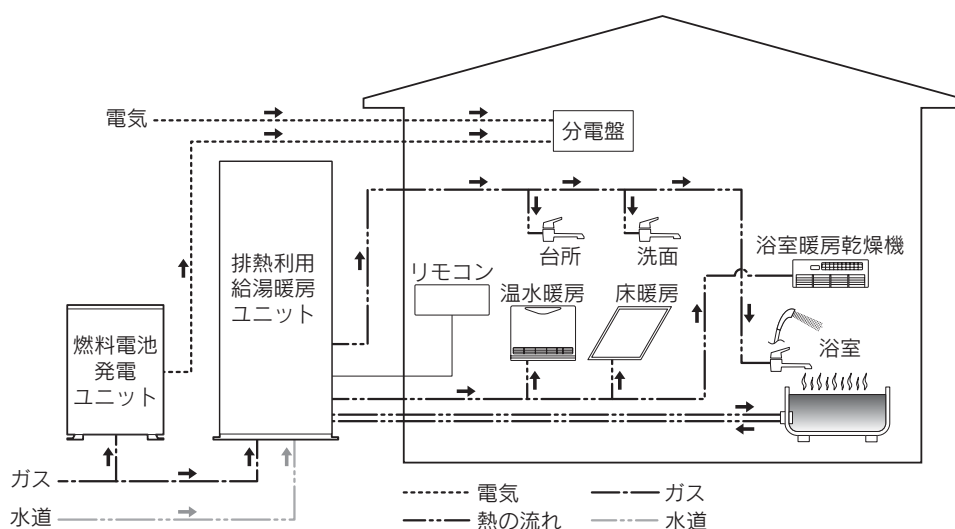
マイコンメーターの機能を確認するために燃料電池発電ユニットを停止させるまでの日数を表示します。

積算発電電力

- 「**エネファーム**」は燃料電池発電ユニットで発電した電力量の累計です。
- 「**太陽光**」は太陽光発電システムで発電した電力量の累計です。（マルチ計測ユニットを取付けた場合のみ表示します。）

MENUを押す

- 通常の表示に戻ります。

エネルギーモニタ・エネルックについて

エネファーム(排熱利用給湯暖房ユニット・燃料電池発電ユニット)で使用したガス・水道・電気の使用量・使用金額をリモコンに表示する機能です。また、使用量の目標を設定し実績と見比べることで日々のエネルギー利用状況をわかりやすく把握できます。

- ガス・水道・電気などのめやす使用量やめやす使用金額を表示します。実際の使用量や使用金額とは異なります。
- 金額は設定した単価に使用量を掛けた値(従量料金)を表示します。基本料金は含みません。
- 使用料金は各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示した金額で請求されることはありません。
- エネルックの機能を充分にお使いいただくためには、「**エネルックの設定**」と「**日時設定**」を行ってください。設定を行わないと、データを正しく表示しない場合があります。34・35・53ページ
- 「**エネルックの設定**」や別売部品の取付けなどによって表示する項目や内容が異なります。
- 矢印の配管の使用分をデータとして積算しています。

標準

別売部品などを取付けた場合

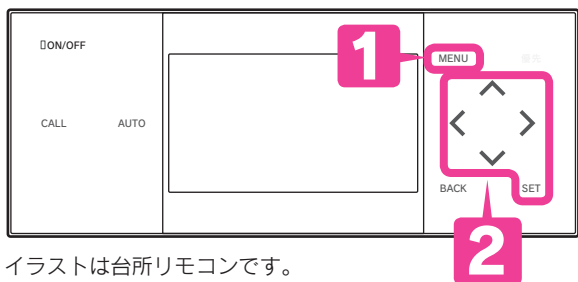
- 必要な別売部品など
  - ・マルチ計測ユニット
  - ・太陽光発電システム

※1：パルス機能付マイコンメーターが必要です。詳細は大阪ガスにお問合せください。
※2：水道計測については、お客さまの管轄水道局と調整の上、水道局が設置する課金用の水道メーターとは別に水量計測器を設置していただく必要があります。水道の計測については事前にご相談ください。

- マルチ計測ユニットと太陽光発電システムを取付けると太陽光発電の発電量・販売した電気量を表示します。
- 標準で表示するガス使用量は、排熱利用給湯暖房ユニットと燃料電池発電ユニットの消費量です。
  ガスコンロ・ガスファンヒーターなどによる消費量は含まれません。
  マルチ計測ユニットとパルス機能付マイコンメーターを取付けると家庭全体で使用したガス使用量を表示します。
- マルチ計測ユニットとパルス機能付水道メーターを取付けると家庭全体で使用した水道使用量を表示します。
  ただし、水道使用量を表示するとお湯使用量は表示しません。

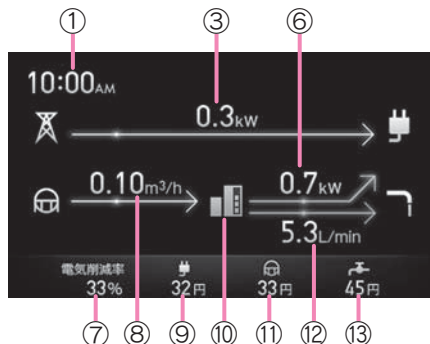
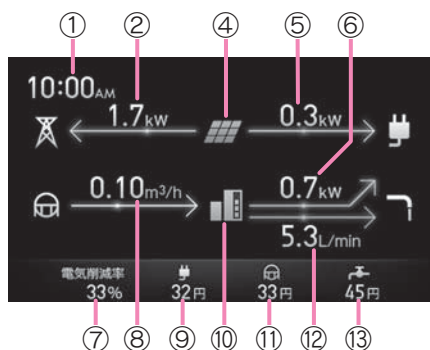
エネルギーモニタ

現在の電気やお湯の利用状況などがひと目でわかります。

台所リモコン・浴室リモコン

イラストは台所リモコンです。

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「エネルギーモニタ」を選びSETを押す

●太陽光発電システムを設置していない場合

●太陽光発電システムを設置している場合（※1）

①	現在時刻	⑧	ガス使用量
②	太陽光発電量（販売電気量）（※1）	⑨	電気使用料金（※4）
③	購入電気量	⑩	貯湯量表示 6ページ
④	太陽光発電システム（※1）	⑪	ガス使用料金（※4）
⑤	太陽光発電量（宅内使用量）（※1・2）	⑫	お湯使用量
⑥	エネファーム発電量（※2）	⑬	お湯（水道）使用料金（※4）
⑦	（購入）電気削減率（※3）		

※1 太陽光発電システムに関する表示は、別売のマルチ計測ユニットの取付け、「**エネルックの設定**」などにより表示することができます。

※2 燃料電池発電ユニットは発電準備中・停止移行中・待機中（停止中）に電力を消費します。
電気使用量には燃料電池発電ユニットの消費電力を含んでいます。

※3 （購入）電気削減率は次の式に基づいて算出しています。
（今日の発電量）÷（今日の電気使用量）×100（％）

※4 一日のめやすを表示します。

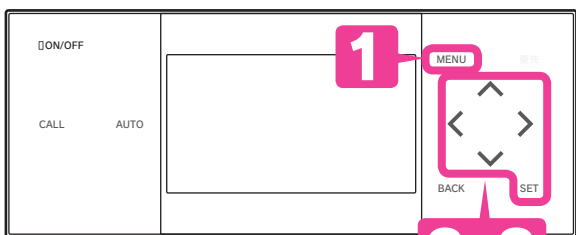
MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

利用状況を確認する

エネルック

電気・ガス・お湯・水道などのめやす使用量・めやす使用金額の実績を表示します。

台所リモコン・浴室リモコン

イラストは台所リモコンです。

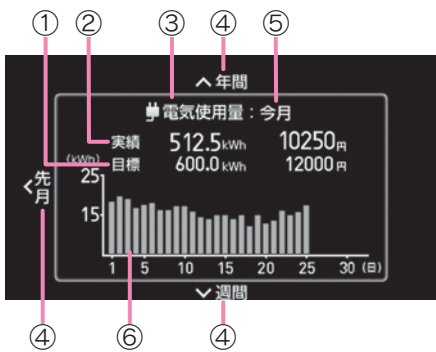
1 MENUを押す

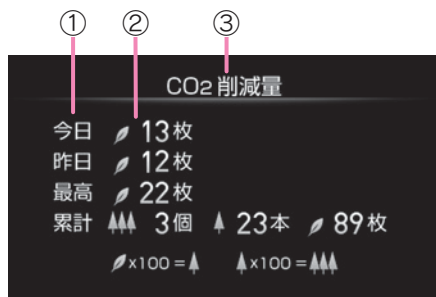
2 ＜ ＞で「エネルック」を選びSETを押す

3 ∧∨で確認したい内容を選びSETを押す

●今月の実績を表示します。
他の期間を表示したい場合は＜ ＞を押してください。
今日・昨日・今週・先週・今月・先月・年間の実績を表示することができます。(CO_2削減量は除く。)

BACKを押すと **2** の画面に戻り、続けて他の項目の実績が確認できます。

エネファーム発電量 太陽光発電量 電気使用量 購入電気 販売電気	ガス使用量 お湯(水道)使用量 光熱費 排熱利用量 BU熱利用量	CO_2削減量

画面は電気使用量の場合です。

①	目標値 (項目によっては表示しない場合があります。)
②	実績値(めやす)
③	項目
④	移動できる期間 (表示している期間によって、表示する位置が変わります。)
⑤	表示している期間
⑥	1時間・1日・1ヶ月の実績値(めやす)

①	期間
②	CO_2削減量の実績値(めやす) ・葉1枚あたりのCO_2削減量は0.14kg ・木1本あたりのCO_2削減量は14kg ・森1つあたりのCO_2削減量は1400kg
③	項目

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

3 の内容	説　明
エネファーム発電量	燃料電池発電ユニットで発電した電力量を表示します。
太陽光発電量(※1)	太陽光発電システムで発電した電力量を表示します。
電気使用量	家庭で使用したすべての電力量と目標値を表示します。
購入電気	電力会社から購入した電力量を表示します。
販売電気(※1)	太陽光発電システムで発電した電力のうち電力会社に販売した電力量を表示します。
ガス使用量(※2)	エネファームで使用したガスの量と目標値を表示します。
お湯(水道)使用量(※3)	お湯の場合は排熱利用給湯暖房ユニットで使用したお湯の量と目標値を表示します。 水道の場合は家庭全体で使用したすべての水道量と目標値を表示します。
光熱費	ガス・お湯(水道)・電気の目標値と一次エネルギー消費量を表示します。 ガス・お湯(水道)・電気いずれか1つ、または合計して表示します。 「**光熱費計算の設定**」で「**ガス＋電気**」を選択した場合のみ一次エネルギー消費量を表示します。
排熱利用量	燃料電池発電ユニットで発生した熱を使用して、給湯やふろ自動に利用した熱量を表示します。
BU熱利用量	補助熱源機を使用して、給湯・ふろ自動・暖房に利用した熱量を表示します。
CO_2削減量	CO_2の削減量を葉・木・森に置き換えて表示します。

※1太陽光発電システムの設置、電力会社との販売契約、別売のマルチ計測ユニットなどの取付けを行わないと表示しません。
※2標準で表示するガス使用量はエネファームの消費量です。
　ガスコンロ・ガスファンヒーターなどによる消費量は含まれません。
　マルチ計測ユニットとパルス機能付マイコンメーターを取付けると家庭全体で使用したガス使用量を表示します
※3マルチ計測ユニットとパルス機能付水道メーターを取付けると家庭全体で使用した水道使用量を表示します。
　ただし、水道使用量を表示するとお湯使用量は表示しません。

お知らせ

●エネルックの数値はエネルック非表示状態からエネルックを表示したときに、最新に更新されます。グラフは毎正時に更新されます。
●金額表示の単位は円ですが、円/日または円/月を表しています。
●一次エネルギー消費量とはエネファームが消費したガスのエネルギー量と購入電気を発電するために火力発電所で使用されたエネルギー量の合計です。
●一次エネルギー消費量は次の式に基づいて算出しています。
　ガス量(m^3)×(都市ガスの場合：12.5(kWh/m^3) / LPガスの場合：27.5(kWh/m^3))＋購入電気(kWh)/0.369(一次エネルギー換算量)
●CO_2削減量は杉に置き換えて表示しています。
　杉の木のCO_2吸収量：13.9kg-CO_2/年・本〔林業白書　平成9年より(50年杉・直径26cm・樹高22m)〕
●CO_2削減量は次の式に基づいて算出しています。
　CO_2削減量＝A＋B−C　(CO_2削減量がマイナスの場合は0と表示します。)
　A：燃料電池発電ユニットで発電したときに回収した熱を、一般的な給湯器でまかなった場合のCO_2排出量
　　〔一般的な給湯器の効率(高位発熱量基準) 76%〕
　B：発電した電気のうち家庭内で電気として利用された量を平均的な火力発電所でまかなった場合のCO_2排出量
　　(平均的な火力発電所のCO_2原単位　0.69kg-CO_2/kWh)
　C：発電のために消費した燃料のCO_2排出量
　　(燃料のCO_2原単位
　　都市ガスの場合：0.0509kg-CO_2/MJ
　　LPガスの場合：0.0590kg-CO_2/MJ)
●図のように一定期間ごとのデータを表示します。
●日時を設定するとエネルックのデータの積算・保存を開始します。
　時刻を設定した日はPM11:59までのデータを一日分として保存します。

エネルックの設定

エネルックやエネルギーモニタを表示するための設定です。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「エネルック設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で変更したい設定を選びSETを押す

5 ∧∨で変更したい設定を選びSETを押す

4 で光熱費計算方法を選択した場合は不要です。

6 ＜ ＞∧∨で内容を設定しSETを押す

単価設定	目標値設定	
購入電気単価　ガス単価 販売電気単価　水道単価	電気目標値 ガス目標値 お湯(水道)目標値	達成マーク表示有無 金額表示 エネルギー砂時計表示
画面は購入電気単価の場合です。 変更されました 1回ずつ押すと1単位、押し続けると10単位で変わります。	画面は電気目標値の場合です。 変更されました 1回ずつ押すと1単位、押し続けると10単位、更に押し続けると100単位で変わります。	画面は達成マーク表示有無の場合です。 変更されました

お買い求め時
電気：　20円 ガス：100円(都市ガス13A) 　　　　0円(LPガス) 水道：200円

お買い求め時
設定されていません

お買い求め時
達成マーク表示有無：する 金　　額　　表　　示：しない エネルギー砂時計表示：する

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

4 の設定	5 の設定	設定内容
単価設定	購入電気単価	お客様が契約している電力会社・ガス会社・水道局の「**検針票**」や「**使用量のお知らせ**」などを参考にして単価を設定
	販売電気単価(※2)	
	ガス単価	
	水道単価	
目標値設定	電気目標値	ひと月分の使用量の目標値を設定
	ガス目標値	
	お湯(水道)目標値(※1)	
表示設定	達成マーク表示有無	達成マークを表示するかしないかを設定
	達成マーク表示内容(※3)	通常画面で表示する達成マーク表示の内容を設定
	金額表示	エネルックで金額を表示させるときに設定
	削減率表示(※2)	太陽光発電システムを含めた表示内容にする設定
	エネルギー砂時計表示	エネルギー砂時計を表示するかしないかを設定 5ページ
光熱費計算方法	—	光熱費の計算内容を設定

お知らせ

※1 別売部品などを取付けた場合は「**お湯**」の表示が「**水道**」に変わります。
※2 別売部品などの取付けを行わないと表示しません。
※3 達成マーク表示有無を「**しない**」に設定した場合は表示しません。

CO_2削減量クリアの設定・エネルック設定初期化

初期化(クリア)したデータは元には戻りません。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 < >で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「エネルック設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で変更したい設定を選びSETを押す

CO_2削減量クリア
…エネルックのCO_2削減量の「**最高**」のみを初期化(クリア)

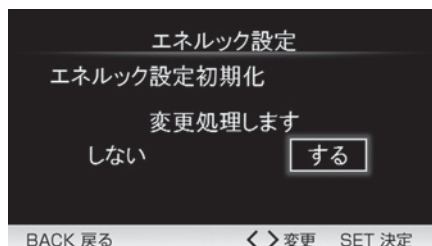
エネルック設定初期化
…「**エネルック設定**」の設定内容をお買い求め時の状態に戻したいときに設定

5 < >で「する」を選びSETを押す

●初期化(クリア)をしない場合は「**しない**」を選び、SETを押してください。**6** の操作は不要です。
●CO_2削減量クリアを選択した場合は、この操作でクリアし終了ます。**6** の操作は不要です。

エネルック設定初期化で「する」を選択した場合のみ誤操作確認画面を表示します。

6 < >で「する」を選びSETを押す

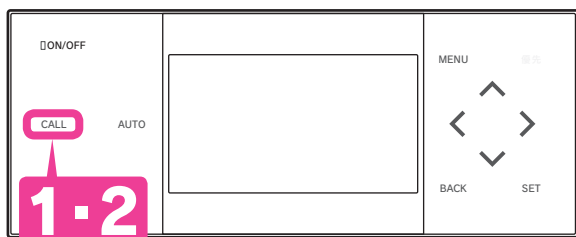
●エネルックの設定内容が初期化されます。

誤操作確認画面

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

インターホンで通話する

通話　台所リモコンと浴室リモコンで通話ができます。

台所リモコン・浴室リモコン

イラストは台所リモコンです。

1 CALLを押す(通話開始)

●呼び出し音が鳴り、CALLが白色から緑色に変わります。
●呼び出し音が終了したら、通話ができます。
●CALLを押した直後は浴室リモコンが「**話す**」側になっています。
●リモコンから約20cm程離れて話してください。話しはじめた方が優先になります。

CALL 点灯(緑)　「**話す**」側です。話せます。

CALL 点滅(緑)　「**聞く**」側です。相手が話していますので話せません。

2 CALLを押す(通話終了)

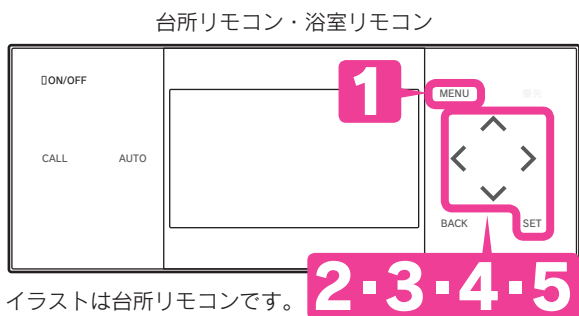
●話をしない場合や音がしない状態が約1分間続いた場合、CALLが緑色から白色に変わって終了します。
●通話をはじめてから約30分経過した場合も、通話が終了します。
●自動的に通話が終了するときは表示と音声でお知らせします。

お知らせ

●シャワー使用中やリモコンの周囲が騒々しいとき、「**話す**」側・「**聞く**」側の自動切換えができないことがあります。そのような場合はCALLを押しながら話してください。押しているリモコンが「**話す**」側になります。
●音声ガイドが流れている間は通話できません。
●話しはじめるときやスイッチ操作を行ったときなど、音声が途切れることがあります。
●リモコンに近づきすぎて話すと、相手のリモコンで音声が聞きとりにくいことがあります。
●音声ガイド音量を「00」(切)・「0」(切)に設定するとブザーでお知らせします。

リモコンの設定を変更する

リモコンの状態をお好みで変更することができます。

台所リモコン・浴室リモコン

イラストは台所リモコンです。

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で変更したい設定を選びSETを押す

4 ∧∨で変更したい設定を選びSETを押す

5 ＜ ＞で内容を設定しSETを押す

音声設定		
音声ガイド音量 音声ガイド速さ 音声ガイド音程	インターホン音量 操作音量	表示明るさ
音声設定 音声ガイド音量 00 0 1 2 3 BACK 戻る ＜＞変更 SET 決定 画面は音声ガイド音量の場合です。 変更されました 設定内容 ●音声ガイド音量 00←→0←→1←→2←→3 （※1）（※2）（小）（中）（大） ●音声ガイド速さ （遅い）1↔2↔3↔4↔5（速い） ●音声ガイド音程 （低い）1↔2↔3↔4↔5（高い）	音声設定 インターホン音量 1 2 3 BACK 戻る ＜＞変更 SET 決定 画面はインターホン音量の場合です。 変更されました 設定内容 ●インターホン音量 1←→2←→3 （小）（中）（大） ●操作音量 0←→1←→2←→3 （無）（小）（中）（大）	画面設定 表示明るさ 1 2 3 4 5 6 7 BACK 戻る ＜＞変更 SET 決定 変更されました 設定内容 （暗）1↔2…6↔7（明）

お買い求め時
音声ガイド音量：2 音声ガイド速さ：3 音声ガイド音程：3

お買い求め時
2

お買い求め時
4

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

音声ガイドの音量

●音量「00」(切)・「0」(切)に設定しても、ブザー音でお知らせすることがあります。
※1…音量を「00」(切)にすると音声ガイドは消えます。
※2…音量を「0」(切)にすると音声ガイドは消えますが、エネルックの音声ガイドは消えません。
●音量「1」に設定しても、「2」と同じ音量でお知らせすることがあります。

表示画面省エネモード

設定	内　　容
明-暗	排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない状態が約5分間続くと、表示画面のバックライトを暗くします。
明-消	排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない状態が約5分間続くと、表示画面のバックライトを消灯します。
点灯	常時バックライトを点灯します。

●「**明-暗**」・「**明-消**」に設定していても、給湯温度を55℃以上に設定しているときは、常に設定した明るさで表示します。
●「**明-暗**」・「**明-消**」は表示画面省エネモード中にリモコンを操作したり、他のリモコンで給湯温度を変更した場合、表示画面のバックライトは元の明るさに戻ります。排熱利用給湯暖房ユニットを使用しなければ約10秒後に再び表示画面省エネモードになります。(排熱利用給湯暖房ユニットが燃焼しても表示画面の明るさは変わりません。)

3 の設定	4 の設定	設定内容
音声設定	音声ガイド音量	音量調節
	音声ガイド速さ	速さ調節
	音声ガイド音程	音程調節
	インターホン音量	音量調節
	操作音量	スイッチを押したときの音量調節
画面設定	表示明るさ	表示画面の輝度(明るさ)調節
	表示コントラスト	コントラスト(濃淡)調節
	表示画面省エネモード	バックライトの点灯状態変更
	タッチスイッチ	スイッチに触れても操作ができない時間を設定 SETを押すと操作ができない時間のカウントダウンがスタートします。(リモコン表面を掃除する際にご利用ください。)

画面設定		
表示コントラスト	表示画面省エネモード	タッチスイッチ

変更されました
設定内容
(薄) 1↔2…8↔9 (濃)

お買い求め時
5

変更されました
設定内容
明-暗↔明-消↔点灯

お買い求め時
明-暗

ピピッ
設定内容
30～120秒(10秒単位)

お買い求め時
30秒

お知らせ

●リモコンごとに設定できます。

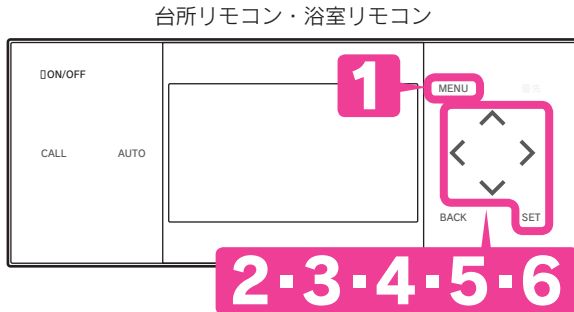
ご使用の前に
基本の使いかた
便利な使いかた
必要なときに

リモコンの設定を変更する

リモコン設定初期化

リモコンの設定をお買い求め時の状態に戻します。
初期化したデータは元には戻りません。

●「**音声設定**」「**画面設定**」の内容を初期化します。9ページ

台所リモコン・浴室リモコン

イラストは台所リモコンです。

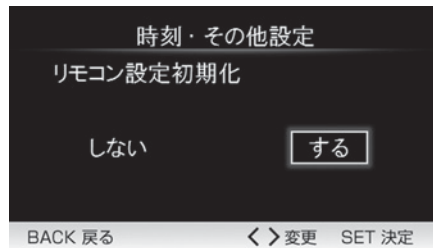
1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「設定」を選びSETを押す

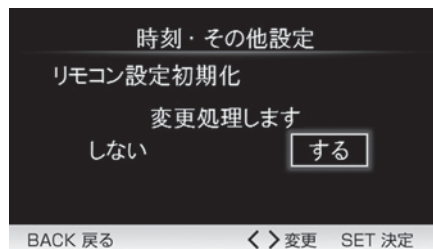
3 ＾ ˅で「時刻・その他設定」を選びSETを押す

4 ＾ ˅で「リモコン設定初期化」を選びSETを押す

5 ＜ ＞で「する」を選びSETを押す

●初期化をしない場合は「**しない**」を選び、SETを押してください。
6 の操作は不要です。

誤操作確認画面を表示します。

6 ＜ ＞で「する」を選びSETを押す

●リモコン設定が初期化されます。

誤操作確認画面

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

スマートフォンなどで操作する

●カラー液晶リモコンには無線LANモジュール(※1)が内蔵されています。無線LANルータとの接続設定を行うと、お客様が利用されているスマートフォンなどに本体情報が表示できるほか、スマートフォンなどからエネファームを操作することができます。

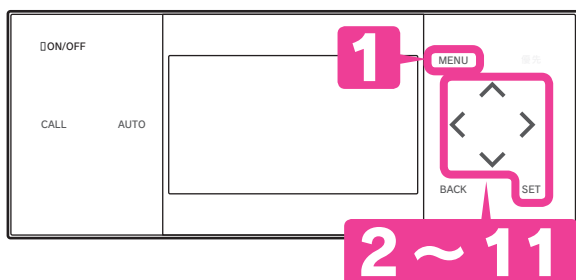
※1 この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、無線LANの接続を「**無効**」にした上、別添の「**大阪ガスのお問い合わせ先**」へご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、お困りになったときは、別添の「**大阪ガスのお問い合わせ先**」へご相談ください。

●別冊の「**スマートフォン用エネファームアプリ　かんたん接続設定ガイド**」も参照してください。

お知らせ

●リモコンのON/OFFスイッチが「**OFF**」になっている場合や、表示画面省エネモード 39ページ が「**明-消**」になっている場合は、スマートフォンなどからふろ自動の「**ON**」ができません。
●スマートフォンなどから床暖房を操作するためには、2001年9月以降発売の床暖房リモコンが設置されている必要があります。
●ご使用のルータやスマートフォンなどによっては本機能をご利用いただけない場合があります。

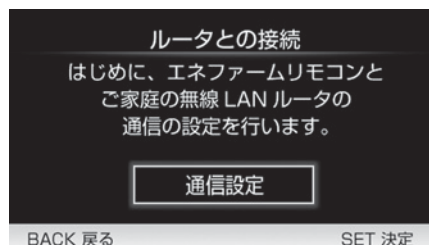
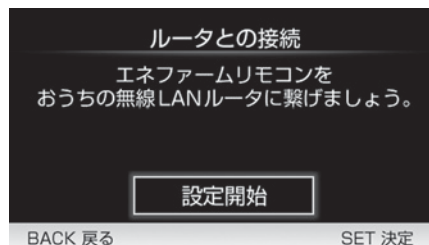
リモコンと無線LANルータの接続

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

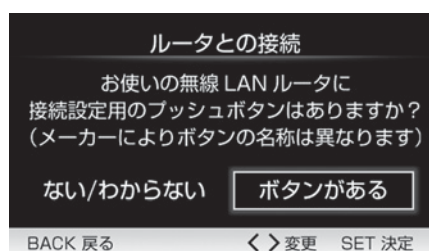
2 ＜　＞で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「無線LAN設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で「ルータとの接続」を選びSETを押す

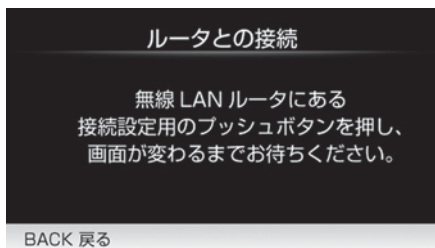
5 SETを押す

6 SETを押す

7 無線LANルータにボタンがあることを確認し、＜　＞で選びSETを押す

●無線LANルータに自動設定(WPS)機能を利用するためのボタンがあることを、無線LANルータの説明書で確認します。
●ボタンがあれば「**ボタンがある**」を選びます。ボタンがない場合やわからない場合は「**ない/わからない**」を選びます。

設定内容
ない/わからない↔ボタンがある

お買い求め時
ボタンがある

「ボタンがある」を選択した場合

8 無線LANルータのボタンを押す

●無線LANルータのボタンについては、無線LANルータの説明書を参照してください。
●接続時間は機種や電波の状態によって変動します。
●接続に失敗した場合はもう一度押してください。

下の画面に変わるまで少し時間がかかります。

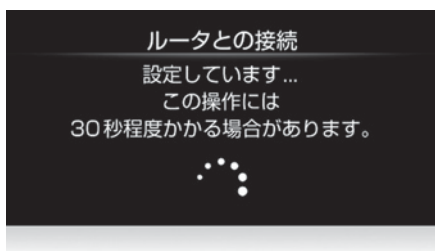
「ない/わからない」を選択した場合

8 ∧∨でネットワークを選びSETを押す

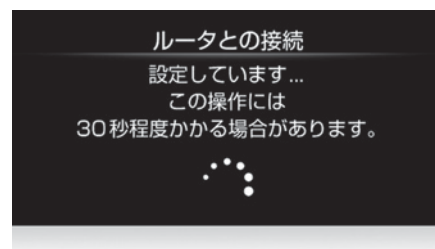
●お使いのスマートフォンなどを接続しているネットワークの名前を選択してください。

9 SETを押す

10 ∧∨＜＞でネットワークに設定されたパスワードを入力し、「接続する」を選択しSETを押す

●接続時間は機種や電波の状態によって変動します。
●接続に失敗した場合は、もう一度パスワードを入力してください。

11 SETを押す

SETを押し、その後MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

スマートフォンなどで操作する

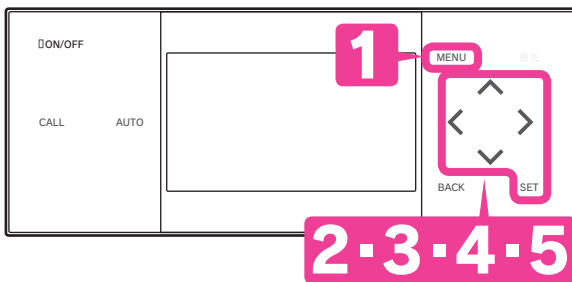
リモコンとスマートフォンなどの接続

●スマートフォンなどで専用アプリ「**エネファームアプリ**」をダウンロードしてください。
●アプリのガイダンスに従って、アプリと台所リモコンを相互承認(ペアリング)します。

スマートフォンなどの設定

●別冊の「**スマートフォン用エネファームアプリ　かんたん接続設定ガイド**」に従って操作をしてください。

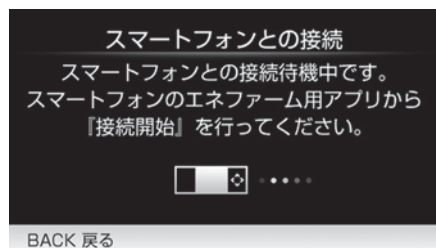
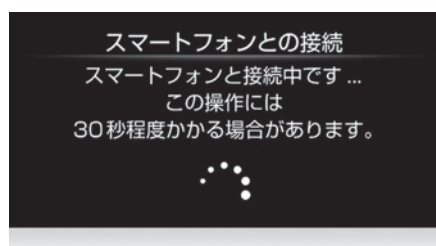
台所リモコンの設定

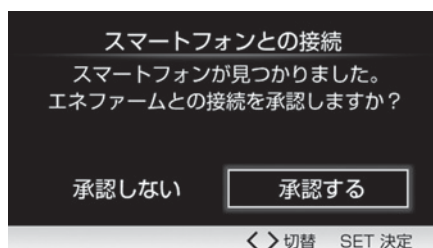
台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜　＞で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「無線LAN設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で「スマートフォンとの接続」を選びSETを押す

●この操作を行った後、別紙の「**スマートフォン用エネファームアプリ　かんたん接続設定ガイド**」に従ってスマートフォンなどの操作を行ってください。
●スマートフォンなどの操作を行うと接続を開始します。
●接続時間は機種や電波の状態によって変動します。

左の画面が表示されてから約3分間経過してもアプリの「**接続開始**」が行われない場合は、タイムアップの画面になります。その場合は **1** から操作をやり直してください。

5 ＜　＞で「承認する」を選びSETを押す

●スマートフォンなどとの接続が完了します。

左の画面が表示されてから約50秒間操作をしないと接続が完了せずに終了し、スマートフォンなどには接続されません。
その場合は 1 から操作をやり直してください。

SETを押し、その後MENUを押す

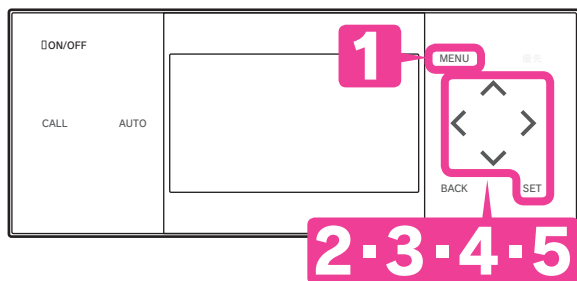
●通常の表示に戻ります。

お知らせ

●「**リモコンと無線LANルータの接続**」が完了していない場合はリモコンとスマートフォンなどを接続することはできません。
●リモコンに登録できるスマートフォンなどは10台です。
すでに10台登録している状態で追加登録する場合は、「**スマートフォンとの接続全削除**」ですべての登録を削除し、再度1台づつ登録を行ってください。46ページ

スマートフォンとの接続全削除・無線LAN無効設定

削除(無効)したデータは元には戻りません。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ∧∨＜＞で「設定」を選びSETを押す

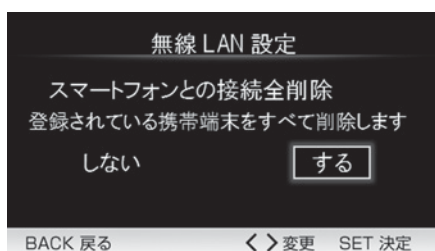
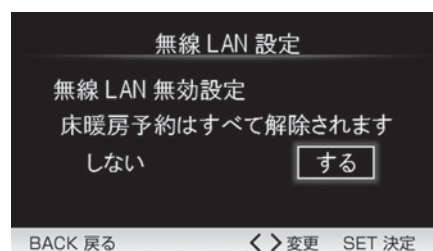
3 ∧∨で「無線LAN設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で変更したい設定を選びSETを押す

スマートフォンとの接続全削除
…「**リモコンとスマートフォンなどの接続**」で登録されたすべてのスマートフォンなどを削除します。

無線LAN無効設定
…「**リモコンと無線LANルータの接続**」で登録された無線LANルータとの接続を無効化します。

5 ＜＞で「する」を選びSETを押す

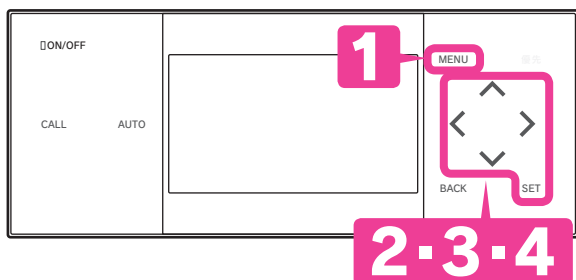
●削除(解除)しない場合は「**しない**」を選び、SETを押してください。

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

お知らせ

●無線LAN無効設定を「**する**」に設定すると、スマートフォンから設定した床暖房の予約がすべて解除されます。

MACアドレス確認　MACアドレスを表示します。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜　＞で「設定」を選びSETを押す

3 ＾∨で「無線LAN設定」を選びSETを押す

4 ＾∨で「MACアドレス確認」を選びSETを押す

●MACアドレスを表示します。

画面のMACアドレスは表示例で実際とは異なります。

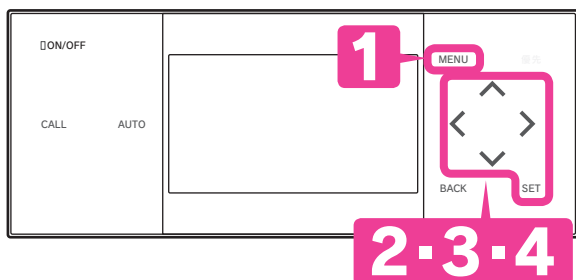
MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

スマートフォンなどで操作する

床暖房予約確認

スマートフォンで設定した暖房端末機の予約と予約時刻が台所リモコンで確認できます。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「無線LAN設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で「床暖房予約確認」を選びSETを押す

予約表示(橙)
暖房運転を予約しています

MENUを押す

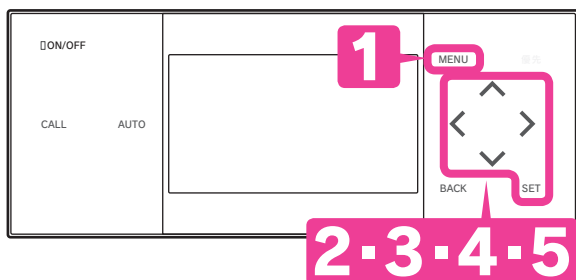
●通常の表示に戻ります。

お知らせ

●リモコンから床暖房の予約や予約時刻の設定はできません。
●スマートフォンと床暖房リモコンの両方で予約を行った場合は、予約時間通りに運転しないことがあります。
予約はどちらか一方で行うことをおすすめします。

床暖房予約全解除

「**床暖房予約確認**」で設定されている予約をすべて解除し、予約時刻をお買い求めの状態に戻します。

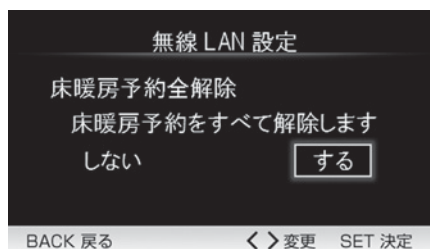
台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「設定」を選びSETを押す

3 ＾ ＜で「無線LAN設定」を選びSETを押す

4 ＾ ＜で「床暖予約全解除」を選びSETを押す

5 ＜ ＞で「する」を選びSETを押す

●解除しない場合は「**しない**」を選び、SETを押してください。

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

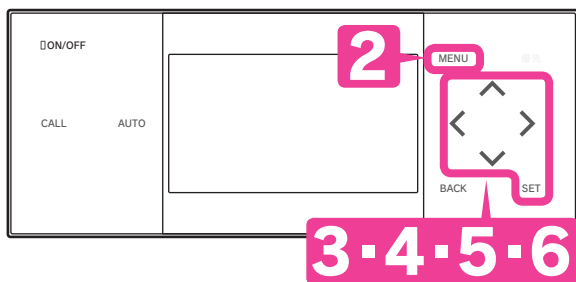
お知らせ

●床暖房リモコンで設定した予約はこの操作では解除できません。
床暖房リモコンで設定した予約の解除方法は床暖房リモコンの取扱説明書で確認してください。

運転しないようにする

ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)

旅行などで連続で使用しない場合にご利用ください。
　排熱利用給湯暖房ユニット(136-CF04型)の場合：48時間以上連続
　排熱利用給湯暖房ユニット(136-CF05型)の場合：10日間以上連続
凍結予防以外のすべての運転(発電・給湯・暖房など)を停止します。

台所リモコンのみ

1 接続している暖房端末機の運転停止・予約解除をする

19～21・49ページ

暖房運転中は「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」はできません。
暖房運転の予約中に「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を設定しても、予約時刻になると解除され暖房運転を開始します。

2 MENUを押す

3 ＜∧∨＞で「発電」を選びSETを押す

4 ∧∨で「不在停止」を選びSETを押す

5 ＜＞で不在停止を設定しSETを押す

お買い求め時
OFF

変更されました

「OFF」を選択した場合は、**6**の操作は不要です。
「ON」を選択した場合のみ誤操作確認画面を表示します。

6 もう一度SETを押す

●不在停止中は表示画面を消灯します。

変更されました

誤操作確認画面

解除するときは**5**で「OFF」を選びSETを押す

●ON/OFFスイッチを押すことや、接続している暖房端末機の運転を開始させることでも解除できます。

お知らせ

●「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を設定しないとリモコンのON/OFFスイッチを「**OFF**」にしても発電を行います。
●排熱利用給湯暖房ユニットを連続で使用しない場合は、自動的に「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」になります。
　排熱利用給湯暖房ユニット(136-CF04型)の場合
　　：48時間以上連続
　排熱利用給湯暖房ユニット(136-CF05型)の場合
　　：10日間以上連続
●「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を設定しても凍結予防を行うために補助熱源機が燃焼することがあります。電源・ガスを切らないでください。
●冬期に分電盤の専用ブレーカーを「**切**」(屋外防水コンセントから電源を取っている場合は、電源プラグを抜く)にした場合は、凍結予防のため「**機器本体説明編**」の「**凍結のおそれがあるとき**」の「**排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法**」に従って水を抜いてください。
●「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を頻繁に行うと機器の寿命低下の原因になります。

おふろの配管を洗浄する

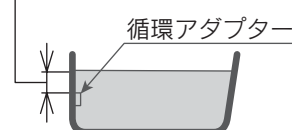
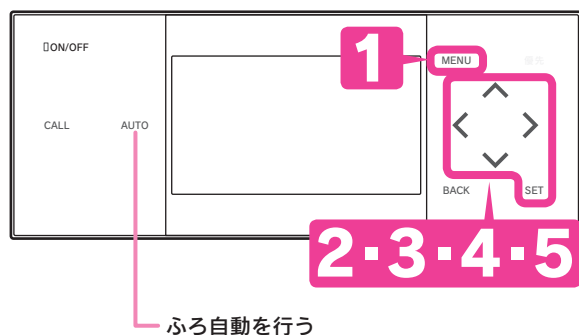
配管クリーン

ふろ自動終了後、浴そうの排水栓を抜くと自動的にふろ配管内にきれいな水を流して残り湯を排水します。

●以下を行うと配管クリーンが作動します。
1.AUTOを押してふろ自動を行う。11ページ
2.ふろ自動終了（AUTOが白色の点灯）後、おふろの排水栓を抜く。
（AUTOが緑色に点灯している場合は、AUTOを押して白色の点灯にしてください。）

配管クリーンの動き

浴そうのお湯が循環アダプター付近になるときれいな水を約5リットル流して配管内をすすぎます。

●浴そうのお湯が循環アダプター上部から**約10cm以上**必要です。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「ふろ設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で「配管クリーン」を選びSETを押す

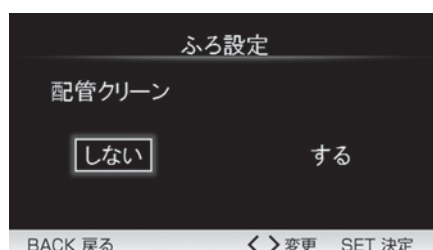
5 ＜ ＞で配管クリーンを設定しSETを押す

お買い求め時
する

変更されました

MENUを押す

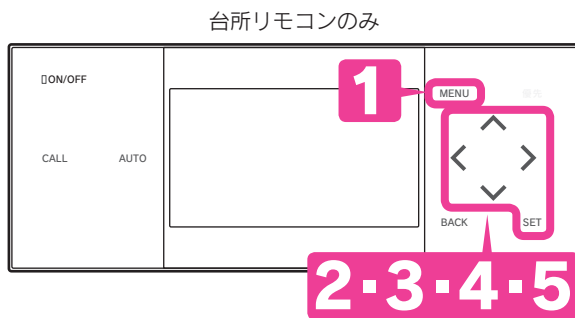
●通常の表示に戻ります。

配管クリーン中に表示します

配管クリーン作動中に中止するときは
ON/OFFを押す

お知らせ

●以下の場合は配管クリーンを「**する**」に設定しても作動しません。
・浴そうの排水栓を抜く前のお湯（水）の量が循環アダプター上部から約10cm以上ないとき
・浴そうのお湯（水）を排水中にON/OFFスイッチが「**OFF**」のとき
・浴そうのお湯（水）を排水中にAUTOスイッチが「**入**」のとき
・浴そうのお湯（水）を排水中にシャワーやじゃ口でお湯を使用しているとき

連絡先の登録と表示

メンテナンス会社の電話番号を登録して、必要なときに表示させることができます。

台所リモコンのみ

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「設定」を選びSETを押す

3 ⌃⌄で「時刻・その他設定」を選びSETを押す

4 ⌃⌄で「連絡先登録」を選びSETを押す

●連絡先を表示します。
●連絡先を登録する場合は**5**を行ってください。

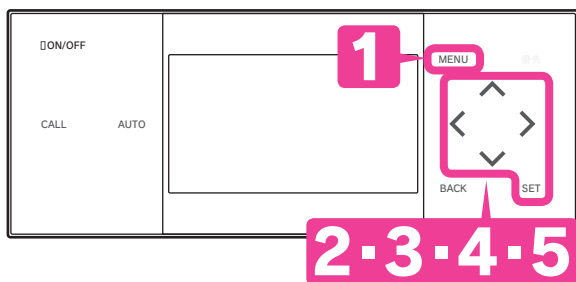
5 ⌃⌄＜ ＞で連絡先を設定しSETを押す

設定内容
0〜9、ー(ハイフン)、□(スペース)、.(ドット)

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

時刻を設定する

日時設定・時刻表示　時刻合わせができます。

1 MENUを押す

2 < >で「設定」を選びSETを押す

3 ∧∨で「時刻・その他設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で変更したい設定を選びSETを押す

日時設定…西暦・月日・現在時刻を設定
時刻表示…12H（AM・PM表示）か24H（24時間表示）を選択

5 ∧∨< >で内容を設定しSETを押す

設定内容
西暦・月日・時間：1ずつ変わります。
分：1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

お買い求め時
12H

MENUを押す

●通常の表示に戻ります。

お知らせ

●リモコンに「**現在時刻を設定してください**」と表示しているときは **5** の操作を行い、「**日時設定**」を行ってください。
「**日時設定**」を行わないと他の操作ができません。
●停電した後は現在時刻が合っていることを確認してください。
●スマートフォンなどと接続している場合は、自動的に現在時刻が補正される場合があります。

リモコン音声ガイド一覧

●操作の一例を表示しています。

■台所リモコンでの操作

操作・条件			台所リモコンから出る音声ガイド		音量「00」「0」のとき
ON/OFFを押す(ON)	48℃以下		♪		
	55℃以上		♪あついお湯が出ます(※)	浴室リモコンも 同じ音声が出ます	台所/浴室 「ピピッ」
	日時が未設定		時計を合わせてください		
	ON/OFFを押す(OFF)		♪		
給湯温度を変更する	台所リモコンが 優先のとき	48℃以下	お湯の温度が○○℃に変更されました	浴室リモコンも 同じ音声が出ます	浴室 「ピピッ」
		55℃以上	お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※)	浴室リモコンも 同じ音声が出ます	浴室 「ピピッ」
AUTOを押す			ふろ温度○○℃でお湯はりをします		
	お湯はり終了後		♪おふろが沸きました(※)		
ふろ自動を予約する	日時が設定済み		お湯はりが(午前・午後)○○時○○分に予約されました		
	日時が未設定		ピピピピッ　予約できません　時計を合わせてください		
追いだきをする			追いだきをします		
	沸き上げ後		♪おふろが沸きました(※)		
通話が自動的に終了するとき			通話を終了します	浴室リモコンも 同じ音声が出ます	
設定を変更し、SETを押したとき			変更されました		
操作を誤ったとき			ピピピピッ　受付できません　確認してください		台所 「ピピピピッ」

お知らせ

●音量を「00」(切)・「0」(切)にしても［　　　］内の音でお知らせします。
●♪はメロディーが鳴ることを表しています。
●利用状況に関する音声ガイドと、スマートフォンなどで操作したときの音声ガイドは56ページを参照してください。
※「**音声ガイド音量**」の設定を「1」に設定しても「2」と同じ音量でお知らせします。

■浴室リモコンでの操作

操作・条件			浴室リモコンから出る音声ガイド		音量「00」「0」のとき
ON/OFFを押す(ON)	48℃以下		♪		
	55℃以上		♪あついお湯が出ます(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所/浴室「ピピッ」
	日時が未設定		時計を合わせてください		
	ON/OFFを押す(OFF)		♪		
浴室リモコンが優先のとき 優先を変更する	台所リモコンで以前設定していた温度が48℃以下		お湯の温度が○○℃に変更されました	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所/浴室「ピピッ」
	台所リモコンで以前設定していた温度が55℃以上		お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所/浴室「ピピッ」
台所リモコンが優先のとき 優先を変更する	浴室リモコンで以前設定していた温度が48℃以下		お湯の温度が○○℃に変更されました	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所「ピピッ」
	浴室リモコンで以前設定していた温度が55℃以上		お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所「ピピッ」
給湯温度を変更する	浴室リモコン優先のとき	48℃以下	お湯の温度が○○℃に変更されました	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所「ピピッ」
		55℃以上	お湯の温度が○○℃に変更されました あついお湯が出ます(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	台所「ピピッ」
AUTOを押す			ふろ温度○○℃でお湯はりをします		
	お湯はり終了後		♪おふろが沸きました(※)	台所リモコンも同じ音声が出ます	
ふろ温度を変更する			ふろ温度が○○℃に変更されました		
水位キープを解除する			水位キープを解除します		
	水位キープを開始する		水位キープを開始します		
追いだきをする			追いだきをします		
たし湯をする			たし湯をします		
たし水をする			たし水をします		
通話が自動的に終了するとき			通話を終了します	台所リモコンも同じ音声が出ます	
設定を変更し、SET を押したとき			変更されました		
操作を誤ったとき			ピピピピッ　受付できません　確認してください		浴室「ピピピピッ」

お知らせ

●音量を「00」(切)・「0」(切)にしても［　　］内の音でお知らせします。
●♪はメロディーが鳴ることを表しています。
●利用状況に関する音声ガイドは56ページを参照してください。
※「**音声ガイド音量**」の設定を「1」に設定しても「2」と同じ音量でお知らせします。

リモコン音声ガイド一覧

■利用状況に関する音声ガイド

項　目		音声ガイド
エネルック	エネファーム発電量	発電の情報を表示します
	太陽光発電量	
	電気使用量	電気の情報を表示します
	購入電気	
	販売電気	
	ガス使用量	ガスの情報を表示します
	お湯使用量	お湯の情報を表示します
	水道使用量	水の情報を表示します
	光熱費	光熱費の情報を表示します
	排熱利用量	熱の利用状況を表示します
	BU熱利用量	
エネルギーモニタ		現在の電気と熱の利用状況を表示します
CO_2削減量		CO_2削減量の情報を表示します 昨日は記録を更新しました（※）

お知らせ

●音声ガイドは操作したリモコンから発声します。
※は昨日のCO_2削減量の記録を更新した場合です。

■スマートフォンなどで操作したときの音声ガイド

●台所リモコンから発声します。

操作・条件	音声ガイド
ふろ自動を開始する	ピピッ　お湯はりを開始します
ふろ自動を停止する	ピピッ　ふろ自動を停止します
ふろ自動を予約する	ピピッ　お湯はりが（午前・午後）○○時○○分に予約されました
ふろ予約時刻や床暖房予約時刻を変更したとき 床暖房の予約・解除をしたとき	ピピッ　設定しました
ふろ予約を解除する	ピピッ　解除しました
床暖房を開始する	ピピッ　床暖房を開始します
床暖房を停止する	ピピッ　床暖房を停止します
床暖房をすべて停止したとき	ピピッ　すべての床暖房を停止します

■暖房端末機による操作

操作・条件	音声ガイド
ミストサウナの準備ができたとき	♪ミストサウナの準備ができました

お知らせ

●音声ガイドは台所リモコンから発声します。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

	こんなときは	確認してください
給湯	初めて点火するとき、なかなか点火しない	●ガス配管内に空気が入っているためです。 給湯栓を閉め、再度開く操作を繰り返してください。
	給湯栓を開けてもお湯が出ない	●少流量では点火しません。給湯栓をもっと開けて使用してください。 点火できる最小の流量は毎分約3リットルです。 ●ガス栓または給水元栓が閉まっているためです。 ガス栓または給水元栓を開けてください。 ●断水していませんか。 断水のときは排熱利用給湯暖房ユニットに給水されないためお湯が出ません。 断水が復旧してから水張りを行ってください。 （「**機器本体操作説明編**」の「**凍結のおそれがあるとき**」の「**再使用方法（排熱利用給湯暖房ユニットの水張り）**」参照） ●マイコンメーターがガスを遮断しているためです。 ●水フィルターにゴミなどがつまっているためです。 （「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**水フィルターの掃除**」参照） ●配管が凍結していませんか。 凍結が解消するまでお待ちください。 ●ON/OFFスイッチが「**OFF**」になっているためです。
	お湯がぬるい（設定した温度にならない）	●給湯温度の表示はめやすです。配管の放熱や使用状況により、設定温度通りのお湯が出ない場合があります。 ●配管内に残っている水が出てくることがあります。 お湯が出るまでしばらくお待ちください。 ●給湯温度は適切ですか。 給湯温度を見直してください。 10ページ ●サーモスタット付混合水栓を使用している場合は給湯温度にならない場合があります。 リモコンの設定温度を使用するお湯の温度より少し（約5℃）高めにしてください。 ●出湯配管が水漏れしていませんか。 ●先止め式の混合水栓の場合は、必ず逆止弁付のものを取付けてください。高圧力地域などで混合水栓の給水側から給湯側に逆流し、シャワーやじゃ口を使用するときに快適性が確保できない場合があります。 ●排熱利用給湯暖房ユニットが136-CF05型の場合 逃し弁のゴミかみによりお湯（水）が漏れていませんか。逃し弁を確認してください。 （「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**逃し弁の確認**」参照）
	お湯の温度が上下したり水になったりする	●シャワーやじゃ口でお湯を使用中にお湯はりやたし湯を行ったためです。 ●お湯を出したり、止めたりを繰り返したためです。 ●2箇所以上でお湯を使用したためです。 ●シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したためです。 ●水道の圧力が変動していたためです。 ●台所などで少ししかお湯を出していないためです。（水になります。） ●使用状況によっては、お湯の温度が安定しないことがあります。
	給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	●排熱利用給湯暖房ユニットから給湯栓まで距離があり、配管内に水が残っているため多少時間がかかります。
	低温のお湯が出ない	●水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開けて水と混ぜて使用してください。
	高温のお湯が出ない	●ガス栓が全開になっていないためです。 ●給湯温度の設定が低いためです。 ●湯はり中断を「**しない**」に設定しているためです。 16ページ
	給湯温度の調節ができない	●操作しているリモコンに「**優先**」を表示していない場合は調節できません。 10ページ
	貯湯量表示が点灯しているのに、補助熱源機燃焼表示が点灯する	●貯湯量表示は約42℃以上のお湯の量を表示しています。 ●給湯温度によっては貯湯量表示が点灯していても、出湯すると補助熱源機が燃焼することがあります。
	使用中に停電になり、再通電後もお湯が出ない	●一度電源が切れると、再通電後は自動的には点火しません。 「**基本の使いかた**」に従ってやり直してください。 10～27ページ

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
給湯	お湯の温度や量・湯量が不安定なことがある	●他の給湯栓を同時に使用するとお湯が熱くなったり、ぬるくなったり、お湯の量が少なくなることがあります。 ●水道の圧力や配管条件によってはお湯の量が減る場合があります。 ●湯はり中断を「**しない**」に設定しているためです。16ページ ●貯湯タンクのお湯が少なくなったときに、暖房端末機の運転や追いだきなどと同時にシャワーやじゃ口のお湯を使用するとお湯の量が減少することがあります。
給湯	運転時に点火・消火を繰り返すことがある	●補助熱源機がお湯の温度を調節するために点火・消火を繰り返します。
給湯	お湯から油が出る お湯がくさい	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。
給湯	お湯が白く見える	●水中に溶けていた空気が細かい泡となっているためです。
給湯	汚れたお湯が出る	●断水や近くで水道工事はありませんでしたか。 ●貯湯タンクのお手入れをしていますか。(「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**排熱利用給湯暖房ユニットのお手入れ(給湯回路の洗浄)**」参照)
給湯	浴そうやお湯(水)が青く見える	●配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがあります。 (使い始めに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。) 汚れを放置すると取れにくくなるので、こまめに掃除してください。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。その後、水で充分に洗い流してください。

	こんなときは	確認してください
ふろ	ふろ温度で設定した温度に沸き上がらない	●お湯をはる間にふろ温度を低く設定すると、ふろ温度より高くなることがあります。
ふろ	ふろのお湯がぬるいまたはあつい	●循環アダプターにゴミがつまっていたり、循環アダプターが確実に取付けられていないためです。(「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照)
ふろ	お湯はり量が少ない	●貯湯タンクのお湯が少ない状態でふろ自動を行なったときに、暖房端末機の運転と同時にシャワーやじゃ口でお湯を使用するとお湯はり量が減少することがあります。
ふろ	お湯はり量が多い	●残り湯が設定水量付近にある状態でふろ自動を行うと、お湯はり量が増えることがあります。 ●循環アダプターのフィルターにゴミなどがつまっているためです。 (「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照)
ふろ	お湯はりの始めに水が出る	●給水温度が高い場合やふろ温度を低くしている場合は、お湯はりの始めに水が出ることがあります。 ●追いだき・たし湯・ふろ保温の開始後しばらくは、配管内に残っている水が出てくることがあります。 ●外気温が低いとき、凍結予防のためポンプが作動して水が出てくることがあります。
ふろ	お湯はり中やたし湯中に浴そうにお湯が入ったり止まったりする	●ふろ自動はお湯の温度や量をチェックしながらお湯はりします。 ●湯はり中断を「**する**」に設定して、ふろ自動やたし湯中にシャワーやじゃ口でお湯を使用するとふろ自動やたし湯が中断されます。
ふろ	お湯はり終了時刻が予約した時刻に終わらない	●浴そうの残り湯の状態や水圧などの条件により前後します。
ふろ	ふろ温度やお湯の量が設定通りにならない	●ふろ自動を中止した場合や、たし湯やたし水をしたときは、ふろ温度が低くなったり、おふろのお湯の量が多くなったりすることがあります。 ●お湯をはり終える前に入浴すると設定したお湯の温度や量にならないことがあります。
ふろ	循環アダプターから泡が出る	●排熱利用給湯暖房ユニット内でお湯の中に空気が混入したり、水中に溶けていた空気が分離するためです。
ふろ	ふろ自動に通常より時間がかかる	●ふろ自動中にシャワーやじゃ口でお湯を使用すると、お湯はりを中断するため時間がかかります。お湯はりを中断させたくない場合は、湯はり中断を「**しない**」に設定してください。16ページ ●ふろ自動のお湯はり時間は給水温度によって、夏期は短く冬期は長くなります。 ●残り湯がある場合、またはお湯はり中にシャワーやじゃ口のお湯を使用すると沸き上げ時間が長くなることがあります。

	こんなときは		確認してください
ふろ	ふろ自動の途中でお湯はりが停止する 循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	▶	●浴そうの残り湯を確認しているためです。 ●湯はり中断を「**する**」にすると、シャワーやじゃ口でお湯を使用中はお湯はりを中断します。
	循環アダプターからときどきポコポコと音がする	▶	●気泡が抜けている音です。シャワーやじゃ口のお湯を使用中および暖房使用中に発生することがあります。
	ふろ自動や追いだきを始めると濁ったお湯が出る	▶	●配管クリーンをしないと、配管内の残り湯が混入し濁ったお湯が出ることがあります。 ●特に濁り系の入浴剤を使用した後は目立ちます。
	水位キープが変更できない	▶	●水位キープはふろ自動中のみ受け付けます。 じゃ口から浴そうにお湯を入れた場合は、水位キープを受け付けません。
	追いだきができないまたは、追いだきが途中で停止する	▶	●浴そうの循環アダプター上部から約5cm以上お湯(水)が入っていますか。 ●循環アダプターのフィルターにゴミなどがつまっているためです。 (「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照) ●断水時は追いだきできません。
	追いだき時間が長くなった	▶	●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、シャワーやじゃ口でお湯の使用・暖房端末機の運転などと同時に追いだきを行うと、追いだき時間が長くなることがあります。
	自動たし湯しない	▶	●お湯が減ってもすぐに自動たし湯しないことがあります。 ●「**ふろ保温時間**」を「**0時間**」に設定していませんか。 「**0時間**」に設定すると自動たし湯は行いません。 15ページ ●水位が低下し続けたり安定しないときは、自動たし湯は行いません。
	たし水しない	▶	●たし湯中にたし水はできません。
	たし水が中断した	▶	●たし水中にたし湯を行うと、たし水を中断したし湯を行います。
	ふろを使用していないのに循環アダプターから水が出る	▶	●凍結予防のためにお湯を出しています。 ●配管クリーンを「**する**」にした場合は、配管内の水を排出するため水が出ます。
	配管クリーンが作動しない	▶	●以下の場合は配管クリーンを「**する**」に設定しても作動しません。 ・浴そうの排水栓を抜く前のお湯(水)の量が循環アダプター上部から上に約10cm以上ないとき ・浴そうのお湯(水)を排水中にON/OFFスイッチが「**OFF**」のとき ・浴そうのお湯(水)を排水中にAUTOスイッチが「**入**」のとき ・浴そうのお湯(水)を排水中にシャワーやじゃ口でお湯を使用しているとき ●配管クリーンを「**する**」にしていないためです。 ●停電後は作動しません。

暖房	暖房能力が低下した	▶	●床暖房とその他の暖房端末機を同時に使用した場合に、暖房能力が低下することがあります。 ●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、シャワーやじゃ口でお湯の使用や追いだきなどと同時に暖房端末機を使用すると暖房能力が低下することがあります。いずれかの運転を停止すると改善します。
	床がなかなか暖まらない	▶	●床材の種類・外気温度・住宅構造などによって、暖かくなるまでの時間が異なります。(めやす：1時間程度)
	床や浴室がなかなか暖まらない 温度調節をしていないのに床暖房や浴室暖房乾燥機の温風の温度が変化する	▶	●貯湯タンクにお湯がたまっていないときに、シャワーやじゃ口でお湯の使用や追いだきなどと同時に暖房端末機を使用すると暖房能力が低下することがあります。いずれかの運転を停止すると改善します。
	床の暖かさが場所によって異なる	▶	●温水配管内に温水を循環させて床を暖めるしくみになっています。温水配管が通っているところと通っていないところでは、床の温度に若干の差が生じます。
	床暖房の温度調節をしていないのに床の温度が下がる	▶	●床暖房開始時は早く床を暖めるために高温の温水を流し、ある程度時間が経過すると、温水を一定の温度に下げます。
	床暖房中に音がする	▶	●床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床材などが収縮や膨張する音、または温水の流れる音です。

故障かな？と思ったら

	こんなときは		確認してください
暖房	床暖房を使用していないのに床が暖かくなることがある	▶	●床暖房回路内にたまった空気を抜くために、1ケ月に1回ポンプを自動的に回しています。このときに他の暖房端末機(浴室暖房など)を使用している場合は床の温度が一時的に少し上がることがあります。
暖房	床の足ざわりが場所によって異なる	▶	●温水配管の接続部や温水配管などがあるため、床の足ざわりが周囲と異なる場合があります。
暖房	床に凹凸や段差がある	▶	●温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合によっては目立つことがあります。
暖房	床の継ぎ目に隙間がある	▶	●暖房すると床が乾燥して収縮し、継ぎ目にわずかな隙間が生じる場合があります。
暖房	床が変色した	▶	●床材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。カーテンやブラインドなどで遮光してください。
発電	貯湯タンクにお湯がたまらない、または少ない	▶	●電気やお湯の使用量が日々大きく異なる場合など、使用状況によって貯湯タンクのお湯の量が少なくなることがあります。 ●排熱利用給湯暖房ユニットが136-CF04型の場合 ・お湯はりの設定を「**しない**」にしていませんか。お湯はり用のお湯をためないように発電運転を行っています。28ページ ・日々のお湯の使用量に合わせて貯湯タンクにお湯をためますので、必ず貯湯タンクがお湯で満タンとなるわけではありません。
発電	発電しない	▶	●貯湯タンク内のお湯が沸き上がっている場合は発電しないことがあります。 ●日時・暗証番号の設定が行われていないと発電できません。 ●排熱利用給湯暖房ユニットが136-CF04型の場合 ・貯湯タンクがすべてお湯になると停止し、当日中は発電を再開しません。 ・お湯の使用量が少ない時期(夏場など)や、貯湯タンクにお湯が残っているときは、省エネ性を考慮して発電を停止させる場合があります。 ・タンクリフレッシュ運転中は発電を停止します。7ページ
排熱利用給湯暖房ユニット	寒い日に排気部から湯気が出る	▶	●排気ガスが水蒸気を多く含んでいて、冷たい外気に触れて白く見えるためです。
排熱利用給湯暖房ユニット	使用中に消火した	▶	●ガス栓または給水元栓が閉まっているためです。 開けてください。 ●断水しているためです。 ●少流量では点火しません。給湯栓をもっと開けて使用してください。 点火できる最小の流量は毎分約3リットルです。 ●マイコンメーターがガスを遮断しているためです。
排熱利用給湯暖房ユニット	使用していないのにポンプまたは補助熱源機が作動する (補助熱源機燃焼表示が点灯) 使用していないのに排熱利用給湯暖房ユニットや配管から伝わり音がする	▶	●ふろ自動の保温中や追いだき終了後にお湯をかくはんするために、ふろポンプが回ります。 ●ポンプの凍結を予防するために、外気温が下がると凍結予防装置により、ポンプと補助熱源機が運転・停止を繰り返します。 ●一定期間お湯を使用しないと貯湯タンク内のお湯を温め直します。そのとき補助熱源機が自動的に燃焼しているためです。 ●発電中は約10時間ごとに約2分間補助熱源機が動作することがあります。発電に必要な動作です。 ●ポンプの固着を防止するために、自動的にポンプを48時間に1回、約1秒間動かしているためです。またシャワーやじゃ口でお湯を使用した後は約5分間ポンプが動きます。 ●床暖房回路内にたまった空気を抜くために、1ケ月に1回自動的にポンプを動かしているためです。
排熱利用給湯暖房ユニット	逃し弁から水が出る	▶	●貯湯タンク内の圧力が上がりすぎないように上昇した圧力を逃がすためです。 ●運転中はポタポタと出ることがあります。
排熱利用給湯暖房ユニット	排水配管先からお湯(水)が少しの間出ることがある	▶	●貯湯タンク内の水が沸き始めると水の体積が大きくなり、その分が排水配管先から出ますが、沸き上がると止まります。
排熱利用給湯暖房ユニット	運転を停止してもしばらくの間、排熱利用給湯暖房ユニットからファンの音がする	▶	●燃焼室内の排気ガスを排出するためです。約5秒～3分間で停止します。
排熱利用給湯暖房ユニット	シャワーやじゃ口でお湯を使用した後しばらくポンプの音がする	▶	●再出湯に備えています。約5分間で止まります。

	こんなときは	確認してください
リモコン	ON/OFFランプが点灯しない	●停電しているためです。 ●漏電ブレーカーが「**切**」になっているためです。 ●屋外防水コンセントに電源プラグが差し込まれていないためです。 分電盤から電源を取っている場合は、専用ブレーカーが「**切**」になっているためです。
	リモコンの表面が熱く感じる	●使用中は表示画面などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。リモコンのON/OFFスイッチを「**OFF**」にしていても電子回路が作動していますので発熱があります。
	音声案内をしない	●音声ガイド音量を「**00**」(切)「**0**」(切)にしていませんか。 38・39ページ
	音声が小さくなった	●音声ガイド音量の設定を大きくしてください。 ●スピーカーに水がたまると音声が小さくなることがあります。 リモコン左側面と左下のスピーカーの水をふきとってください。 4ページ
	給湯温度を変更すると、操作していないリモコンからも音が鳴る	●操作していないリモコンからも音声でお知らせすることがあります。
	時刻表示が「**0：00PM(12：00)**」で点滅している	●停電などで約24時間以上電源が切れた後は時刻を記憶していません。日時を設定しないとエネルックの表示・ふろ自動などの予約運転・発電運転ができません。 「**日時設定**」を行ってください。 53ページ
	リモコン表示が表示画面省エネモードにならない	●表示画面省エネモードの設定が正しく設定されていないためです。 ●給湯温度設定が55℃以上になっているためです。 ●排熱利用給湯暖房ユニットが運転しているためです。(待機状態になっていません。)
	リモコンが勝手に消灯する リモコンのバックライトが暗い、または消灯している	●表示画面省エネモードの設定を確認してください。 バックライトが消灯する設定になっていませんか。 38・39ページ
	表示画面の色が変化する	●表示画面を正面以外から見ると表示色が変化して見える場合があります。また表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
	表示画面の切換わりが遅い	●気温が下がると表示の切換わりが遅くなる場合があります。
	リモコンの通話が途切れる リモコンの音声が割れる	●マイクに水滴がつくと音質の低下や音が伝わらないことがあります。 リモコン右下のマイクの水をふきとってください。 4ページ
	リモコンからキーンなどの大きな音がする	●浴室のドアを開けたまま通話するとハウリングが発生することがあります。また台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合もハウリングを起こすことがあります。そのような場合はインターホン音量を下げて使用してください。それでもハウリングが直らない場合はお買い求めの販売店に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。
	スイッチの反応が悪い	●誤作動防止のため素早い操作を受け付けない場合があります。 ●特に浴室リモコンは誤作動防止のため、台所リモコンに比べスイッチ感度を落としているため、反応しにくい場合があります。 ●スイッチやその周辺にかかった水が原因で、一時的にスイッチの反応が悪くなることがあります。 ●爪で押したり強く押したり、指や手が他のスイッチに近づくと反応しない場合があります。 ●スイッチの反応が悪いときは、一度指をリモコンから大きく離し、再度指の腹でゆっくりと押してください。
	スイッチが勝手に反応する	●スイッチやその周辺にかかった水が原因で、誤作動することがあります。 ●リモコンの表面を布などでふくと指での操作と誤検知してスイッチが勝手に反応することがあります。 ●お掃除の際はタッチスイッチの設定を行ってください。 39ページ
	を表示している	●無線LANルータとの接続が切断されています。他の無線端末などで無線LANルータが正常に作動していることを確認してください。 ●電子レンジなど強い電波を発するものが作動していると、通信が途切れる場合があります。

	こんなときは		確認してください
エネルック	エネルギーモニタ	電気使用量が燃料電池発電ユニットの定格発電量以下であっても購入電気が発生する	●電気量調整のために少量の購入電気が発生することがあります。
		太陽光発電に関する表示が消えた	●停電すると太陽光発電システムに関する項目(太陽光発電量など)は表示しなくなります。停電復帰後、太陽光発電システムが発電を行うと再び表示します。

故障かな？と思ったら

	こんなときは		確認してください
エネルック	金額表示	金額表示が出ない	▶ ●単価の設定を「**0円**」にしている。 単価を設定してください。 34・35ページ ●「**金額表示**」の設定を「**しない**」にしている。 設定を「**する**」に変更してください。 34・35ページ
		表示した量と金額の計算が合わない	▶ ●金額を計算するときに、表示桁数以上の細かい数値を省略していますので、表示した量と金額が合わない場合があります。
	量と金額	エネルックの表示量や金額が請求書と合わない	▶ ●エネルックの量や金額はめやすです。標準ではガスはエネファームで消費した量、水は排熱利用給湯暖房ユニットで使用した量を表示しています。また、金額は基本料金や使用量に応じた料金に対応していません。 使用料金は各メーターの使用量に応じて請求されます。 リモコンに表示した金額で請求されることはありません。
	月積算値	今月の積算値が先月に切換わるときに数字が変化する	▶ ●今月のデータを先月に切換える際、内部処理するためにわずかな誤差を生じることがあります。
	光熱費金額	目標に対して実績が少ない金額になる	▶ ●太陽光発電システムとマルチ計測ユニットをご使用の場合は、販売電気量を光熱費から差し引きますので少ない金額になります。 計算上、マイナスになる場合は0円で表示します。
	水道使用量	実際の水道使用量に比べて表示の使用量が極端に多い、または少ない	▶ ●パルス機能付水道メーターに対応したパルス調整ができていない可能性があります。 担当のメンテナンス会社にお問合せください。 ●長期間ご使用の場合は、パルス機能付水道メーターのパルス出力が粗くなっている可能性があります。 改善するにはメーター交換が必要となります。水道メーターを設置した会社にお問合せください。
	ガス使用量	実際のガス使用量に比べて表示の使用量が極端に多い、または少ない	▶ ●パルス機能付マイコンメーターに対応したパルス調整ができていない可能性があります。 販売店またはもよりの大阪ガスにお問合せください。
	CO_2削減量	CO_2削減量を表示しない、値が0になる	▶ ●停電した場合は、再計算を行うため「**0**」や「**ーー**」を表示します。 ●燃料電池発電ユニットの発電準備中または停止移行中は値が減ることがあります。
	目標値 達成マーク	目標値や達成マークを表示しない	▶ ●目標値や達成マークは設定しないと表示しません。 目標値や達成マークを設定してください。 34・35ページ
	エネルギー砂時計表示を「**する**」にしても達成度を表示しない		▶ ●達成度は目標値を設定しないと表示しません。 目標値を設定してください。 34・35ページ

●燃料電池発電ユニット（191-TB04型、191-TB05型）の場合

※燃料電池発電ユニットが192-AS03型、192-AS04型の場合は、別冊の燃料電池発電ユニット本体の取扱説明書を参照してください。

	こんなときは	確認してください
燃料電池発電ユニット	排気口から白煙が見える	▶ ●排気に含まれる水分が凝縮するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
	排気口から水が滴る	▶ ●排気に含まれる水分が凝縮し結露するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
	連続的なうなり音や機械音がする	▶ ●機器内部の制御部品の運転音です。
	停止させたのに機械音が止まらない	▶ ●停止や冷却の過程でも制御部品が動作しています。また、換気のためファンも動作を継続しています。
	発電していないのに機械音が聞こえるときがある	▶ ●排熱系の温度管理のために、制御部品が動作する音です。
	27日に1度、停止する	▶ ●マイコンメーターの誤検知防止のため、停止させています。
	ドレンから水が排出される	▶ ●運転状況によって、微量の余剰水がドレンから排出されます。
	ON/OFFスイッチ「**OFF**」を選択しているのに、燃料電池発電ユニットから音がする	▶ ●「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」を設定していない場合は、発電や貯湯のため運転を継続しています。

	こんなときは	確認してください
燃料電池発電ユニット	操作していないのに「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」の設定になっている	●排熱利用給湯暖房ユニットを48時間以上使用しなかった場合は、自動的に「**ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)**」の設定になります。
	発電していないのに、燃料電池発電ユニットの運転ランプが点滅している	●発電していなくても停止中の場合には、間欠的に運転ランプが点滅します。
	発電していない	●過去のエネルギー使用実績から学習制御し、効率よく発電と停止を自動で行っています。ご家庭でのエネルギーの使用状況によっては、3日間ほど停止する場合もあります。
	燃料電池発電ユニットが突然停止し、ガスコンロ・給湯・ふろ・暖房が使用できない	●マイコンメーターの保護装置が作動しています。 マイコンメーターのランプが点滅しているときは、保護装置が作動してガスが遮断されており、燃料電池発電ユニットの故障ではありません。 詳しくはマイコンメーターの取扱説明書を参照してください。サービスを受けられるときは、担当のメンテナンス会社にマイコンメーター動作の状況を必ず連絡してください。 燃料電池 発電ユニット マイコンメーター ●リモコンに何も表示されない場合は、排熱利用給湯暖房ユニットの電源が入っていることを確認してください。

故障表示一覧表

●リモコンに故障表示が出た場合は、以下の表に従って確認・処置を行ってください。
●燃料電池発電ユニットが192-AS03型、192-AS04型の場合は、完全に停止するまで約10～12時間かかります。
●確認・処置後リセットしてください。
リセット(警報解除)の方法…リモコンのON/OFFスイッチを一度押して「**OFF**」にしてから再度押して「**ON**」にします。
表示によってはリセットしても直らない場合があります。
直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

排熱利用給湯暖房ユニットに関する場合

故障表示
(3桁の数字)
異常時に表示

燃料電池発電ユニットに関する場合

故障表示
(末尾がF)
異常時に表示

故障表示	説　明	確　認　・　処　置
—	リモコンに何も表示しない	●屋外防水コンセントに電源プラグが差し込まれていますか。 分電盤から電源を取っている場合は、専用ブレーカーが「**入**」になっていますか。
002	残り湯検知異常	●浴そうの水を全部抜いてから、再度ふろ自動を行ってください。〔設置後最初に行うふろ自動は、浴そうにお湯(水)がない状態で行ってください。〕
011	補助熱源機連続燃焼時間超過 (給湯/お湯はり時)	●約1時間半連続してシャワーやじゃ口の使用、お湯はりをしませんでしたか。 ●シャワーやじゃ口の使用、お湯をはる間に補助熱源機が約1時間連続して燃焼しませんでしたか。
019	マイコンメーター内管漏洩作動	●機器の異常ではありません。マイコンメーターの安全機能の確認ができない場合に表示します。 ●70分以上給湯しないで、床暖房や浴室暖房乾燥機などの暖房端末機を停止してください。
032	ふろ排水栓抜け検知	●浴そうの排水栓を閉めていますか。 ●循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないことを確認してください。(「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照)
111	点火不良(給湯/お湯はり時)	●ガス栓は充分開いていますか。 ●マイコンメーターがガスを遮断していないことを確認してください。
112	点火不良(追いだき時)	
113	点火不良(暖房時)	
121	立消え安全装置作動 (給湯/お湯はり時)	
122	立消え安全装置作動(追いだき時)	
123	立消え安全装置作動(暖房時)	
252	ふろ水流スイッチ異常 (お湯はり/追いだき時)	●リモコンのON/OFFスイッチを一度押して「**OFF**」にしてから再度押して「**ON**」にしてください。 その後同じ動作(ふろ自動や追いだきなど)を行ってください。 再度故障表示が出る場合は点検修理が必要です。 警報の解除はせずにお買い求めの販売店にご連絡ください。

故障表示	説　明	確　認　・　処　置
260	断水検知(圧力スイッチ作動)	●給水元栓が閉まっていませんか。 ●断水していませんか。 ●リモコンの表示に従って、復旧してください。 再度「260」を表示した場合は、「**機器本体操作説明編**」の「**凍結のおそれがあるとき**」の「**再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)**」に従って水張りを行ってください。 260 断水検知 台所リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にして 「MENU」−「設定」−「時刻・その他設定」−「タンク水張り」 −「開始/停止」で「SET」を押してください 水張り(00P表示)を開始しない場合は、断水していないか 確認してください
562	お湯はり異常	●循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないことを確認してください。(「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照)
632	ふろ循環異常	●循環アダプターのフィルターにゴミがつまっていないことを確認してください。(「**機器本体操作説明編**」の「**日常の点検・手入れのしかた**」の「**フィルターの掃除**」参照) ●浴そうのお湯(水)が少ない状態で、追いだきをしませんでしたか。 循環アダプター上部から約5cm以上お湯(水)を入れてから追いだきを行ってください。 ●追いだき中に浴そうの水がなくなりませんでしたか。 浴そうの排水栓が閉まっていることを確認してください。
740	台所リモコン通信異常 (通信異常最大5分連続)	●屋外防水コンセントから電源プラグを抜いて、約10秒後再度差し込んでください。 分電盤から電源を取っている場合は、専用ブレーカーを「**切**」にし、約10秒後再度「**入**」にしてください。
750	浴室リモコン通信異常 (通信異常最大5分連続)	
760	リモコン通信異常 (通信異常最大5分連続)	
763	インテリジェント通信異常 (暖房端末機通信異常90秒連続)	
769	燃料電池発電ユニット通信異常	
76F (※)	ユニット間通信異常	●燃料電池発電ユニットの本体主回路漏電ブレーカーが「**入**」になっていることを確認してください。 ●漏電時突出部が出ていた場合は、担当のメンテナンス会社に連絡してください。 (「**機器本体操作説明編**」の「**各部の名称**」参照)
920	中和器寿命(警告表示)	●しばらくは使用できますが、中和器の交換が必要です。 ●担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
930	中和器寿命(機能停止)	●中和器を交換しないと運転できません。(リセットしても運転できません。) 担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
A0F (※)	燃料供給圧低	●ガスが流れていることを確認してください。 ・ガス栓は充分開いていますか。 ・マイコンメーターがガスを遮断していませんか。
09F (※)	貯湯タンク温度高	●貯湯タンクがすべてお湯になった状態で手動モードに変更しませんでしたか。 ●貯湯タンクのお湯が使われると、自動的に解除されます。
上記以外	—	●リモコンのON/OFFスイッチを一度押して「**OFF**」にしてから再度押して「**ON**」にしてください。 その後同じ動作(給湯や追いだきなど)を行ってください。 再度故障表示が出る場合は点検修理が必要です。 警報の解除はせずにお買い求めの販売店にご連絡ください。 ●燃料電池発電ユニットが192-AS03型、192-AS04型の場合は、別冊の燃料電池発電ユニット本体の説明書を参照してください。

※燃料電池発電ユニット(191-TB04型、191-TB05型)の場合です。
燃料電池発電ユニットが192-AS03型、192-AS04型の場合は、別冊の燃料電池発電ユニット本体の取扱説明書を参照してください。

運転動作モード一覧表

●台所リモコンと浴室リモコンに運転動作を表示することがあります。

表示	説　　明	確　認　・　処　置
00d	給湯回路水抜き中	運転動作を表示しています。 異常ではありません。
00P	給湯回路水張り中	

大阪ガス

エネファーム
取扱説明書

自立運転操作説明編

[燃料電池発電ユニット]
191-TB05型
型式名 TM1-AE-NP
（都市ガス 13A）
TM1-AE-LP
（LPガス）

[排熱利用給湯暖房ユニット]
136-CF04型
型式名 FCG-203-D

もくじ

このたびは、固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●この説明書は「停電時（自立）発電」に関して停電したときに発電する方法、およびその発電時の取扱いについて説明しています。
通常使用時は別冊の機器本体操作説明編、およびリモコン操作説明編の「取扱説明書」に従って使用してください。
●取扱説明書を紛失された場合は、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全に正しく使用していただくために

●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
　いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠危険	人が死亡、重傷を負う危険、火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容です。	⚠注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。
⚠警告	人が死亡、重傷を負う可能性、火災の可能性が想定される内容です。	お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。

⚠危険

ガス漏れに注意する（火災や事故の原因）

●災害時などガス漏れのおそれがある場合は使用しない。

⚠警告

停電していないときに自立運転は絶対に行わない（思わぬ事故の原因）

本来の機能やメリットが損なわれます。

濡れた手で触らない（感電する原因）

電源プラグを濡れた手で触らないでください。また、雨が降り出しているときに電源プラグを抜かないでください。

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用する

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外は自立運転専用コンセントに電気製品を接続しないでください。
自立運転時に突然電気が流れ、電気製品の破損や動作による事故の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む
（火災の原因）

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグは使用しないでください。

自立運転専用コンセントに関する注意

●自立運転専用コンセントには途中で電源が切れると生命、財産に損害を与えるおそれがある以下の機器は接続しない。
・すべての医療用機器
・灯油などを用いた暖房機器
・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
・その他電源が切れると生命、財産に損害を与えるおそれのある機器
自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。

●自立運転専用コンセントを商用電力線に接続しない
（感電や発火などの原因）
自立運転専用コンセントと通常のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。

お願い

排熱利用給湯暖房ユニットの電源は屋内分電盤の「自動電源切替器」と表示のある分岐ブレーカーから供給されています。
排熱利用給湯暖房ユニットの電源を切るときは、屋内分電盤の「自動電源切替器」と表示のある分岐ブレーカーを「OFF」にしてください。

停電時の自立運転について

エネファームが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を続けますので、発電した電気と貯湯タンクのお湯を使用することができます。
発電停止中(※1)に停電した場合や自立運転開始後に発電が停止した場合は、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。(※2)
また地震などの災害でガスが止まった場合も発電できません。

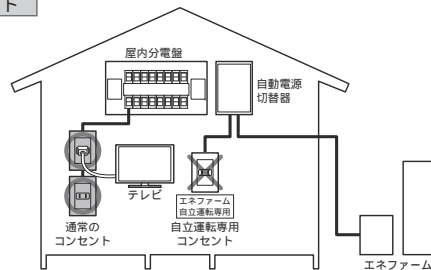
●自立運転時の発電量は約350W(※3)です。
●自立運転を開始すると自立運転専用コンセント(※4)に電気が供給されます。4・5ページ
●停電が復旧してから約5分経過すると、自立運転専用コンセントへの電気の供給が止まります。
　「停電が復旧したら」を行ってください。14・15ページ
●自立運転は停電時のみ使用してください。
●安定して自立運転を続けるためには、貯湯タンクがお湯でいっぱいにならないように(※5)上手にお湯を利用してください。6・7ページ
●断水時は給水・給湯栓を使用しないでください。
　自立運転時に断水状態(※6)のまま水やお湯を使用すると、リモコンに故障表示「260」を表示して、発電量が不安定になることがあります。

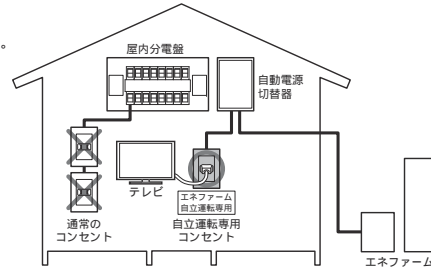
※1エネファームが発電を停止しているときは以下のようなときです。
・ガスの供給が停止している場合
・マイコンメーターの安全機能確認により、自動で運転を停止(26日間のうち24時間以上連続で停止しなかった場合、1日停止します。)
・学習機能により自動で運転を停止(省エネのため)
・「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」や「発電運転の設定」で発電を停止している場合

※2エネファームが発電を開始するときは外部からの電力供給が必要です。
※3エネファームが使用する電気の量を含みます。実際に使用できる電気の量は350Wよりも少なくなります。
※4事前に自立運転専用コンセント設置場所を確認してください。「エネファーム自立運転専用」と表示しています。
※5エネファームは発電時の排熱を利用して貯湯タンクにお湯を貯めています。貯湯タンクがお湯でいっぱいになった場合は、おふろにお湯を出して発電を継続します。
　(お客様の設定によっては、おふろにお湯を出さずに発電を停止する場合があります。)
※6断水状態とは…停電や工事などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態のことです。

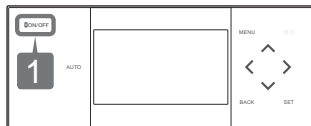
通常時/停電時に使用できるコンセント

通常時

●通常のコンセントを使用してください。
　自立運転専用コンセントは使用できません。

停電時

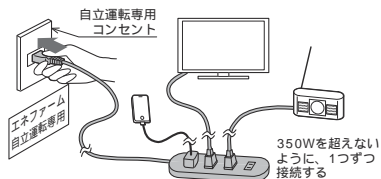
●自立運転専用コンセントを使用してください。
　通常のコンセントは使用できません。

停電時に電気を使う

エネファームが発電中に停電した場合は、以下の手順に従って電気を使用してください。
お湯の使い方は通常の操作方法と変わりません。
※停電発生時、一度リモコンの表示画面は消えますが、数分後再度表示します。

カラー液晶リモコン

1 ON/OFFを押す(ON)

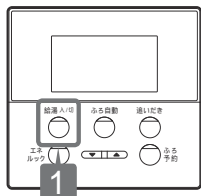
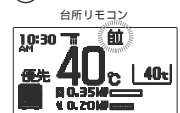
台所リモコン

●「自立」が表示されていることを確認してください。

2 自立運転専用コンセントに電源プラグを差し込む

●台所リモコンで発電状態を確認しながら使用したい電気製品を1つずつ接続してください。使用中も消費電力が350Wを超えないように、台所リモコンでこまめに発電状態を確認してください。
●消費電力が350Wを超えたときは、一時的に電気が使えなくなります。そのまま一定時間経過すると発電が停止しますので、すぐに接続した電気製品を取りはずしてください。
●停電中に発電が停止すると、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。

標準リモコン

1 給湯入/切 を押す(入)

台所リモコン

●「自立」が表示されていることを確認してください。

2 自立運転専用コンセントに電源プラグを差し込む

●電気製品の接続方法はカラー液晶リモコンと同じです。

⚠警告

自立運転専用コンセントには以下の機器を接続しない
●自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を与えるおそれがある以下の機器は接続しないでください。
- すべての医療用機器
- 灯油などを用いた暖房機器
- バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- その他電源が切れると生命、財産に損害を与えるおそれのある機器

お知らせ

●自立運転専用コンセントは停電時のみ使うことができます。
●停電時に使用可能な電力はエネファームの消費電力と合わせて最大で約350Wです。
(凍結予防など運転状態によってエネファームの消費電力が変わります。)
停電が発生すると発電量は250Wから上昇し始め、約4分後に350Wになります。
消費電力の合計が発電量を超えないように台所リモコンで発電量を確認しながら使用してください。
●消費電力が350Wを大きく上回るときは約50秒後、350Wを少し(5%程度)上回るときは約5分後に発電を停止します。
●電気製品の電源を入れたとき、電気製品の種類によってはすぐに使用できないことがあります。
その場合は電源を入れたまま約5〜30秒ほど待ってください。
約30秒ほど待っても使用できない場合は、消費電力が発電量を超えています。すぐに使用する電気製品の数を減らしてください。
この状態を10回繰り返すとエネファームは発電を停止し、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。
また、この間に日付・時刻の入力、暗証番号を入力する画面が表示されることがあります。その場合は設定を行ってください。
(自立運転に支障はありません。)
●自立運転中に発電を停止する場合は「1.発電を停止する」を行ってください。10ページ
ただし、発電を停止すると停電が復旧するまで再使用(発電)できません。

主な電気製品の消費電力

●数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は電気製品の種類や使用方法によって異なります。
●電気製品の種類によっては、瞬間的に350Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力に関わらず使用できないものがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

製品名	消費電力のめやす(W)
携帯電話の充電器	15
卓上LED照明	20
ラジカセ	20
ガスファンヒーター	30
扇風機	40
液晶テレビ	150
保温ポット	900(湯沸かし時)
電気炊飯器	1100
ヘアードライヤー	1200

保温ポット、電気炊飯器、ヘアードライヤーは使用できません。

消費電力が大きく発電が停止する可能性がある電気製品(例)

- 冷蔵庫
- 電子レンジ
- ホットプレート
- オーブントースター
- 炊飯器
- 食洗機
- 洗濯機
- 衣類乾燥機
- 掃除機
- 温水洗浄便座
- アイロン
- エアコン
- 電気カーペット
- こたつ
- ドライヤー

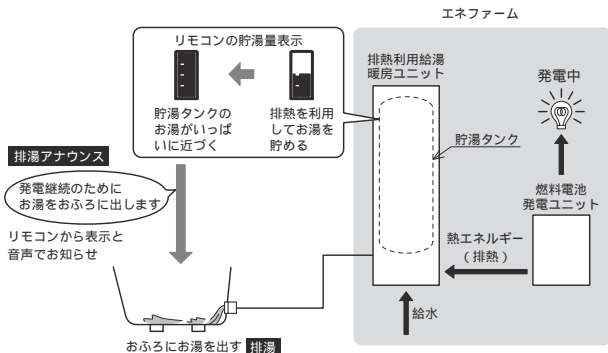
⚠注意

ガスファンヒーターの使用について
●ガスファンヒーターを使用中は部屋の換気に注意する。
必ず1時間に1〜2回(1〜2分)程度、窓を開けるなどして換気を行ってください。
●ガスファンヒーターを使用すると過負荷で自立発電が中断する場合は使用しない。
●ガスファンヒーターを使用中に停電が発生したときは、温風の吹出口や機器背面(エアフィルター部や取手部分)に手を触れない。(やけどのおそれ)
●自立運転専用コンセントでガスファンヒーターを使用しているときに異常を感じた場合は、すぐにガス栓を閉めてガスファンヒーターの使用を中止し、販売店またはもよりの大阪ガスに連絡する。

停電時は上手にお湯を使う

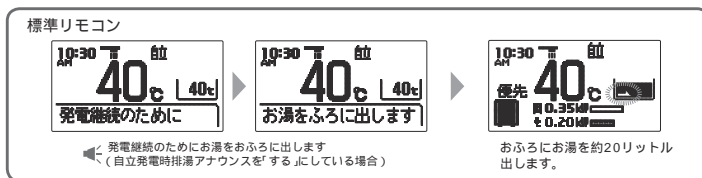
エネファームは発電と同時に発生する熱を利用して、貯湯タンクにお湯を貯めています。
貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、発電が停止することがあります。
停電中に発電が停止すると、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。
貯湯タンクがお湯でいっぱいにならないように上手にお湯を利用してください。
自立運転中は排湯機能(※)により自動でおふろにお湯を出すことがあります。

※排湯機能とは…貯湯タンクがお湯でいっぱいに近づくと、リモコンの表示と音声(排湯アナウンス)でお知らせした後、自動でおふろにお湯を出します。(排湯)
(お客様の設定によっては、音声でお知らせしなかったり、おふろにお湯を出さないことがあります。)

排湯アナウンス・排湯について

自立発電時の排湯を「する」に設定している場合

貯湯量表示がいっぱいに近づくと、リモコンから「発電継続のためにお湯をおふろに出します」と表示と音声でお知らせし、おふろにお湯を約20リットル出します。

カラー液晶リモコン

●おふろにお湯を約20リットル出します。

⚠注意

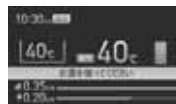
●排湯を「する」に設定している場合、浴そうからお湯があふれるなど、思わぬ事故に注意してください。

お知らせ

●排湯と排湯アナウンスは「する」「しない」の設定ができます。 8・9ページ
●排湯を開始するときにON/OFFスイッチが「OFF」になっていた場合、自動的に「ON」になります。
排湯が終わってもON/OFFスイッチは「OFF」になりません。
お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
●設定したふろ温度のお湯を排湯しますが、ふろ温度の設定が40℃未満の場合は自動的に40℃に変更されます。
●ON/OFFスイッチを「OFF」にして排湯を停止しても、発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。

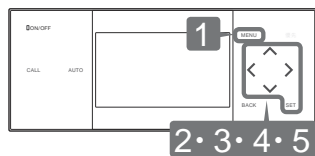
※標準リモコンの場合は給湯スイッチがON/OFFスイッチに相当します。
「リモコン操作説明編」の「各部の名称とはたらき」参照

自立発電時の排湯を「しない」に設定している場合

貯湯量表示がいっぱいに近づくと、リモコンから「お湯を使ってください」と表示と音声でお知らせします。
発電を続けるためには、お客様ご自身で上手にお湯を使ってください。

上手なお湯の使い方
リモコンの貯湯量表示がいっぱいに近づいたら、お湯はりなどを行うと排熱を有効に利用することができます。

排湯に関する設定

発電を続けるための排湯動作やアナウンスの有無について設定ができます。

カラー液晶リモコン

1 MENUを押す

2 < >で「発電」を選びSETを押す

3 ∧∨で「自立発電排湯設定」を選びSETを押す

4 ∧∨で変更したい設定を選びSETを押す

手動発電時の排湯………………発電モード「手動」で運転中に自動で排湯しない・するを設定
手動発電時の排湯アナウンス…手動発電時に排湯をするときにアナウンスしない・するを設定
自立発電時の排湯………………自立運転中に自動で排湯しない・するを設定
自立発電時の排湯アナウンス…自立運転中に自動で排湯をするときにアナウンスしない・するを設定

5 < >で内容を変更しSETを押す

手動発電時の排湯	手動発電時の排湯アナウンス	自立発電時の排湯	自立発電時の排湯アナウンス
変更されました	変更されました	変更されました	変更されました

お買い求め時	お買い求め時	お買い求め時	お買い求め時
しない	する	する	する

MENUを押す

●通常画面に戻ります。

標準リモコン

1 （機能）を押す

2 （－ 設定 ＋）で「発電設定」を選び（確定）を押す

3 （－ 設定 ＋）で変更したい設定を選び（確定）を押す

手動発電排湯………………発電モード「手動」で運転中に自動で排湯しない・するを設定
手動発電排湯アナウンス…手動発電時に排湯をするときにアナウンスしない・するを設定
自立発電排湯………………自立運転中に自動で排湯しない・するを設定
自立発電排湯アナウンス…自立運転中に自動で排湯をするときにアナウンスしない・するを設定

4 （－ 設定 ＋）で内容を変更し（確定）を押す

手動発電排湯	手動発電排湯アナウンス	自立発電排湯	自立発電排湯アナウンス
40℃ 手動発電排湯 [する]	40℃ 手動発電排湯アナウンス [しない]	40℃ 自立発電排湯 [しない]	40℃ 自立発電排湯アナウンス [しない]
変更されました	変更されました	変更されました	変更されました
設定内容 しない↔する	設定内容 しない↔する	設定内容 しない↔する	設定内容 しない↔する

お買い求め時	お買い求め時	お買い求め時	お買い求め時
しない	する	する	する

ふたを閉じる

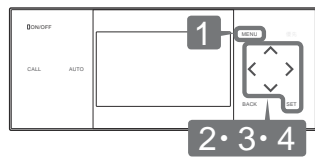
●通常画面に戻ります。
●約40秒間放置しても通常の表示に戻ります。

計画停電のときに確実に発電させる

事前に停電することがわかっている場合は、以下の操作を行うと停電のときに確実に発電させることができます。

1.発電を停止する

●停電予定日の2～3日前に発電を24時間以上停止してください。
（マイコンメーターの安全機能確認により、自動的に発電が停止することを防ぐために必要な操作です。）

カラー液晶リモコン

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「発電」を選びSETを押す

3 で「発電モード」を選びSETを押す

4 で「停止」を選びSETを押す

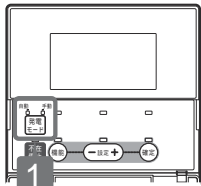
設定内容
自動↔手動↔停止

●誤操作防止の確認画面を表示します。

変更されました

MENUを押す

●通常画面に戻ります。

標準リモコン

1 発電モードを約5秒間押す

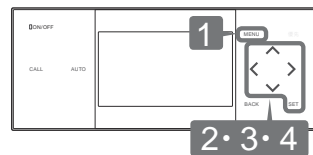
●自動ランプ・手動ランプが消灯します。
●発電表示が点滅し、発電はすぐに停止しますが、燃料電池発電ユニットはしばらく停止移行運転を続けます。
●燃料電池発電ユニットが停止すると発電表示は消灯します。

お知らせ

●「暗証番号」が点滅している場合は、暗証番号を設定してください。（別冊のリモコン操作説明編の取扱説明書「発電する（暗証番号）」参照）
●24時間以上停電した場合は、停電復帰後発電モードは「自動」に設定されます。

2.発電モードを「手動」にする

●学習機能による省エネ運転で発電を停止させないために、停電予定時間の2時間以上前に発電モードを「手動」に切換えると連続発電します。

カラー液晶リモコン

1 MENUを押す

2 ＜ ＞で「発電」を選びSETを押す

3 で「発電モード」を選びSETを押す

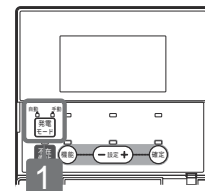
4 で「手動」を選びSETを押す

設定内容
自動↔手動↔停止

変更されました

MENUを押す

●通常画面に戻ります。

標準リモコン

1 発電モードを押して「手動」にする

●手動ランプが点灯します。

お知らせ

●自立運転が行えない場合でも、貯湯タンクのお湯（水）を生活用水として利用できます。
自立運転中に貯湯タンクのお湯（水）を取出す場合は、自立運転を停止する必要があります。ただし、停電中に発電を停止すると停電が復旧するまで運転を再開することができません。
（別冊の機器本体操作説明編の取扱説明書「災害時などに貯湯タンクからお湯を取出す」参照）

3.手動発電排湯の設定を「する」に変更する 8・9ページ

貯湯量表示がいっぱいに近づくと、リモコンの表示と音声でお知らせします。

●手動発電時の排湯(標準リモコンでは手動発電排湯)を「する」にしている場合、貯湯タンクがお湯でいっぱいになると自動で排湯します。
●手動発電時の排湯(標準リモコンでは手動発電排湯)を「しない」にしている場合、貯湯タンクがお湯でいっぱいになると発電を停止します。停電中に発電を停止すると停電が復旧するまで再使用(発電)できません。

お知らせ

●排湯を開始するときにON/OFFスイッチが「OFF」になっていた場合、自動的に「ON」になります。
お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
排湯が終わってもON/OFFスイッチは「OFF」になりません。
●ふろ温度のお湯を排湯しますが、ふろ温度が40℃未満の場合は自動的に40℃に変更されます。
●ON/OFFスイッチを「OFF」にして排湯を停止しても、発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。
※標準リモコンの場合はON/OFFスイッチが給湯スイッチになります。
「リモコン操作説明編」の「各部の名称とはたらき」参照

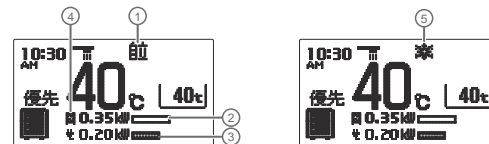
自立運転中のリモコン表示

カラー液晶リモコン

●台所リモコンのON/OFFスイッチを「ON」にしたときは、以下の表示になります。

①自立運転表示	停電中に燃料電池発電ユニットが運転している場合、「自立」の文字を表示します。
②発電量表示	発電量を表示します。
③電気使用量表示	ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。自立運転中はこの数値が発電量を超えないように注意してください。
④発電状態表示	発電状態を表示します。
⑤凍結予防運転表示	凍結予防運転中はこの表示になります。 排熱利用給湯暖房ユニットの消費電力が増加しますので、使用できる電力量にご注意ください。

標準リモコン

●台所リモコンの給湯スイッチを「入」にしたときは、以下の表示になります。

①自立運転表示	停電中に燃料電池発電ユニットが運転している場合、「自立」の文字を表示します。
②発電量表示	発電量を表示します。
③電気使用量表示	ご家庭で使用中の電気使用量を表示します。自立運転中はこの数値が発電量を超えないように注意してください。
④発電状態表示	発電状態を表示します。
⑤凍結予防運転表示	凍結予防運転中はこの表示になります。 排熱利用給湯暖房ユニットの消費電力が増加しますので、使用できる電力量にご注意ください。

停電中にエネファームが発電を停止しているとき

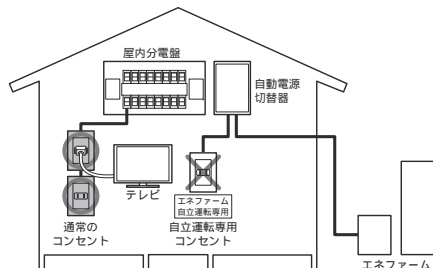
●電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。
自立運転中にエネファームが停止した場合も電気が使用できないため、リモコンには何も表示されません。
(故障表示も表示されません。)

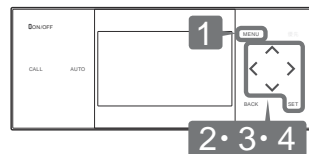
自立運転中に断水したとき

●リモコンに故障表示「260」を表示したあと、発電量が不安定になることがあります。

停電が復旧したら

1.自立運転専用コンセントから電源プラグを抜く

●電気製品を自立運転専用コンセントに接続したままにすると、次回の自立運転時に突然電気が流れ、電気製品の損傷や動作による事故の原因になりますので、電源プラグを抜いてください。
(停電が復旧して約5分経過すると、自立運転専用コンセントへの電気の供給は自動的に止まり、通常のコンセントに電気が供給されます。)

2.発電モードを「自動」にする

カラー液晶リモコン

1 MENUを押す

2 < > で「発電」を選びSETを押す

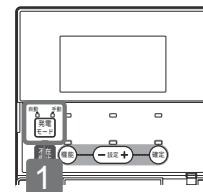
3 ^ v で「発電モード」を選びSETを押す

4 ^ v で「自動」を選びSETを押す

設定内容
自動↔手動↔停止

MENUを押す

●通常画面に戻ります。

標準リモコン

1 [発電モード]を押して「自動」にする

●自動ランプが点灯します。

お知らせ

●「自動」に設定後、学習制御機能により発電を行わない場合があります。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

こんなときは		確認してください
自立運転しない	▶	●下記の場合は自立運転ができません。 ・燃料電池発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合 ・ガスの供給が停止している場合 ・マイコンメーターの安全機能確認により発電を停止している場合 ・「ガス発電・給湯暖房機の全停止（不在停止）」や「発電運転の設定」で発電を停止している場合 ・学習により発電停止した場合
自立運転中にリモコンの表示画面が消えた	▶	●自立運転専用コンセントに接続している電気製品の消費電力が発電量を超えている可能性があります。すみやかに接続した電気製品を取りはずしてください。取りはずさないと、電気製品の消費電力が発電量を超えた状態が続いたときに発電を停止します。停止すると停電中は再び発電を行うことができませんので、ご注意ください。 ●燃料電池発電ユニットがエラーで発電を継続できなくなった可能性があります。停電が復旧した後、リモコンにエラーが表示された場合は「故障表示」に従って処置を行ってください。
自立運転中に時刻設定画面になった	▶	●自立運転専用コンセントに接続している電気製品の消費電力が発電量を超えた状態がしばらく続くと、時刻と暗証番号がリセットされることがありますので、時刻の設定を行った後に、暗証番号の入力を行ってください。 ●暗証番号が入力されていないと停電が復旧した後に発電が停止します。 〔停電中は発電（自立運転）を継続します。〕
ふろ自動運転、たし湯運転を行っていないのに循環アダプターからお湯が出る	▶	●発電設定で自立発電排湯を「する」に設定しているため、自立運転時に発電を停止しないようにおふろにお湯を出します。 ●発電設定で手動発電排湯を「する」に設定しているため、手動発電時に発電を停止しないようにおふろにお湯を出します。
おふろに排湯しているのにアナウンスしない	▶	●自立発電排湯設定で手動発電時、自立発電時の排湯アナウンスを「しない」に設定しているためです。8・9ページ

●リモコンに故障表示が表示された場合は、別冊のリモコン操作説明編の取扱説明書「故障表示一覧表」に従って使用してください。

大阪ガス株式会社